

第 54 回ガンカモ類の生息調査
報 告 書
(令和 4 年度)

令和 6 (2024) 年 3 月

環 境 省
自 然 環 境 局

本報告書を英語で引用する場合、以下のとおり記述ください。

Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment (2024). Annual report of Census on Anatidae Populations in FY2022. Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment, Yamanashi. Japan

はじめに

我が国は、東アジア地域を季節移動するガン、カモ、ハクチョウ類のフライウェイの一部を構成し、主要な越冬地を提供している。しかしながら、越冬地として適した湖沼や河川、遊水池、干潟などの湿地は、経済の発展とともに環境変化や人為活動、水質汚濁等によって徐々に減少、悪化し、これまでガン、カモ、ハクチョウ類は大きな影響を受けてきた。例えば、かつて東京湾には広大な干潟が広がり、多くのガン、カモ、ハクチョウ類が生息する好適な環境であったが、埋め立てが進んだ現在、目にするのできる種は一部の限られたものとなってしまった。また、ガン類はかつて九州まで広く国内全域に渡来していたが、現在では極めて局所的な越冬地に集中する状態となっている。さらに、我が国への定期的な群れの渡来が見られなくなった種も複数存在する。

昨今のこのような状況から、越冬地の適切な管理や維持を通じたガン、カモ、ハクチョウ類の保全が求められている。我が国のガン、カモ、ハクチョウ類とその生息地を保全することは、フライウェイを介して東アジア地域のガン、カモ、ハクチョウ類保全につながる非常に重要な取り組みである。また、ガン、カモ、ハクチョウ類をはじめとする水鳥は、良好に保たれた水辺環境の指標種としての役割を持っている。そのため、ガン、カモ、ハクチョウ類を含む水鳥の保全が湿地生態系の保全にもつながることは、世界的にも認識されてきている。

本調査は、我が国におけるガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物保護行政に必要な資料を収集することを目的として、環境庁（当時）が発足する以前の昭和45年に、鳥獣行政が林野庁所管の時代に各都道府県の協力を得てスタートした。その後昭和47年からは、野生生物行政の一環として環境庁（当時）が取りまとめを担い、令和4年度調査で第54回を迎えた。本調査の成果として、ガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況、渡来傾向、保護管理を図るべき生息地等に関する貴重な資料が得られており、各地の鳥獣保護区指定やラムサール条約湿地を選定するための候補抽出などに活用されている。

本調査の実施にあたっては、都道府県の職員や鳥獣保護管理員、公益財団法人日本野鳥の会、公益財団法人日本鳥類保護連盟、一般社団法人大日本猟友会及び全日本狩猟倶楽部の会員の方々に、ご多忙の中、多大な尽力をいただいた。ここに厚く御礼申し上げますとともに、今後とも調査を継続し、さらに充実した資料とするために、より一層のご協力をお願いする次第である。

令和6年3月

環境省自然環境局 生物多様性センター

目 次

要 約 (Abstract)

第1章 調査状況.....	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査期日	1
4. 調査規模	2
5. 調査結果の整理	7
6. 亜種の扱い	7
7. 調査成果の活用	7
第2章 令和4年度（第54回）調査結果.....	8
1. 結果概要	8
2. ハクチョウ類.....	12
2.1 観察個体数	12
2.2 分布状況	15
2.3 法指定区域別の観察状況	17
2.4 地況別の観察状況	21
3. ガン類.....	25
3.1 観察個体数	25
3.2 分布状況	29
3.3 法指定区域別の観察状況	31
3.4 地況別の観察状況	36
4. カモ類	40
4.1 観察個体数	40
4.2 分布状況	52
4.3 法指定区域別の観察状況	55
4.4 地況別の観察状況	65
5. 希少なガンカモ類の観察状況	75
5.1 選定基準	75
5.2 希少なガンカモ類の観察状況	76
6. 移入種の観察状況	78
6.1 コブハクチョウ	78
7. 飼養品種の観察状況	80

(参考) 第54回ガンカモ類の生息調査実施要領

要 約

環境省は、ガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物保護管理行政に必要な情報を把握するため、都道府県の協力を得て、ガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況の把握調査を、毎年1月中旬に全国一斉で実施している。

令和4年度の調査は、実施要領に基づき令和5年1月15日とその前後7日間（計15日間）を原則とし、全国8,729地点において、延べ12,929名の調査員により実施された。

ハクチョウ類は37都道府県の642地点において77,153羽、ガン類は29道府県の156地点において311,825羽、カモ類は47都道府県の6,391地点において1,585,166羽が観察された。観察総数は1,974,144羽であり、令和3年度の1,795,586羽と比べ178,558羽増加した。

観察個体数の多かった種を分類群別に示すと、ハクチョウ類はコハクチョウ（45,280羽）、ガン類はマガン（296,518羽）、カモ類はマガモ（433,945羽）であった。

Abstract

Ministry of the Environment has been conducting a waterfowl Anatidae population census during the winter each year in order to confirm the status of wintering swans, geese and ducks and to collect the information necessary for wildlife management. In cooperation with all prefectures, this census is carried out in January simultaneously throughout Japan.

The census of this year was carried out for 15 days in total before and after January 15th, 2023, at 8,729 observatory sites by a total of 12,929 participants.

77,153 swans were confirmed at 642 sites in 37 prefectures, 311,825 geese at 156 sites in 29 prefectures, 1,585,166 ducks at 6,391 sites in 47 prefectures. The total number of waterfowl counted this year has increased by 178,558 to 1,974,144 compared with the number last year 1,795,586.

The most abundant waterfowl was Tundra Swan (45,280) in swans, Greater White-fronted Goose (296,518) in geese, and Mallard (433,945) in ducks.

第1章 調査状況

1. 調査目的

本調査は国や自治体における野生動物保護管理行政（鳥獣の保護管理、希少種の保全、外来種・鳥インフルエンザ対策等）に効果的に活用されるよう、我が国におけるガン類、カモ類、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握することを目的とした。

2. 調査方法

調査実施に先立ち、過去の調査結果や鳥類保護団体等からの情報に基づいてガン類、カモ類、ハクチョウ類全ての渡来地を抽出し、その位置と地況等を整理した。次いでそれらの中から調査地点を選定した。その際、ハクチョウ類、あるいはガン類の見られる渡来地は全てを選定し、カモ類のみの渡来地については各都道府県の実況（調査体制、調査人数等）に応じて、各都道府県の飛来数を概ね把握できるよう、主要な渡来地を選定した。

現地調査では、調査地点ごとに1名以上の調査員を配置し、双眼鏡や望遠鏡を用いて種ごとに観察個体数を計数した。その他、調査地点での人工給餌の有無や工事の有無、天候なども併せて記録した。

なお、現地調査は各都道府県が主体となり、巻末に示した調査実施要領に従って実施した。

3. 調査期日

現地調査の実施期日は、原則として令和5年1月15日を基準日とした前後1週間（1月8日～22日）としており、都道府県ごとに集中調査日を設定し、天候等の状況によって実施不可能な場合には、その前後に実施することとした（表1-1）。実際は1月8日～22日に8,618地点（約98.7%）で調査が実施された。令和4年度の調査期間に調査された地点数8,499地点（96.6%）と比較すると、調査実施割合は高くなった。また、調査期間より前に調査を実施した地点は94地点（1.1%）、調査期間より後に実施された地点は17地点（0.2%）であった。

表 1-1 調査期日

調査期日	令和4年度		令和3年度	
	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
調査日から一週間以前	94	1.1	263	3.0
調査日の前後一週間 (令和4年度は1/8～1/22)	8,618	98.7	8,499	96.6
調査日から一週間以降	17	0.2	33	0.4
合計	8,729	100.0	8,795	100.0

4. 調査規模

令和4年度の調査は、47都道府県の計8,729地点、総面積382,231 haを対象として、総勢3,558名（延べ12,929名で複数地点を調査している場合がある）の調査員によって実施した。

表1-2に令和3年度からの調査継続状況別の調査地点数を示した。令和3年度から継続して実施されている地点は8,512地点、令和4年度新規に調査を行った地点及び令和3年度は調査を休止していたが令和4年度に調査を復活した地点は217地点であった。また、令和3年度は調査を実施したが、令和4年度は調査を休止した地点は422地点であった。

河川や湖沼等の地況別の調査地点数及び調査面積を表1-3に、都道府県別の調査地点数、調査面積、調査人数及び延べ調査人数を表1-4に、都道府県別の調査員の内訳を表1-5に、調査実施地点を図1-1(1)～(2)に示した。

表 1-2 令和3年度からの調査継続状況

調査継続状況		地点数	割合(%)
調査実施	前年度より調査継続	8,512	97.5
	今年度より調査開始・再開	217	2.5
	合計	8,729	100.0
今年度より調査休止		422	

表 1-3 地況別の調査地点数及び調査面積

地況	調査地点数		調査面積 (ha)	
	地点数	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
海岸	800	9.2	119,916	31.4
河口	390	4.5	22,421	5.9
河川	3,020	34.6	70,150	18.4
自然湖沼	529	6.1	105,409	27.6
ダム湖	694	8.0	33,466	8.8
その他人造湖	3,014	34.5	16,086	4.2
その他	282	3.2	14,780	3.9
合計	8,729	100.0	382,231	100.0

【備考】割合は、総観察地点数及び総調査面積に対する、地況別の構成比を示す。

※注：小数以下を四捨五入して表示しているため内訳と合計にずれがある

表 1-4 都道府県別調査規模

都道府県	調査地点数	調査面積 (ha)	調査人数	延べ調査人数
北海道	151	11,845	74	313
青森県	235	11,894	57	315
岩手県	334	4,868	96	428
宮城県	517	17,527	106	546
秋田県	296	13,903	72	404
山形県	316	2,593	0	316
福島県	331	8,637	159	564
茨城県	42	21,813	86	86
栃木県	32	1,532	33	64
群馬県	81	1,806	49	82
埼玉県	169	8,422	203	369
千葉県	341	6,921	127	436
東京都	63	3,705	125	125
神奈川県	273	5,185	98	451
新潟県	23	3,192	57	59
富山県	18	1,057	18	31
石川県	10	10,919	43	43
福井県	17	9,944	53	75
山梨県	107	5,672	74	238
長野県	312	6,242	12	350
岐阜県	124	6,349	86	294
静岡県	139	6,016	119	252
愛知県	142	4,667	73	273
三重県	305	7,450	55	373
滋賀県	186	23,656	373	373
京都府	152	6,390	64	404
大阪府	461	4,602	128	594
兵庫県	244	4,372	127	545
奈良県	118	1,432	38	211
和歌山県	219	2,428	69	429
鳥取県	11	12,260	28	28
島根県	224	22,356	80	320
岡山県	15	6,898	41	42
広島県	307	6,570	89	452
山口県	231	5,138	58	285
徳島県	73	10,209	29	74
香川県	175	4,244	34	317
愛媛県	269	19,489	38	351
高知県	90	5,008	83	112
福岡県	278	3,894	68	318
佐賀県	134	4,238	34	179
長崎県	44	35,931	22	73
熊本県	196	2,303	54	232
大分県	311	3,793	53	384
宮崎県	103	5,020	50	206
鹿児島県	302	4,334	95	305
沖縄県	208	5,507	28	208
合 計	8,729	382,231	3,558	12,929

※注：小数以下を四捨五入して表示しているため内訳と合計にずれがある

表 1-5 都道府県別調査員の内訳

都道府県	調査員人数(人)									
	都道府県 職員	鳥獣保護管理員				鳥獣保護管理員以外				計
		保護団体 関係者	狩猟団体 関係者	両団体 関係者	その他	保護団体 関係者	狩猟団体 関係者	両団体 関係者	その他	
北海道	28	0	11	0	3	9	1	7	15	74
青森県	15	0	26	0	16	0	0	0	0	57
岩手県	0	0	6	15	0	24	38	9	4	96
宮城県	22	0	0	0	74	10	0	0	0	106
秋田県	20	0	24	4	19	0	5	0	0	72
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	6	0	62	0	0	90	0	0	1	159
茨城県	0	8	0	0	0	78	0	0	0	86
栃木県	14	6	0	0	2	11	0	0	0	33
群馬県	0	0	0	0	0	49	0	0	0	49
埼玉県	0	0	0	0	0	198	0	0	5	203
千葉県	15	5	70	19	6	1	6	0	5	127
東京都	0	0	0	0	96	0	0	0	29	125
神奈川県	34	3	54	0	5	0	1	0	1	98
新潟県	0	3	0	0	0	50	0	0	4	57
富山県	0	0	0	0	0	6	5	0	7	18
石川県	0	0	0	0	0	43	0	0	0	43
福井県	0	0	0	0	0	53	0	0	0	53
山梨県	16	1	39	0	4	13	0	0	1	74
長野県	2	0	9	0	1	0	0	0	0	12
岐阜県	0	0	0	0	0	86	0	0	0	86
静岡県	0	0	0	0	0	75	0	0	44	119
愛知県	23	5	30	0	2	1	6	0	6	73
三重県	11	0	4	1	8	31	0	0	0	55
滋賀県	0	0	0	0	0	373	0	0	0	373
京都府	0	1	0	0	0	63	0	0	0	64
大阪府	2	0	0	0	0	126	0	0	0	128
兵庫県	0	0	0	0	0	103	0	0	24	127
奈良県	0	0	0	1	0	37	0	0	0	38
和歌山県	1	4	13	7	5	27	0	0	12	69
鳥取県	0	0	0	0	0	28	0	0	0	28
島根県	19	1	29	0	5	2	0	0	24	80
岡山県	0	0	0	0	0	41	0	0	0	41
広島県	11	2	3	0	1	68	0	0	4	89
山口県	2	1	42	0	4	1	6	0	2	58
徳島県	0	0	0	0	0	29	0	0	0	29
香川県	0	5	0	0	0	29	0	0	0	34
愛媛県	0	0	0	0	0	38	0	0	0	38
高知県	2	0	0	38	0	42	0	0	1	83
福岡県	0	8	59	0	1	0	0	0	0	68
佐賀県	0	3	7	9	8	2	4	0	1	34
長崎県	0	0	1	0	0	19	1	0	1	22
熊本県	4	3	33	8	5	0	1	0	0	54
大分県	6	0	0	0	0	5	42	0	0	53
宮崎県	13	0	22	0	11	0	0	0	4	50
鹿児島県	1	0	89	0	5	0	0	0	0	95
沖縄県	0	7	8	2	11	0	0	0	0	28
合 計	267	66	641	104	292	1,861	116	16	195	3,558

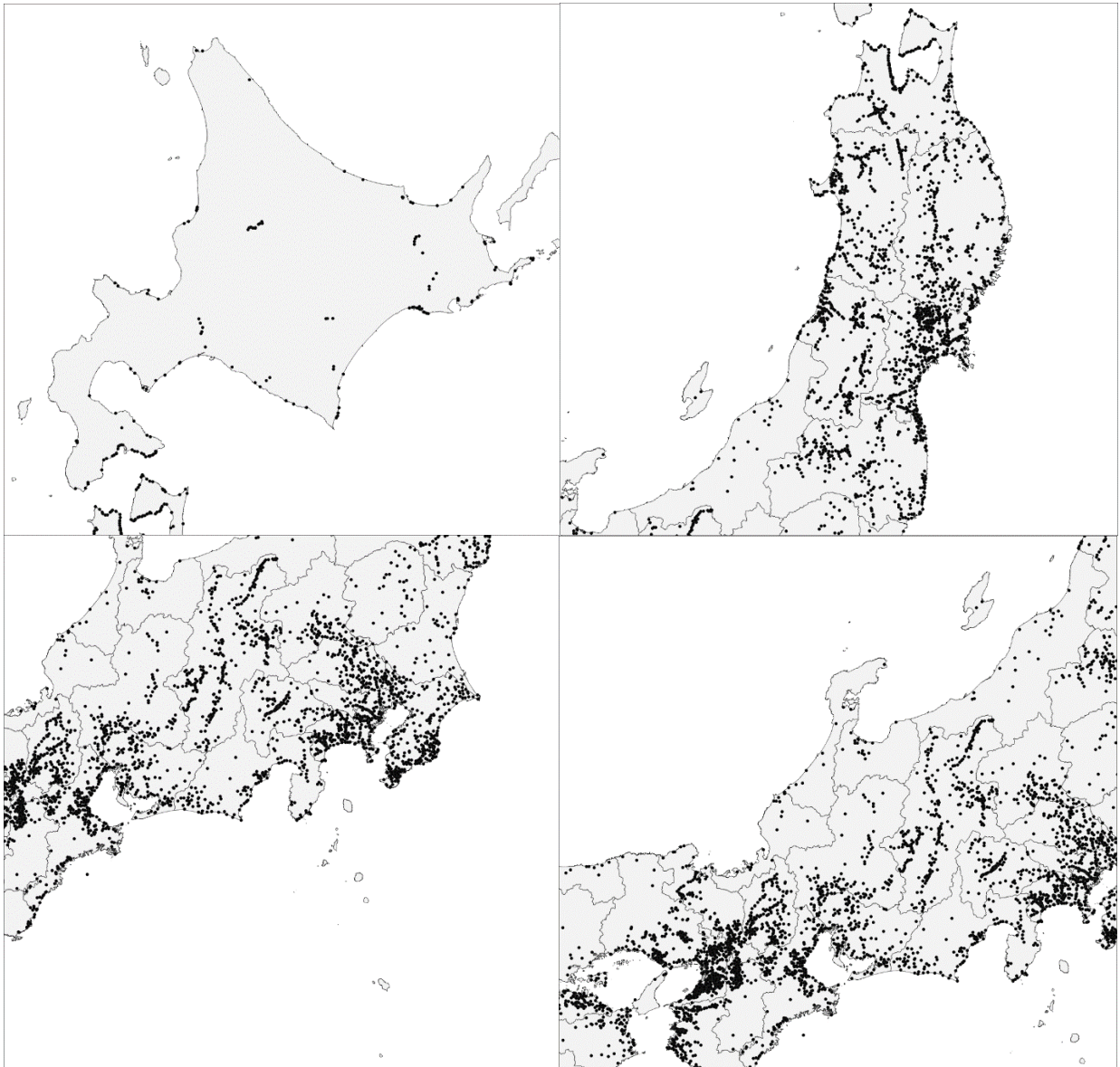


図 1-1(1) 調査実施地点

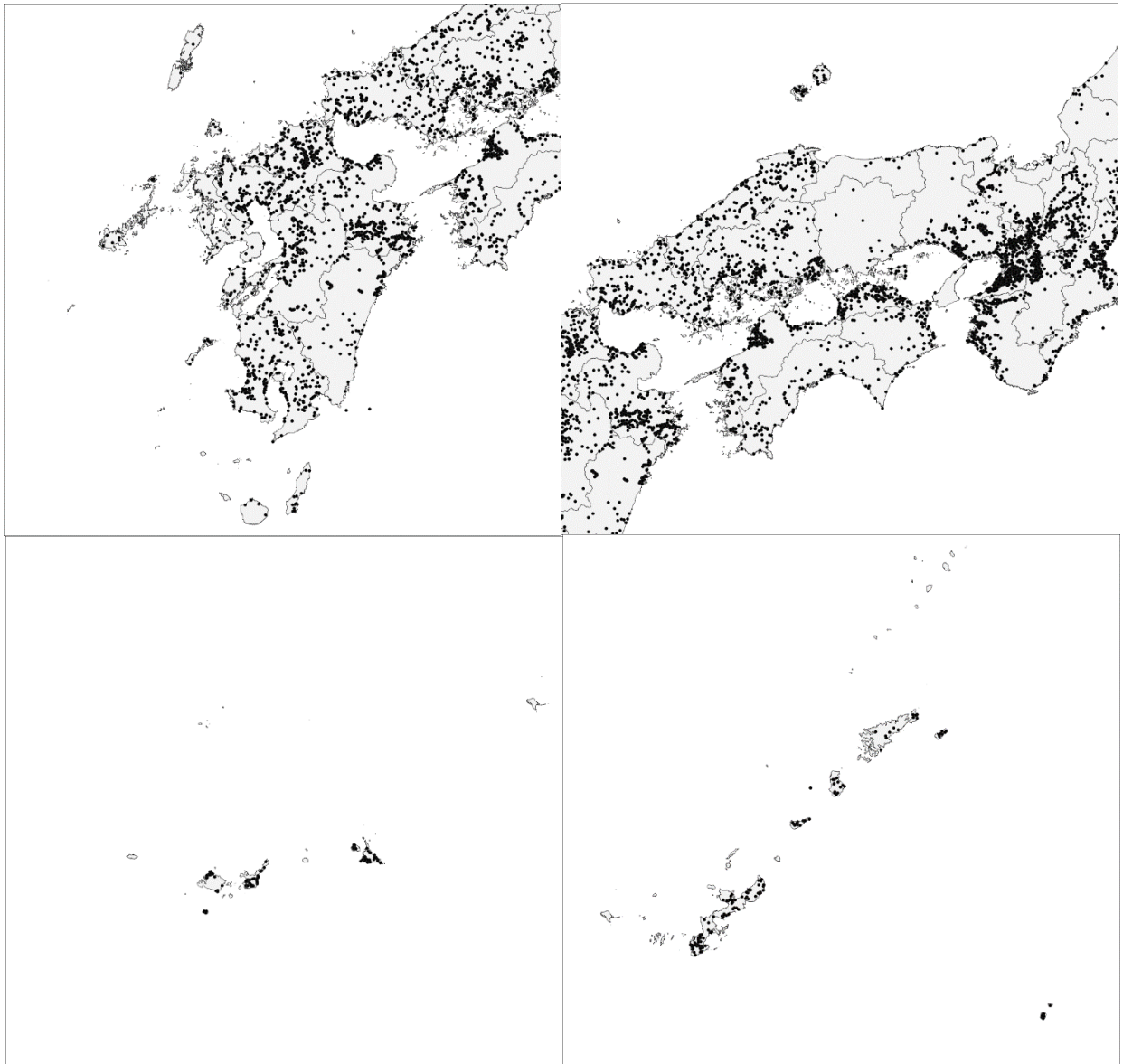


図 1-1(2) 調査実施地点

5. 調査結果の整理

各都道府県からの報告を受けた調査結果について、沿岸性の種の内陸部での記録や、希少種の大きな群れなどの生態学的に疑問のある観察記録（以下「生物学的チェック」という。）及び内訳と合計が一致しない箇所の確認（以下「論理的チェック」という。）を行い、これらの疑義について各都道府県に問い合わせを行った。本調査結果はこれらのチェックを経て得られたデータである。

なお、以下のとりまとめでは、調査地点のうち、実際にガン、カモ、ハクチョウ類が1羽でも観察された地点の数を「観察地点数」として示し、ガン、カモ、ハクチョウ類が観察されない地点を含む「調査地点数」と区別している。

6. 亜種の扱い

本報告書で用いているデータは、基本的に亜種を含む種を対象として整理を行っている。

ただし、コハクチョウは、単独で記載している場合は亜種を含む種コハクチョウを意味し、コハクチョウとアメリカコハクチョウを併記している場合は、コハクチョウは亜種コハクチョウを、アメリカコハクチョウは亜種アメリカコハクチョウを意味する。また、シジュウカラガンは、シジュウカラガンと記載している場合は亜種を含む種シジュウカラガン（カナダガンを除く。）を意味する。

7. 調査成果の活用

本調査の結果は、環境省生物多様性センターのウェブサイト（https://www.biodic.go.jp/gankamo/gankamo_top.html）で公開されており、年次報告書及び確定値（都道府県別、調査地点別）が公開されている。

調査成果は、下記のような施策や国際的枠組み等で活用されている。

- 施策への活用：二国間渡り鳥条約会議への情報提供
- 保護地域の見直し：鳥獣保護区更新にあたっての基礎資料として活用
- 国際協力：Asian Waterbird Census への情報提供
- 環境アセスメントへの活用：「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き」で参照すべきデータとして引用

また、調査成果を利用した研究の報告や発表について生物多様性センターに報告があったものについても、上記ウェブサイトで公表している。

第2章 令和4年度（第54回）調査結果

1. 結果概要

令和4年度の調査では、調査を行った8,729地点のうち6,526地点で、総計1,974,144羽のガン、カモ、ハクチョウ類が観察された。分類群別では、ハクチョウ類77,153羽、ガン類311,825羽、カモ類1,585,166羽であった（図2-1-1）。

都道府県別の観察個体数を表2-1-1に示した。ハクチョウ類が最も多く観察された都道府県は新潟県で、ハクチョウ類全体の26.4%にあたる20,406羽が観察され、次いで宮城県、山形県でそれぞれ18,303羽（23.7%）、8,181羽（10.6%）が観察された。ガン類が最も多く観察された都道府県は宮城県で、ガン類全体の90.6%にあたる282,414羽が観察され、次いで秋田県、新潟県でそれぞれ9,376羽（3.0%）、8,925羽（2.9%）が観察された。また、カモ類が最も多く観察された都道府県は茨城県で、カモ類全体の9.0%にあたる142,813羽が観察され、次いで千葉県、滋賀県でそれぞれ133,517羽（8.4%）、82,941羽（5.2%）が観察された。

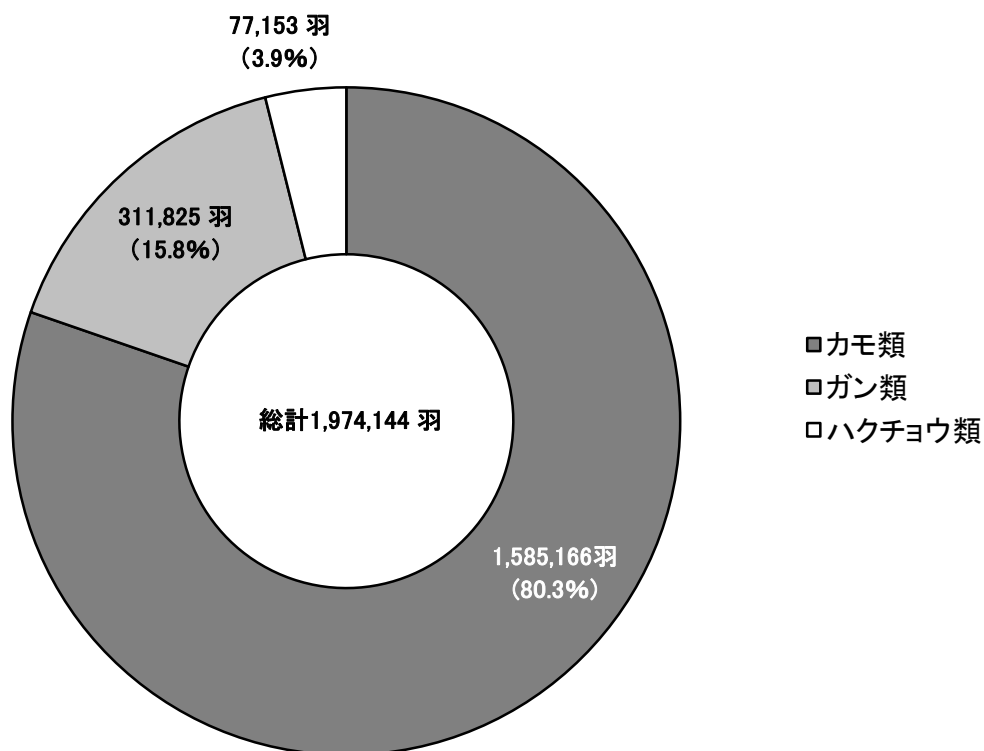


図 2-1-1 ガン、カモ、ハクチョウ類の観察個体数の内訳

表 2-1-1 都道府県別のガン、カモ、ハクチョウ類の観察個体数

都道府県	観察 地点数	ハクチョウ類		ガン類		カモ類		合計	
		観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)
北海道	121	1,943	2.5	69	<0.05	7,803	0.5	9,815	0.5
青森県	157	1,731	2.2	374	0.1	7,394	0.5	9,499	0.5
岩手県	240	4,694	6.1	3,731	1.2	24,000	1.5	32,425	1.6
宮城県	364	18,303	23.7	282,414	90.6	57,572	3.6	358,289	18.1
秋田県	196	2,911	3.8	9,376	3.0	11,974	0.8	24,261	1.2
山形県	143	8,181	10.6	731	0.2	36,153	2.3	45,065	2.3
福島県	256	6,502	8.4	88	<0.05	37,623	2.4	44,213	2.2
茨城県	42	1,757	2.3	166	0.1	142,813	9.0	144,736	7.3
栃木県	32	440	0.6	0	—	17,709	1.1	18,149	0.9
群馬県	80	328	0.4	2	<0.05	14,155	0.9	14,485	0.7
埼玉県	157	190	0.2	0	—	32,023	2.0	32,213	1.6
千葉県	252	1,175	1.5	2	<0.05	133,517	8.4	134,694	6.8
東京都	58	5	<0.05	0	—	13,271	0.8	13,276	0.7
神奈川県	168	0	—	0	—	8,689	0.5	8,689	0.4
新潟県	23	20,406	26.4	8,925	2.9	72,850	4.6	102,181	5.2
富山県	18	1,436	1.9	6	<0.05	20,574	1.3	22,016	1.1
石川県	10	3,234	4.2	810	0.3	63,026	4.0	67,070	3.4
福井県	17	132	0.2	1,345	0.4	27,526	1.7	29,003	1.5
山梨県	54	49	0.1	0	—	4,036	0.3	4,085	0.2
長野県	192	368	0.5	0	—	14,532	0.9	14,900	0.8
岐阜県	118	62	0.1	1	<0.05	26,037	1.6	26,100	1.3
静岡県	131	6	<0.05	1	<0.05	26,554	1.7	26,561	1.3
愛知県	124	6	<0.05	1	<0.05	42,436	2.7	42,443	2.1
三重県	246	0	—	12	<0.05	54,931	3.5	54,943	2.8
滋賀県	170	817	1.1	241	0.1	82,941	5.2	83,999	4.3
京都府	136	2	<0.05	63	<0.05	24,375	1.5	24,440	1.2
大阪府	392	0	—	0	—	36,889	2.3	36,889	1.9
兵庫県	206	46	0.1	4	<0.05	36,979	2.3	37,029	1.9
奈良県	111	0	—	0	—	17,171	1.1	17,171	0.9
和歌山県	138	1	<0.05	0	—	12,477	0.8	12,478	0.6
鳥取県	11	295	0.4	93	<0.05	21,254	1.3	21,642	1.1
島根県	166	2,084	2.7	3,235	1.0	55,896	3.5	61,215	3.1
岡山県	15	0	—	0	—	18,593	1.2	18,593	0.9
広島県	267	0	—	0	—	37,952	2.4	37,952	1.9
山口県	187	1	<0.05	0	—	22,205	1.4	22,206	1.1
徳島県	71	1	<0.05	1	<0.05	26,982	1.7	26,984	1.4
香川県	148	6	<0.05	0	—	21,070	1.3	21,076	1.1
愛媛県	208	2	<0.05	0	—	34,899	2.2	34,901	1.8
高知県	61	0	—	2	<0.05	27,666	1.7	27,668	1.4
福岡県	207	9	<0.05	63	<0.05	24,183	1.5	24,255	1.2
佐賀県	95	0	—	44	<0.05	16,884	1.1	16,928	0.9
長崎県	40	3	<0.05	0	—	73,309	4.6	73,312	3.7
熊本県	148	2	<0.05	0	—	29,368	1.9	29,370	1.5
大分県	192	0	—	0	—	19,524	1.2	19,524	1.0
宮崎県	65	0	—	0	—	17,093	1.1	17,093	0.9
鹿児島県	196	23	<0.05	1	<0.05	27,354	1.7	27,378	1.4
沖縄県	97	2	<0.05	24	<0.05	2,904	0.2	2,930	0.1
合計	6,526	77,153	100.0	311,825	100.0	1,585,166	100.0	1,974,144	100.0

【備考】 国内割合は、各都道府県の観察個体数の、全国合計に対する構成比を示す。
観察地点数は調査地点のうち、実際にガンカモ類が確認された地点の数を示す。

昭和44年度からの観察個体数の推移と調査地点数をそれぞれ図2-1-2、図2-1-3に示した。令和4年度は、ガン、カモ、ハクチョウ類全体の観察個体数は令和3年度と比べて9.9%増加した。分類群別に見ると、ハクチョウ類では1.5%増加、ガン類では45.0%増加、カモ類では5.4%の増加であった。

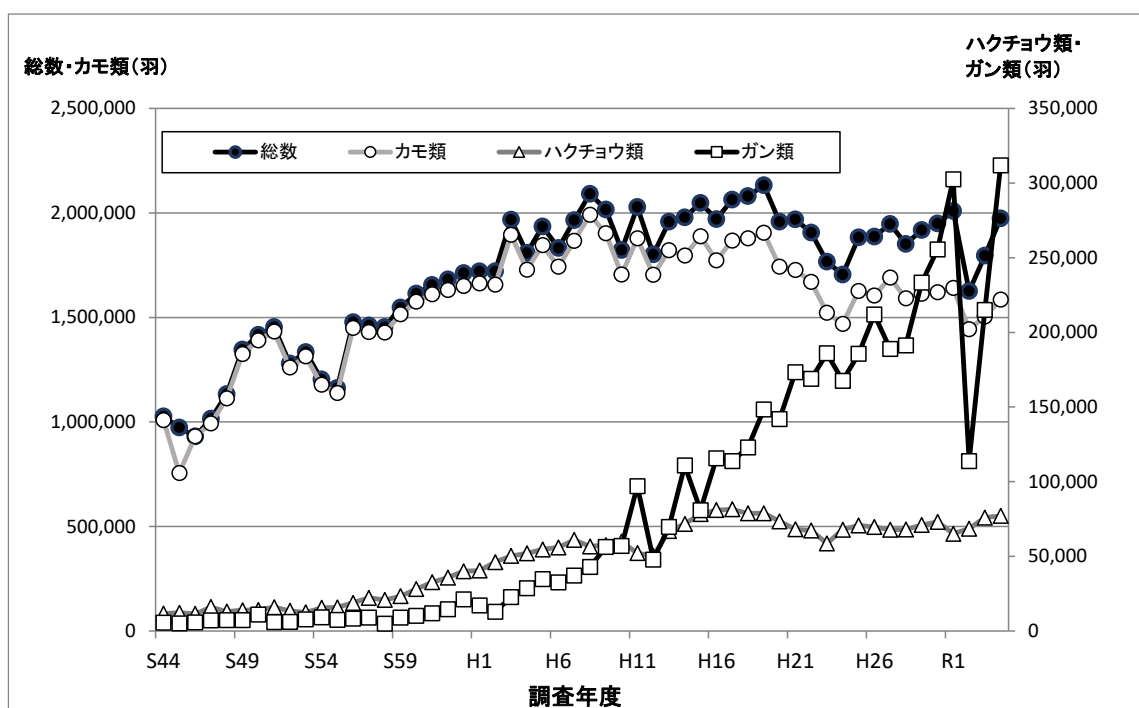


図 2-1-2 昭和 44 年度からのガン、カモ、ハクチョウ類観察個体数の推移

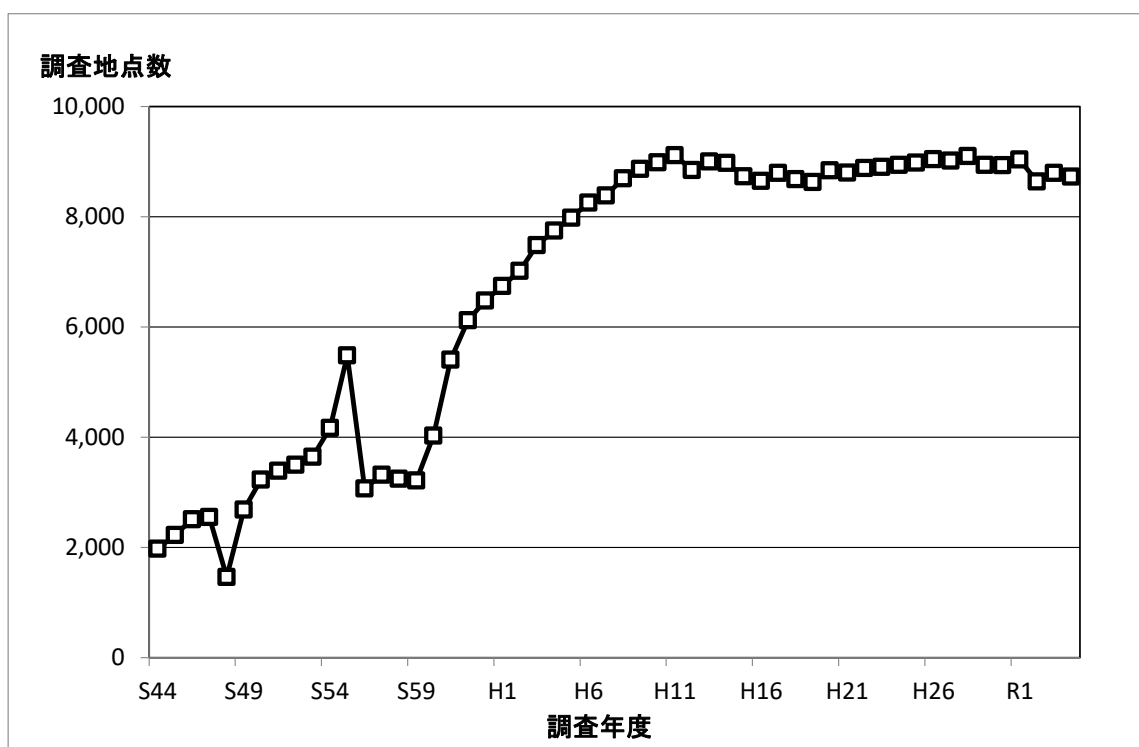


図 2-1-3 昭和 44 年度からの調査地点数の推移

令和4年度にガン、カモ、ハクチョウ類が観察されている調査地域のうち上位10地域を過去2か年度（令和3年度と令和2年度）の観察個体数とともに表2-1-2に示した（調査地域とは、都道府県担当者の視点で一体として扱うべき調査地点群であり、複数の調査地点から構成される場合がある。以降同様とする。）。

ラムサール条約湿地の水鳥類に関する登録基準の一つに「定期的に20,000羽以上の水鳥を支える」ことがあるが、令和4年度も含め3年連続で20,000羽以上のガン、カモ、ハクチョウ類が観察されている調査地域は、蕪栗沼、伊豆沼内沼、霞ヶ浦、諫早湾、琵琶湖、宍道湖の6地域であった。このうち蕪栗沼、伊豆沼内沼、琵琶湖、宍道湖の4地域は既にラムサール条約湿地である。

表 2-1-2 ガン、カモ、ハクチョウ類観察個体数上位 10 地域

順位	地域名	所在地	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	過去の観察個体数(羽)	
					R3	R2
1	蕪栗沼*	宮城県大崎市田尻	176,588 *	8.9	113,245 *	41,080 *
2	伊豆沼内沼*	宮城県登米市他	85,621 *	4.3	58,342 *	30,716 *
3	霞ヶ浦*	茨城県行方市他	65,679 *	3.3	78,738 *	66,371 *
4	諫早湾*	長崎県諫早市	61,927 *	3.1	54,138 *	20,038 *
5	琵琶湖*	滋賀県野洲市他	58,060 *	2.9	52,510 *	63,036 *
6	印旛沼	千葉県成田市他	37,264 *	1.9	8,320	11,046
7	宍道湖*	島根県松江市	34,010 *	1.7	27,333 *	34,657 *
8	北浦	茨城県鉾田市他	32,889 *	1.7	22,273 *	19,921
9	河北潟	石川県金沢市	27,049 *	1.4	22,239 *	16,900
10	福島潟	新潟県新潟市	19,309	1.0	17,317	5,515
—	その他	—	1,375,748	69.7	1,341,131	1,316,475
	全国計		1,974,144	100.0	1,795,586	1,625,755

【備考】20,000羽以上の記録とそれが最近3年間継続している地域名は*を付けて太字で示した。
国内割合は、各地域の観察個体数の、全国合計に対する構成比を示す。

2. ハクチョウ類

2.1 観察個体数

ハクチョウ類の令和4年度の観察個体数の種別割合を図2-2-1に示した。

令和4年度の調査では、37都道府県の642地点において77,153羽のハクチョウ類が観察された。主な種を見ると、オオハクチョウが29,022羽、コハクチョウ(アメリカコハクチョウを含む、以降同様)が45,280羽(うち、アメリカコハクチョウ13羽)観察された。また、その他として、移入種であるコブハクチョウ(詳細は、6. 移入種の観察状況を参照)が303羽、種不明が2,548羽観察された(計2,851羽)。令和4年度のハクチョウ類の観察個体数の種別割合は、令和3年度と比較してオオハクチョウは6.9%増加し、コハクチョウは2.9%減少した。

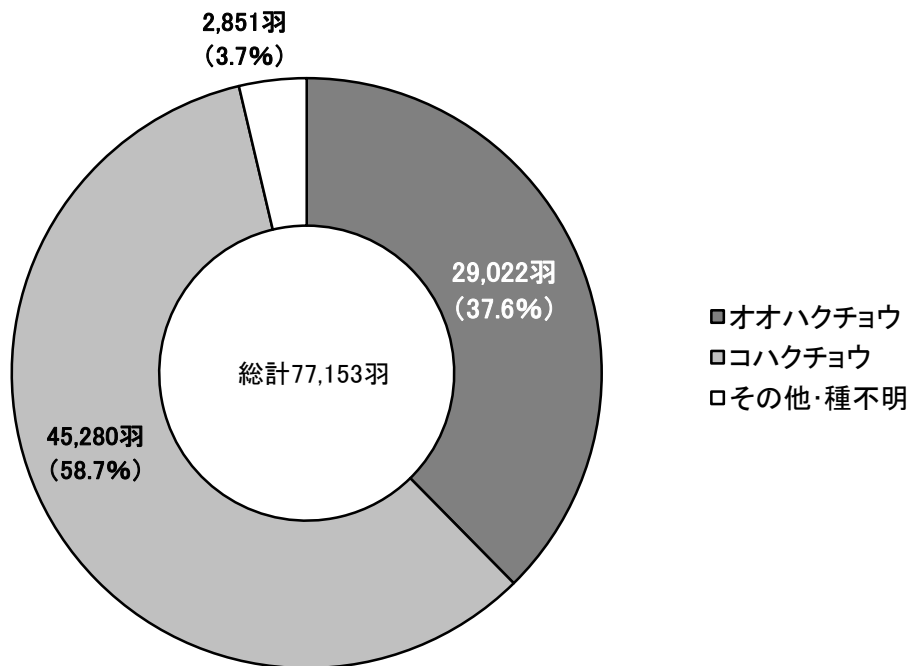


図 2-2-1 ハクチョウ類の観察個体数の内訳

(1) オオハクチョウ

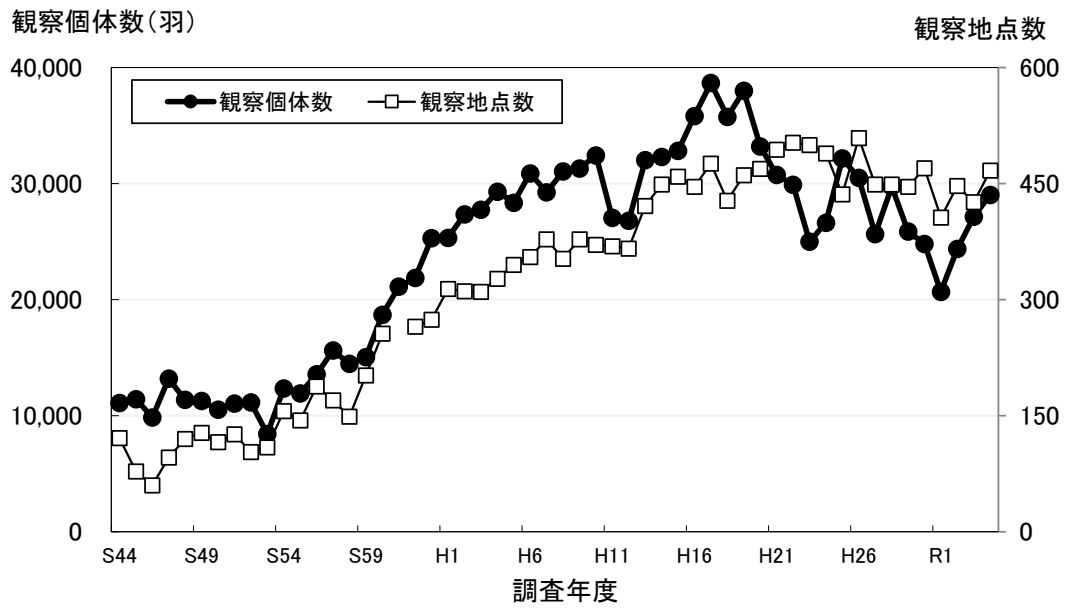
観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね300～500地点で推移している。

観察個体数については、平成17年度に38,000羽程度まで増加した後、増減しつつもやや減少傾向が見られ、近年は概ね20,000～30,000羽で推移している（図2-2-2（1））。

(2) コハクチョウ

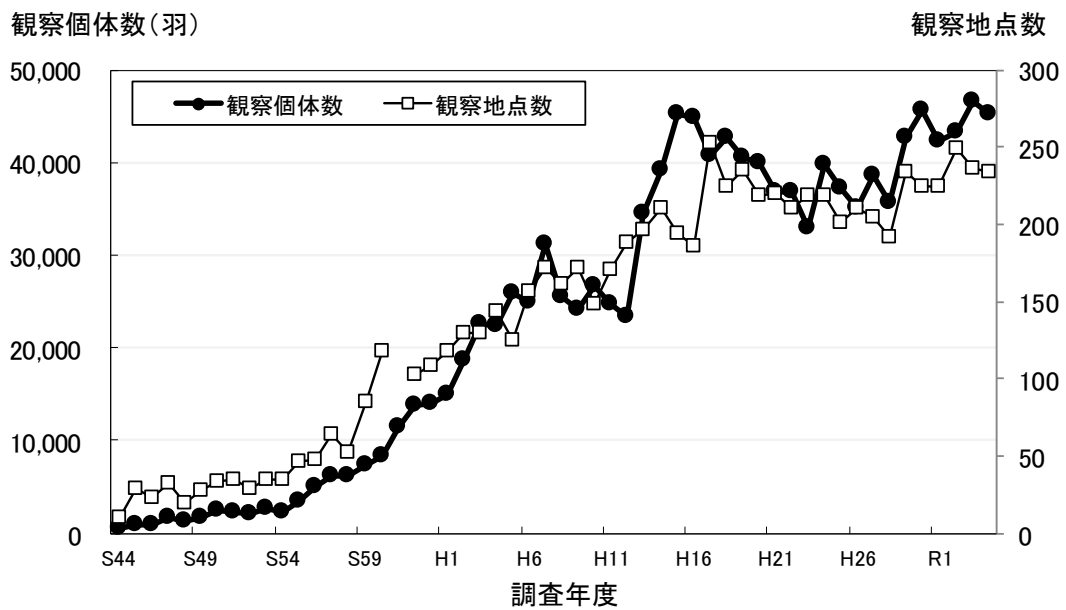
観察状況の最近 20 年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね 150～250 地点で推移している。

観察個体数については、平成 15 年度の 45,000 羽程度から平成 23 年度にかけて減少傾向が見られたものの、平成 24 年度以降は増加傾向に転じ、近年は 40,000 羽以上で推移している（図 2-2-2（2））。



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない

図 2-2-2(1) オオハクチョウの観察状況の推移



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-2-2(2) コハクチョウの観察状況の推移

2.2 分布状況

ハクチョウ類について、令和4年度の都道府県別調査結果を表2-2-1に示した。

ハクチョウ類全体では、東北地方（42,322羽）、北陸（25,208羽）で観察個体数が多く、これら2つの地域で全国の87.6%にあたる67,530羽が観察された。都道府県別の観察個体数を見ると、特に新潟県、宮城県では観察個体数が15,000羽を越えており、2県のみで全体の50.2%にあたる38,709羽が観察された。ハクチョウ類における種毎の観察状況は以下のとおり。

(1) オオハクチョウ

北海道、東北地方（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県）、茨城県及び新潟県で観察個体数が多く、コハクチョウよりも高緯度寄りに分布している。都道府県別に観察個体数を見ると、宮城県が唯一10,000羽を超え、13,676羽観察された。

(2) コハクチョウ

全体的にオオハクチョウより低緯度まで分布しており、朝鮮半島方面から渡ってくるものが知られている島根県では2,065羽が観察された。都道府県別に観察個体数を見ると、新潟県が唯一10,000羽を超え18,916羽観察された。

表 2-2-1 都道府県別のハクチョウ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察地点数	観察個体数（羽）			
		オオハクチョウ	コハクチョウ	その他・種不明	合計
北海道	34	1,705	235	3	1,943
青森県	69	1,233	230	268	1,731
岩手県	77	3,620	1,074	0	4,694
宮城県	156	13,676	4,625	2	18,303
秋田県	41	1,203	875	833	2,911
山形県	45	819	5,937	1,425	8,181
福島県	88	3,121	3,292	89	6,502
茨城県	19	1,297	432	28	1,757
栃木県	7	204	236	0	440
群馬県	5	145	183	0	328
埼玉県	7	2	186	2	190
千葉県	10	104	972	99	1,175
東京都	2	0	0	5	5
神奈川県	0	0	0	0	0
新潟県	17	1,488	18,916	2	20,406
富山県	6	353	1,083	0	1,436
石川県	6	0	3,234	0	3,234
福井県	2	4	128	0	132
山梨県	4	0	2	47	49
長野県	6	0	367	1	368
岐阜県	1	0	62	0	62
静岡県	1	6	0	0	6
愛知県	3	4	0	2	6
三重県	0	0	0	0	0
滋賀県	4	7	810	0	817
京都府	1	0	2	0	2
大阪府	0	0	0	0	0
兵庫県	3	12	34	0	46
奈良県	0	0	0	0	0
和歌山県	1	1	0	0	1
鳥取県	5	0	294	1	295
島根県	6	12	2,065	7	2,084
岡山県	0	0	0	0	0
広島県	0	0	0	0	0
山口県	1	1	0	0	1
徳島県	1	1	0	0	1
香川県	1	0	0	6	6
愛媛県	1	2	0	0	2
高知県	0	0	0	0	0
福岡県	4	0	3	6	9
佐賀県	0	0	0	0	0
長崎県	2	2	0	1	3
熊本県	2	0	1	1	2
大分県	0	0	0	0	0
宮崎県	0	0	0	0	0
鹿児島県	3	0	0	23	23
沖縄県	1	0	2	0	2
観察 都道府県数		25	27	21	37
合計	642	29,022	45,280	2,851	77,153

2.3 法指定区域別の観察状況

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）」（以下「鳥獣保護管理法」）によって、鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域別のハクチョウ類観察状況を、表2-2-2～表2-2-5及び図2-2-3に示した。

ハクチョウ類の観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の27.1%にあたる174地点であり、これらの地点では全観察個体数の44.3%にあたる34,148羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域（公道、墓地など）、特定猟具使用禁止区域及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、368地点（57.3%）で54,128羽（70.2%）が観察された。狩猟または銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、274地点（42.7%）で、23,025羽（29.8%）が観察された。

表2-2-2 法指定区域別のハクチョウ類観察状況

項目	区域区分	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計	
		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)	
調査地点数(箇所)		1,687	19.3	70	0.8	156	1.8	2,812	32.2	46	0.5	180	2.1	3,778	43.3	8,729	100.0
調査地点面積(ha)		188,329	49.3	1,313	0.3	3,144	0.8	70,616	18.5	1,838	0.5	6,885	1.8	110,107	28.8	382,231	100.0
観察地点数 (箇所)	オオハクチョウ	131	28.1	1	0.2	10	2.1	107	22.9	16	3.4	13	2.8	189	40.5	467	100.0
	コハクチョウ	60	25.6	1	0.4	8	3.4	60	25.6	4	1.7	7	3.0	94	40.2	234	100.0
	コブハクチョウ	19	51.4	0	—	2	5.4	11	29.7	0	—	0	—	5	13.5	37	100.0
	その他・種不明	10	47.6	0	—	0	—	6	28.6	0	—	0	—	5	23.8	21	100.0
	合計	174	27.1	2	0.3	16	2.5	157	24.5	19	3.0	18	2.8	256	39.9	642	100.0
観察個体数 (羽)	オオハクチョウ	8,204	28.3	447	1.5	310	1.1	7,401	25.5	3,424	11.8	1,395	4.8	7,841	27.0	29,022	100.0
	コハクチョウ	23,949	52.9	190	0.4	231	0.5	7,541	16.7	360	0.8	1,844	4.1	11,165	24.7	45,280	100.0
	コブハクチョウ	170	56.1	0	—	5	1.7	31	10.2	0	—	0	—	97	32.0	303	100.0
	その他・種不明	1,825	71.6	0	—	0	—	40	1.6	0	—	0	—	683	26.8	2,548	100.0
	合計	34,148	44.3	637	0.8	546	0.7	15,013	19.5	3,784	4.9	3,239	4.2	19,786	25.6	77,153	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-3 法指定区域別のハクチョウ類観察状況（個体数の下限有）

項目	区域区分	観察 個体数 下限値 (羽) *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計	
			項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)	
調査地点数(箇所)			1,687	19.3	70	0.8	156	1.8	2,812	32.2	46	0.5	180	2.1	3,778	43.3	8,729	100.0
調査地点面積(ha)			188,329	49.3	1,313	0.3	3,144	0.8	70,616	18.5	1,838	0.5	6,885	1.8	110,107	28.8	382,231	100.0
観察地点数	オオハクチョウ	100	27	32.9	1	1.2	1	1.2	19	23.2	9	11.0	5	6.1	20	24.4	82	100.0
	コハクチョウ	100	24	34.3	1	1.4	0	—	13	18.6	2	2.9	3	4.3	27	38.6	70	100.0
	ハクチョウ類合計	100	47	32.2	2	1.4	1	0.7	31	21.2	11	7.5	8	5.5	46	31.5	146	100.0

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。

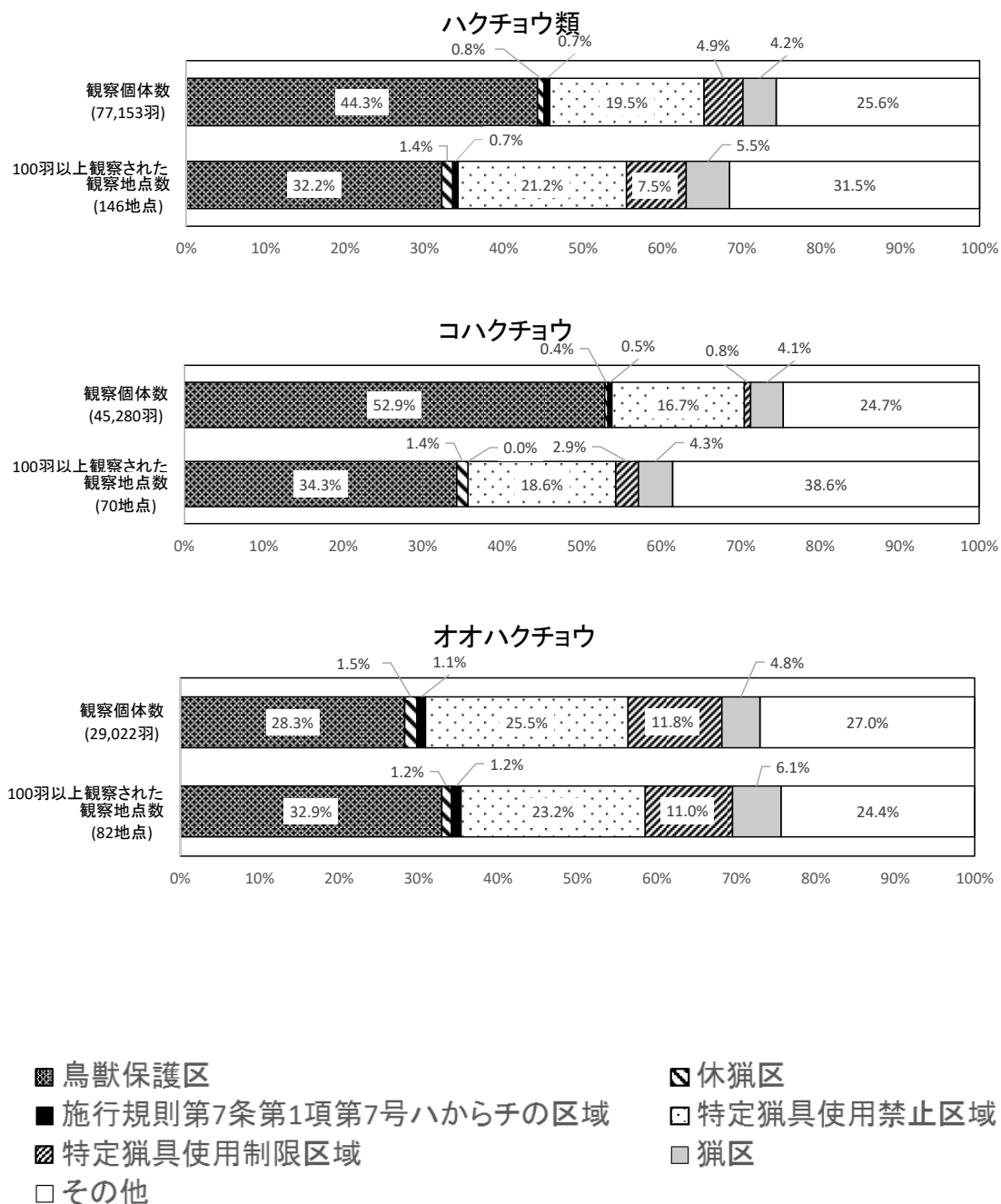


図 2-2-3 法指定区域別のハクチョウ類観察状況

表2-2-4 法指定区域別のハクチョウ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数
北海道	10	29.4	0	－	3	8.8	6	17.6	0	－	0	－	15	44.1	34
青森県	17	24.6	0	－	1	1.4	7	10.1	0	－	1	1.4	43	62.3	69
岩手県	7	9.1	0	－	0	－	33	42.9	1	1.3	0	－	36	46.8	77
宮城県	43	27.6	2	1.3	0	－	23	14.7	16	10.3	9	5.8	63	40.4	156
秋田県	11	26.8	0	－	0	－	2	4.9	0	－	3	7.3	25	61.0	41
山形県	7	15.6	0	－	0	－	16	35.6	0	－	4	8.9	18	40.0	45
福島県	16	18.2	0	－	10	11.4	26	29.5	1	1.1	0	－	35	39.8	88
茨城県	14	73.7	0	－	0	－	5	26.3	0	－	0	－	0	－	19
栃木県	3	42.9	0	－	0	－	2	28.6	0	－	0	－	2	28.6	7
群馬県	2	40.0	0	－	0	－	3	60.0	0	－	0	－	0	－	5
埼玉県	2	28.6	0	－	0	－	4	57.1	1	14.3	0	－	0	－	7
千葉県	4	40.0	0	－	0	－	5	50.0	0	－	0	－	1	10.0	10
東京都	0	－	0	－	2	100.0	0	－	0	－	0	－	0	－	2
神奈川県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
新潟県	10	58.8	0	－	0	－	1	5.9	0	－	1	5.9	5	29.4	17
富山県	1	16.7	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	5	83.3	6
石川県	4	66.7	0	－	0	－	2	33.3	0	－	0	－	0	－	6
福井県	1	50.0	0	－	0	－	1	50.0	0	－	0	－	0	－	2
山梨県	3	75.0	0	－	0	－	1	25.0	0	－	0	－	0	－	4
長野県	1	16.7	0	－	0	－	2	33.3	0	－	0	－	3	50.0	6
岐阜県	1	100.0	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1
静岡県	1	100.0	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1
愛知県	1	33.3	0	－	0	－	2	66.7	0	－	0	－	0	－	3
三重県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
滋賀県	3	75.0	0	－	0	－	1	25.0	0	－	0	－	0	－	4
京都府	1	100.0	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1
大阪府	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
兵庫県	1	33.3	0	－	0	－	2	66.7	0	－	0	－	0	－	3
奈良県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
和歌山県	0	－	0	－	0	－	1	100.0	0	－	0	－	0	－	1
鳥取県	2	40.0	0	－	0	－	3	60.0	0	－	0	－	0	－	5
島根県	4	66.7	0	－	0	－	2	33.3	0	－	0	－	0	－	6
岡山県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
広島県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
山口県	0	－	0	－	0	－	1	100.0	0	－	0	－	0	－	1
徳島県	0	－	0	－	0	－	1	100.0	0	－	0	－	0	－	1
香川県	0	－	0	－	0	－	1	100.0	0	－	0	－	0	－	1
愛媛県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1	100.0	1
高知県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
福岡県	2	50.0	0	－	0	－	1	25.0	0	－	0	－	1	25.0	4
佐賀県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
長崎県	1	50.0	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1	50.0	2
熊本県	0	－	0	－	0	－	1	50.0	0	－	0	－	1	50.0	2
大分県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
宮崎県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
鹿児島県	1	33.3	0	－	0	－	2	66.7	0	－	0	－	0	－	3
沖縄県	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1	100.0	1
合計	174	27.1	2	0.3	16	2.5	157	24.5	19	3.0	18	2.8	256	39.9	642

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-5 法指定区域別のハクチョウ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）
北海道	1,473	75.8	0	—	42	2.2	103	5.3	0	—	0	—	325	16.7	1,943
青森県	630	36.4	0	—	28	1.6	254	14.7	0	—	9	0.5	810	46.8	1,731
岩手県	837	17.8	0	—	0	—	1,354	28.8	44	0.9	0	—	2,459	52.4	4,694
宮城県	1,802	9.8	637	3.5	0	—	5,038	27.5	3,524	19.3	995	5.4	6,307	34.5	18,303
秋田県	1,315	45.2	0	—	0	—	6	0.2	0	—	1,271	43.7	319	11.0	2,911
山形県	5,831	71.3	0	—	0	—	797	9.7	0	—	125	1.5	1,428	17.5	8,181
福島県	1,291	19.9	0	—	471	7.2	2,233	34.3	103	1.6	0	—	2,404	37.0	6,502
茨城県	1,531	87.1	0	—	0	—	226	12.9	0	—	0	—	0	—	1,757
栃木県	147	33.4	0	—	0	—	22	5.0	0	—	0	—	271	61.6	440
群馬県	221	67.4	0	—	0	—	107	32.6	0	—	0	—	0	—	328
埼玉県	3	1.6	0	—	0	—	74	38.9	113	59.5	0	—	0	—	190
千葉県	117	10.0	0	—	0	—	971	82.6	0	—	0	—	87	7.4	1,175
東京都	0	—	0	—	5	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	5
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	15,336	75.2	0	—	0	—	607	3.0	0	—	839	4.1	3,624	17.8	20,406
富山県	45	3.1	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1,391	96.9	1,436
石川県	2,290	70.8	0	—	0	—	944	29.2	0	—	0	—	0	—	3,234
福井県	126	95.5	0	—	0	—	6	4.5	0	—	0	—	0	—	132
山梨県	47	95.9	0	—	0	—	2	4.1	0	—	0	—	0	—	49
長野県	1	0.3	0	—	0	—	13	3.5	0	—	0	—	354	96.2	368
岐阜県	62	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	62
静岡県	6	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6
愛知県	1	16.7	0	—	0	—	5	83.3	0	—	0	—	0	—	6
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	608	74.4	0	—	0	—	209	25.6	0	—	0	—	0	—	817
京都府	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	25	54.3	0	—	0	—	21	45.7	0	—	0	—	0	—	46
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
鳥取県	34	11.5	0	—	0	—	261	88.5	0	—	0	—	0	—	295
島根県	357	17.1	0	—	0	—	1,727	82.9	0	—	0	—	0	—	2,084
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
徳島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	6	100.0	0	—	0	—	0	—	6
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	7	77.8	0	—	0	—	1	11.1	0	—	0	—	1	11.1	9
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	2	66.7	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	33.3	3
熊本県	0	—	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	2
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	1	4.3	0	—	0	—	22	95.7	0	—	0	—	0	—	23
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
合計	34,148	44.3	637	0.8	546	0.7	15,013	19.5	3,784	4.9	3,239	4.2	19,786	25.6	77,153

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

2.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-2-6～表2-2-8及び図2-2-4に示した。ハクチョウ類は海岸、河口やダム湖での観察個体数は少なく、河川、自然湖沼、その他の人造湖で多かった。また、オオハクチョウは河川で最も多く（13,459羽）観察され、コハクチョウは自然湖沼で最も多く（18,894羽）観察された。

表 2-2-6 地況別のハクチョウ類観察状況

区域区分 項目	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計		
		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)	
調査地点数(箇所)	800	9.2	390	4.5	3,020	34.6	529	6.1	694	8.0	3,014	34.5	282	3.2	8,729	100.0	
調査地点面積 (ha)	119,916	31.4	22,421	5.9	70,150	18.4	105,410	27.6	33,467	8.8	16,086	4.2	14,781	3.9	382,231	100.0	
観察地点数 (箇所)	オオハクチョウ	42	9.0	12	2.6	210	45.0	65	13.9	11	2.4	89	19.1	38	8.1	467	100.0
	コハクチョウ	5	2.1	5	2.1	97	41.5	45	19.2	4	1.7	49	20.9	29	12.4	234	100.0
	コブハクチョウ	3	8.1	3	8.1	4	10.8	16	43.2	2	5.4	8	21.6	1	2.7	37	100.0
	その他・種不明	1	4.8	1	4.8	5	23.8	6	28.6	1	4.8	7	33.3	0	—	21	100.0
	合計	50	7.8	19	3.0	276	43.0	99	15.4	16	2.5	128	19.9	54	8.4	642	100.0
観察個体数 (羽)	オオハクチョウ	581	2.0	377	1.3	13,459	46.4	3,929	13.5	230	0.8	7,548	26.0	2,898	10.0	29,022	100.0
	コハクチョウ	217	0.5	2,868	6.3	10,466	23.1	18,894	41.7	61	0.1	6,669	14.7	6,105	13.5	45,280	100.0
	コブハクチョウ	75	24.8	18	5.9	4	1.3	183	60.4	6	2.0	16	5.3	1	0.3	303	100.0
	その他・種不明	2	0.1	985	38.7	448	17.6	280	11.0	1	0.0	832	32.7	0	—	2,548	100.0
	合計	875	1.1	4,248	5.5	24,377	31.6	23,286	30.2	298	0.4	15,065	19.5	9,004	11.7	77,153	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

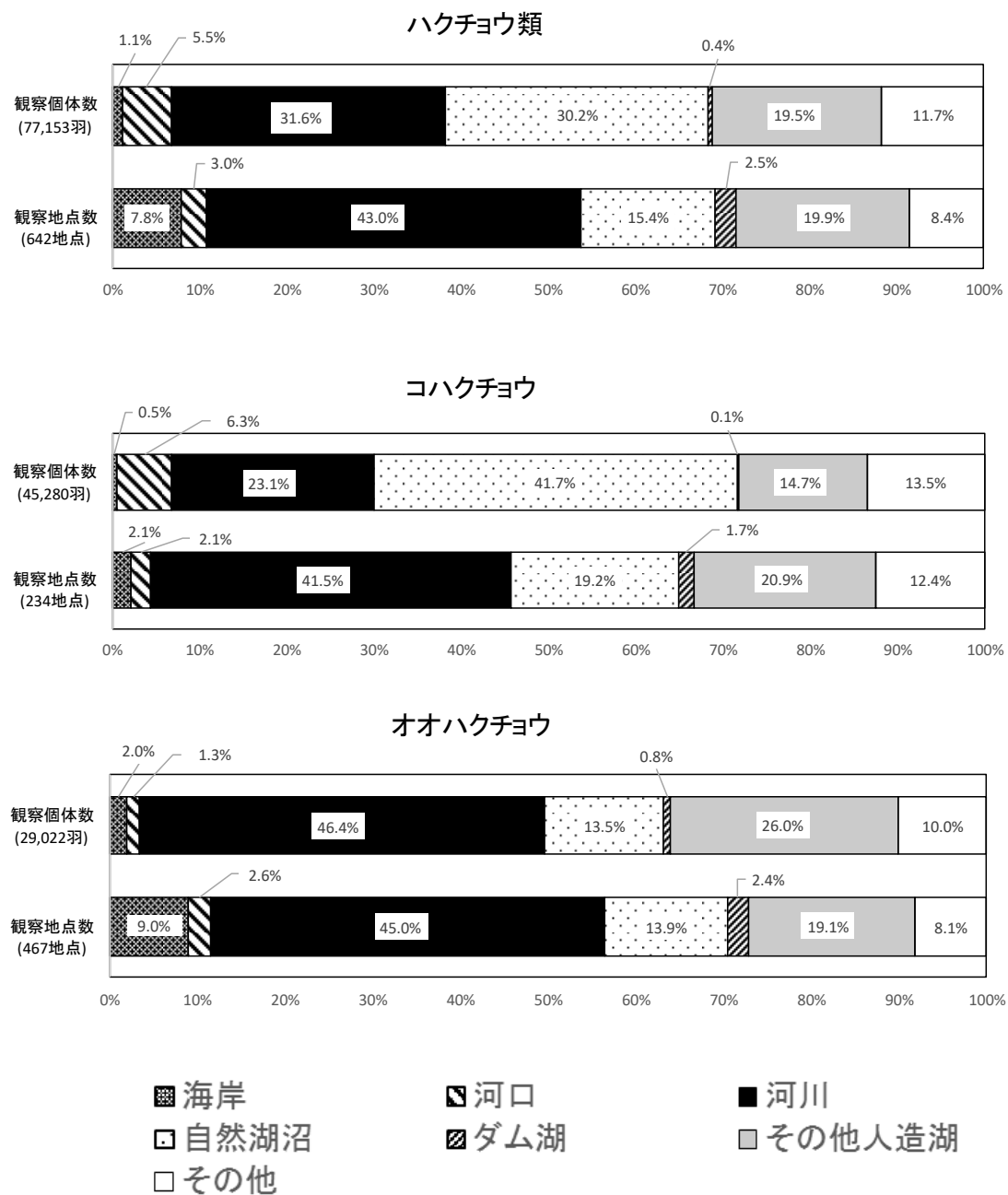


図 2-2-4 地況別のハクチョウ類観察状況

表 2-2-7 地況別のハクチョウ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数
北海道	6	17.6	4	11.8	10	29.4	13	38.2	0	—	0	—	1	2.9	34
青森県	33	47.8	2	2.9	20	29.0	12	17.4	0	—	2	2.9	0	—	69
岩手県	1	1.3	3	3.9	51	66.2	1	1.3	2	2.6	12	15.6	7	9.1	77
宮城県	1	0.6	1	0.6	70	44.9	16	10.3	4	2.6	38	24.4	26	16.7	156
秋田県	0	—	0	—	26	63.4	5	12.2	1	2.4	8	19.5	1	2.4	41
山形県	0	—	1	2.2	31	68.9	3	6.7	3	6.7	4	8.9	3	6.7	45
福島県	2	2.3	5	5.7	34	38.6	14	15.9	3	3.4	23	26.1	7	8.0	88
茨城県	1	5.3	1	5.3	0	—	6	31.6	0	—	11	57.9	0	—	19
栃木県	0	—	0	—	1	14.3	0	—	0	—	5	71.4	1	14.3	7
群馬県	0	—	0	—	2	40.0	2	40.0	0	—	1	20.0	0	—	5
埼玉県	0	—	0	—	6	85.7	0	—	0	—	1	14.3	0	—	7
千葉県	0	—	0	—	2	20.0	2	20.0	0	—	4	40.0	2	20.0	10
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	2
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	5	29.4	6	35.3	0	—	5	29.4	1	5.9	17
富山県	0	—	0	—	1	16.7	0	—	0	—	2	33.3	3	50.0	6
石川県	1	16.7	0	—	1	16.7	4	66.7	0	—	0	—	0	—	6
福井県	0	—	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
山梨県	0	—	0	—	1	25.0	2	50.0	0	—	1	25.0	0	—	4
長野県	0	—	0	—	4	66.7	1	16.7	1	16.7	0	—	0	—	6
岐阜県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	0	—	3
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	0	—	0	—	0	—	4	100.0	0	—	0	—	0	—	4
京都府	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	3
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
鳥取県	1	20.0	0	—	3	60.0	1	20.0	0	—	0	—	0	—	5
島根県	0	—	0	—	2	33.3	3	50.0	0	—	0	—	1	16.7	6
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
徳島県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	1	25.0	0	—	0	—	0	—	1	25.0	2	50.0	0	—	4
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
熊本県	1	50.0	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	2
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	3	100.0	0	—	0	—	0	—	3
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
合計	50	7.8	19	3.0	276	43.0	99	15.4	16	2.5	128	19.9	54	8.4	642

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-8 地況別のハクチョウ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況													
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他	
	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)
北海道	81	4.2	166	8.5	134	6.9	1,546	79.6	0	—	0	—	16	0.8
青森県	446	25.8	76	4.4	443	25.6	716	41.4	0	—	50	2.9	0	—
岩手県	15	0.3	76	1.6	2,473	52.7	1	0.0	35	0.7	1,474	31.4	620	13.2
宮城県	2	0.0	2	0.0	9,415	51.4	754	4.1	172	0.9	4,896	26.7	3,062	16.7
秋田県	0	—	0	—	472	16.2	199	6.8	7	0.2	2,166	74.4	67	2.3
山形県	0	—	3,745	45.8	2,537	31.0	1,605	19.6	43	0.5	86	1.1	165	2.0
福島県	74	1.1	179	2.8	3,589	55.2	773	11.9	34	0.5	955	14.7	898	13.8
茨城県	43	2.4	1	0.1	0	—	1,083	61.6	0	—	630	35.9	0	—
栃木県	0	—	0	—	43	9.8	0	—	0	—	169	38.4	228	51.8
群馬県	0	—	0	—	99	30.2	221	67.4	0	—	8	2.4	0	—
埼玉県	0	—	0	—	188	98.9	0	—	0	—	2	1.1	0	—
千葉県	0	—	0	—	8	0.7	96	8.2	0	—	152	12.9	919	78.2
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	2	40.0	3	60.0	0	—
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
新潟県	0	—	0	—	4,189	20.5	11,829	58.0	0	—	4,346	21.3	42	0.2
富山県	0	—	0	—	34	2.4	0	—	0	—	84	5.8	1,318	91.8
石川県	200	6.2	0	—	12	0.4	3,022	93.4	0	—	0	—	0	—
福井県	0	—	0	—	6	4.5	126	95.5	0	—	0	—	0	—
山梨県	0	—	0	—	2	4.1	46	93.9	0	—	1	2.0	0	—
長野県	0	—	0	—	357	97.0	10	2.7	1	0.3	0	—	0	—
岐阜県	0	—	0	—	62	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6	100.0	0	—
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6	100.0	0	—
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
滋賀県	0	—	0	—	0	—	817	100.0	0	—	0	—	0	—
京都府	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
兵庫県	0	—	0	—	25	54.3	0	—	0	—	21	45.7	0	—
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
和歌山県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
鳥取県	7	2.4	0	—	221	74.9	67	22.7	0	—	0	—	0	—
島根県	0	—	0	—	65	3.1	352	16.9	0	—	0	—	1,667	80.0
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
山口県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—
徳島県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6	100.0	0	—
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
福岡県	3	33.3	0	—	0	—	0	—	4	44.4	2	22.2	0	—
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
長崎県	3	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
熊本県	1	50.0	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	23	100.0	0	—	0	—	0	—
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0
合計	875	1.1	4,248	5.5	24,377	31.6	23,286	30.2	298	0.4	15,065	19.5	9,004	11.7

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。

3. ガン類

3.1 観察個体数

ガン類の令和4年度の観察個体数の種別割合を図2-3-1に示した。

令和4年度の調査では、29道府県の156地点において311,825羽のガン類が観察された。主な種を見ると、コクガンが836羽、マガンが296,518羽、ヒシクイが7,684羽、その他・種不明が6,787羽観察された。その他・種不明の内訳は、シジュウカラガン5,048羽、ハクガン392羽、カリガネ12羽、サカツラガン1羽、種不明1,334羽である。なお、シジュウカラガンは、近年増加傾向にあるが、ごく限られた地域でのみの確認であるため、その他に含めて整理している。

令和4年度のガン類の観察個体数の種別割合は、令和3年度と比較してコクガンは28.6%減少、マガンは52.1%増加、ヒシクイは51.5%減少した。

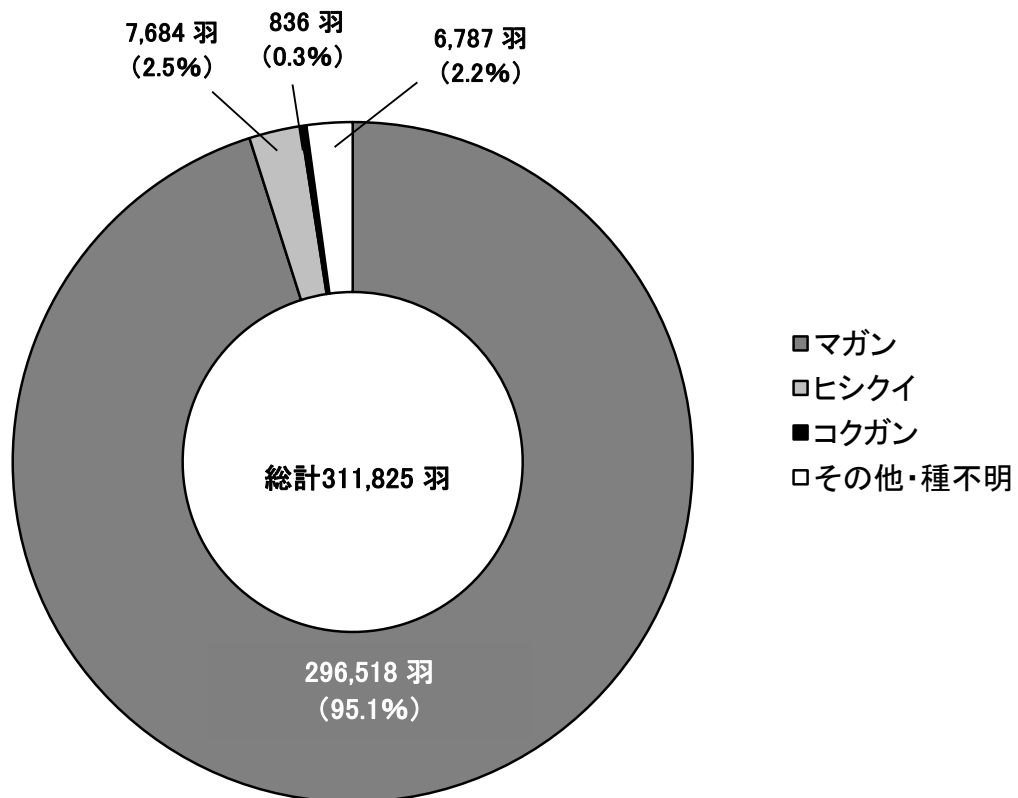


図 2-3-1 ガン類観察個体数の内訳

(1) コクガン

観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、30～60地点で推移している。

観察個体数については、増減しつつも増加傾向が見られ、令和元年度は過去最大の1,562羽となり、令和2年度も1,552羽であったが、令和3年度は1,171羽、令和4年度は836羽と減少した（図2-3-2（1））。

(2) マガン

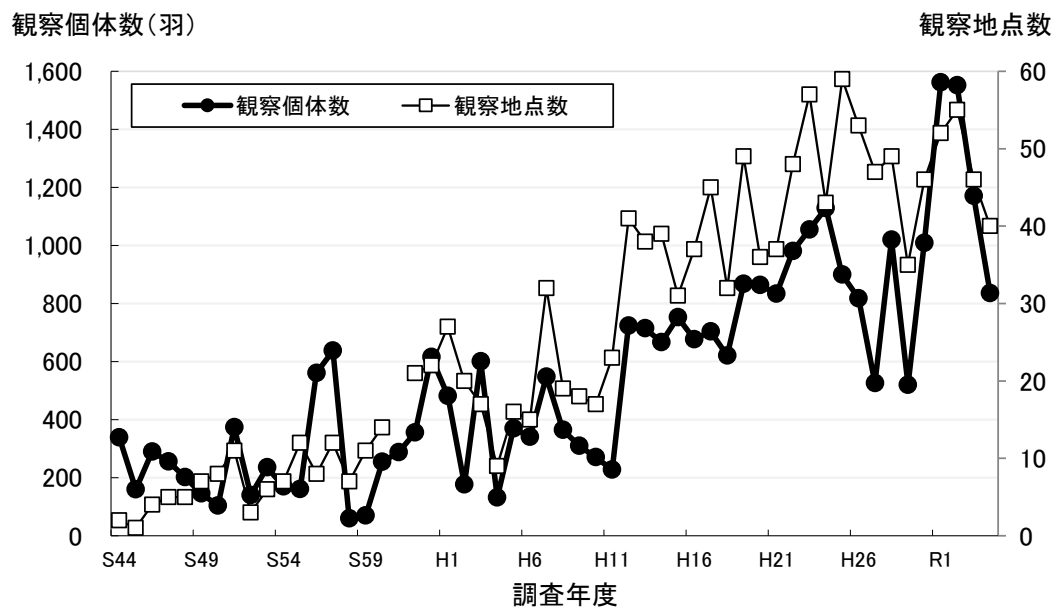
観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね30～70地点で推移していたが、令和4年度は過去最高の85地点となった。

観察個体数については増加傾向が見られ、平成29年度以降は200,000羽を超えていたが、令和2年度103,056羽に減少するも、令和4年度は過去最大の296,515羽となった（図2-3-2（2））。

(3) ヒシクイ

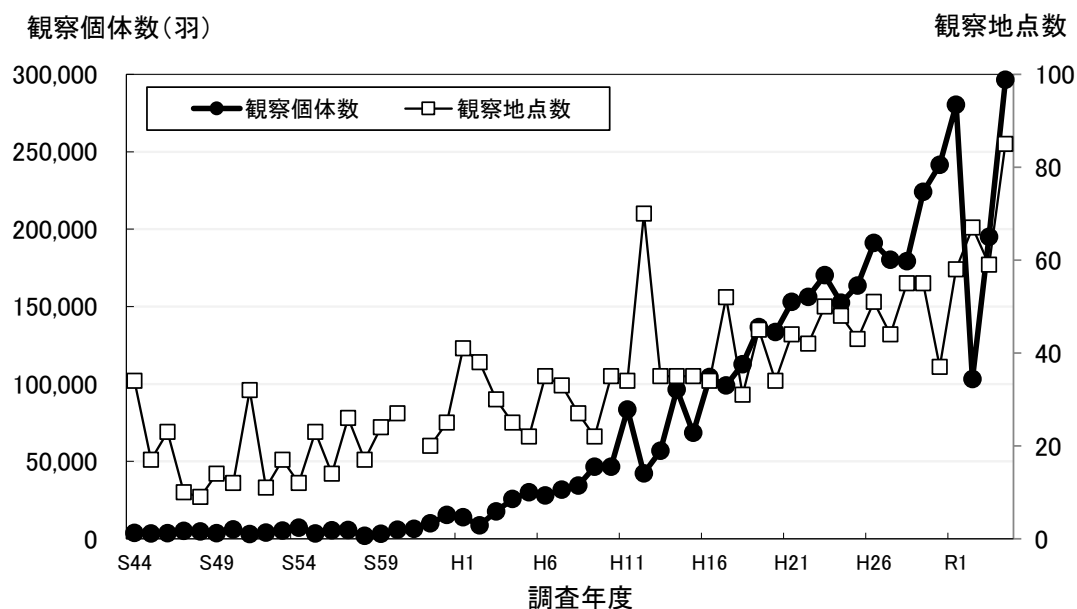
観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、平成30年度までは20～40地点で推移していたが、令和元年度以降は50地点前後で推移している。

観察個体数については、平成21年度、平成25年度、平成26年度、令和元年度及び令和3年度は15,000羽以上見られるものの、その他の年度は、15,000羽以下で推移している（図2-3-2（3））。



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(1) コクガンの観察状況の推移



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(2) マガン観察状況の推移

3.2 分布状況

令和4年度の都道府県別調査結果を表2-3-1に示した。

ガン類は分布が限定的であり、主に観察されたのは東北地方（295,607羽）、北陸（11,086羽）、島根県（3,235羽）であった。種毎の観察状況は以下のとおり。

(1) コクガン

北海道及び東北地方での観察数が多い。都道府県別に見ると、北海道、青森県、宮城県、岩手県で全体の98.6%にあたる824羽が観察された。

(2) マガン

宮城県で全体の92.9%にあたる275,469羽が観察された。それ以外の地域では岩手県で3,705羽、日本海側でも秋田県で5,946羽、新潟県で6,506羽、福井県で1,285羽、島根県で2,894羽が観察された。

(3) ヒシクイ

宮城県、秋田県、山形県、新潟県及び石川県で全体の88.3%にあたる6,787羽が観察された。その他、100羽以上観察されたのは、茨城県、滋賀県、島根県であった。

(4) その他

シジュウカラガンは宮城県で4,640羽（全体の91.9%）、秋田県で（全体の8.1%）が観察された。

ハクガンは宮城県で156羽（全体の39.8%）、秋田県で51羽（全体の13.0%）、新潟県で184羽（全体の46.9%）が観察された。

表 2-3-1 都道府県別のガン類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察 地点数	観察個体数(羽)				
		コクガン	マガン	ヒシクイ	その他・種不明	合計
北海道	9	65	4	0	0	69
青森県	18	361	2	8	3	374
岩手県	16	25	3,705	1	0	3,731
宮城県	28	373	275,469	1,776	4,796	282,414
秋田県	24	0	5,946	1,759	1,671	9,376
山形県	3	0	145	577	9	731
福島県	3	0	88	0	0	88
茨城県	2	0	0	160	6	166
栃木県	0	0	0	0	0	0
群馬県	1	0	2	0	0	2
埼玉県	0	0	0	0	0	0
千葉県	1	0	0	0	2	2
東京都	0	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0	0
新潟県	6	0	6,506	2,234	185	8,925
富山県	3	0	4	1	1	6
石川県	5	0	368	441	1	810
福井県	2	0	1,285	49	11	1,345
山梨県	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0
岐阜県	1	0	1	0	0	1
静岡県	1	0	1	0	0	1
愛知県	1	0	0	1	0	1
三重県	2	8	3	1	0	12
滋賀県	4	0	10	231	0	241
京都府	4	0	39	24	0	63
大阪府	0	0	0	0	0	0
兵庫県	2	0	3	1	0	4
奈良県	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0
鳥取県	3	0	20	73	0	93
島根県	1	0	2,894	341	0	3,235
岡山県	0	0	0	0	0	0
広島県	0	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0	0
徳島県	1	0	0	1	0	1
香川県	0	0	0	0	0	0
愛媛県	0	0	0	0	0	0
高知県	2	0	0	1	1	2
福岡県	4	2	11	0	50	63
佐賀県	4	2	11	0	31	44
長崎県	0	0	0	0	0	0
熊本県	0	0	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	1	0	0	0	1	1
沖縄県	4	0	1	4	19	24
観察 都道府県数		7	23	20	15	29
合計	156	836	296,518	7,684	6,787	311,825

3.3 法指定区域別の観察状況

鳥獣保護管理法によって、鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域別の観察状況を、表2-3-2～表2-3-5及び図2-3-3に示した。

(1) コクガン

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の20.0%にあたる8地点であり、これらの地点ではコクガンの全観察個体数の31.0%にあたる259羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、13地点（32.5%）で313羽（37.4%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、27地点（67.5%）で523羽（62.6%）が観察された。

(2) マガン

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の29.4%にあたる25地点であり、これらの地点ではマガンの全観察個体数の93.6%にあたる277,407羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、39地点（45.9%）で282,363羽（95.2%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、46地点（54.1%）で14,155羽（4.8%）が観察された。

(3) ヒシクイ

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の45.1%にあたる23地点であり、これらの地点ではヒシクイの全観察個体数の74.4%にあたる5,719羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、33地点（64.7%）で5,828羽（75.8%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、18地点（35.3%）で1,856羽（24.2%）が観察された。

表2-3-2 法指定区域別のガン類観察状況

区域区分 項目	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号 ハからチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)	
調査地点数(箇所)	1,687	19.3	70	0.8	156	1.8	2,812	32.2	46	0.5	180	2.1	3,778	43.3	8,729	100.0	
調査地点面積(ha)	188,329	49.3	1,313	0.3	3,144	0.8	70,616	18.5	1,838	0.5	6,885	1.8	110,107	28.8	382,231	100.0	
観察地点数 (箇所)	コクガン	8	20.0	0	—	1	2.5	4	10.0	0	—	0	—	27	67.5	40	100.0
	マガン	25	29.4	0	—	0	—	14	16.5	0	—	1	1.2	45	52.9	85	100.0
	ヒシクイ	23	45.1	0	—	0	—	10	19.6	0	—	0	—	18	35.3	51	100.0
	その他・種不明	12	42.9	0	—	0	—	2	7.1	0	—	1	3.6	13	46.4	28	100.0
	合計	45	28.8	0	—	1	0.6	25	16.0	0	—	2	1.3	83	53.2	156	100.0
観察個体数 (羽)	コクガン	259	31.0	0	—	6	0.7	48	5.7	0	—	0	—	523	62.6	836	100.0
	マガン	277,407	93.6	0	—	0	—	4,956	1.7	0	—	2,000	0.7	12,155	4.1	296,518	100.0
	ヒシクイ	5,719	74.4	0	—	0	—	109	1.4	0	—	0	—	1,856	24.2	7,684	100.0
	その他・種不明	5,019	74.0	0	—	0	—	78	1.1	0	—	3	0.0	1,687	24.9	6,787	100.0
	合計	288,404	92.5	0	—	6	0.0	5,191	1.7	0	—	2,003	0.6	16,221	5.2	311,825	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-3 法指定区域別のガン類観察状況（個体数の下限有）

区域区分		観察 個体数 下限値 (羽) *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計	
項目			項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)	
	調査地点数(箇所)		1,687	19.3	70	0.8	156	1.8	2,812	32.2	46	0.5	180	2.1	3,778	43.3	8,729	100.0
	調査地点面積(ha)		188,329	49.3	1,313	0.3	3,144	0.8	70,616	18.5	1,838	0.5	6,885	1.8	110,107	28.8	382,231	100.0
観 察 地 点 数 （ 箇 所）	コクガン	10	6	26.1	0	－	0	－	2	8.7	0	－	0	－	15	65.2	23	100.0
	マガン	100	10	32.3	0	－	0	－	4	12.9	0	－	1	3.2	16	51.6	31	100.0
	ヒシクイ	100	12	66.7	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	6	33.3	18	100.0
	ガン類合計	100	17	37.0	0	－	0	－	4	8.7	0	－	1	2.2	24	52.2	46	100.0

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。

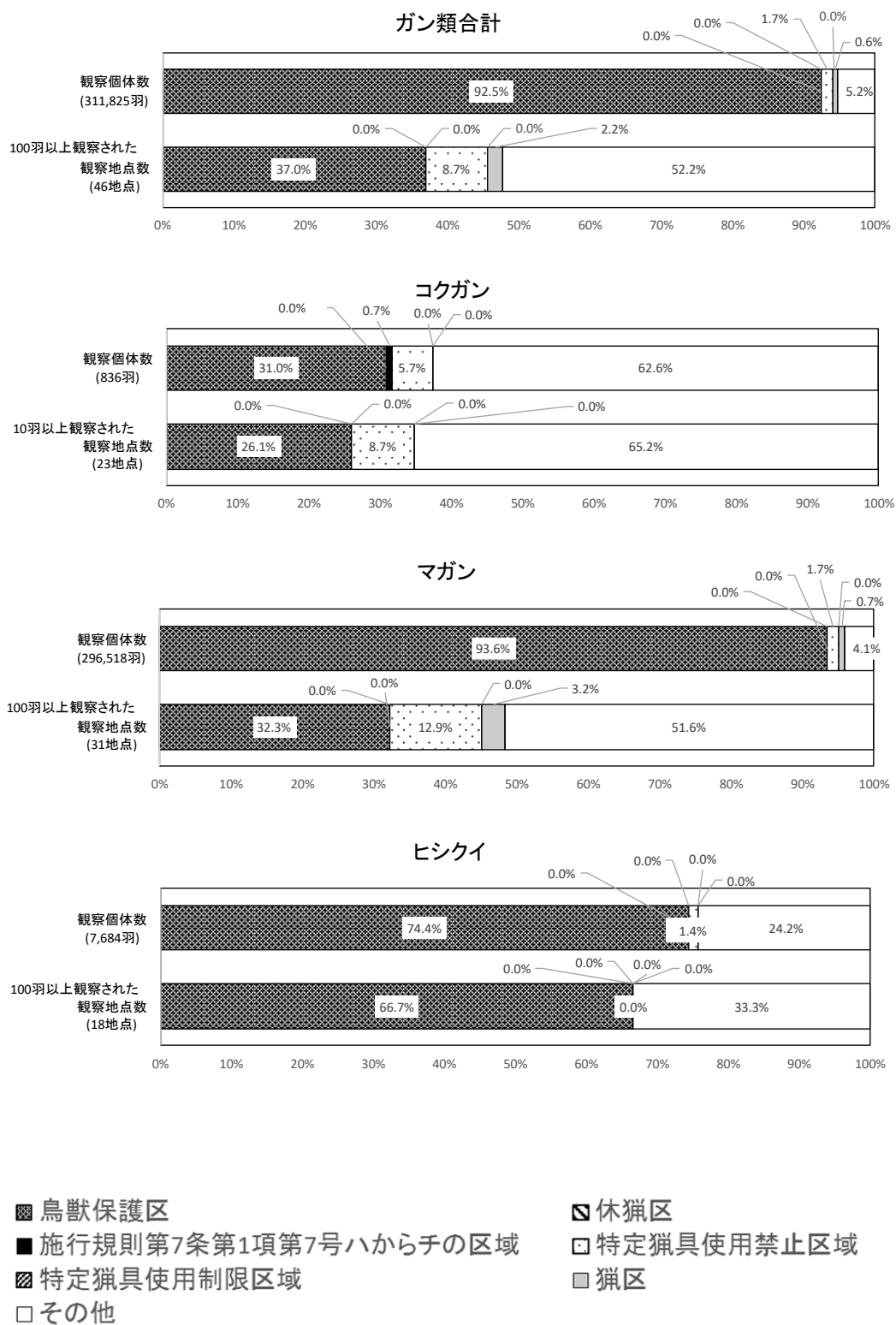


図 2-3-3 法指定区域別のガン類観察状況

表 2-3-4 法指定区域別のガン類観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区	その他の区域			合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	
北海道	0	—	0	—	1	11.1	1	11.1	0	—	0	—	7	77.8	9
青森県	3	16.7	0	—	0	—	3	16.7	0	—	1	5.6	11	61.1	18
岩手県	3	18.8	0	—	0	—	4	25.0	0	—	0	—	9	56.3	16
宮城県	12	42.9	0	—	0	—	1	3.6	0	—	0	—	15	53.6	28
秋田県	2	8.3	0	—	0	—	0	—	0	—	1	4.2	21	87.5	24
山形県	2	66.7	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	33.3	3
福島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	3
茨城県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	3	50.0	0	—	0	—	1	16.7	0	—	0	—	2	33.3	6
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	3
石川県	4	80.0	0	—	0	—	1	20.0	0	—	0	—	0	—	5
福井県	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	2
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
愛知県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
滋賀県	3	75.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	25.0	4
京都府	2	50.0	0	—	0	—	2	50.0	0	—	0	—	0	—	4
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	0	—	0	—	0	—	3	100.0	0	—	0	—	0	—	3
島根県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
福岡県	1	25.0	0	—	0	—	3	75.0	0	—	0	—	0	—	4
佐賀県	1	25.0	0	—	0	—	1	25.0	0	—	0	—	2	50.0	4
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
沖縄県	1	25.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	75.0	4
合計	45	28.8	0	—	1	0.6	25	16.0	0	—	2	1.3	83	53.2	156

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-5 法指定区域別のガン類観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（%）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（%）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（%）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（%）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（%）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（%）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（%）	観察個体 数（羽）
北海道	0	—	0	—	6	8.7	4	5.8	0	—	0	—	59	85.5	69
青森県	125	33.4	0	—	0	—	39	10.4	0	—	3	0.8	207	55.3	374
岩手県	98	2.6	0	—	0	—	2,518	67.5	0	—	0	—	1,115	29.9	3,731
宮城県	275,035	97.4	0	—	0	—	1,456	0.5	0	—	0	—	5,923	2.1	282,414
秋田県	76	0.8	0	—	0	—	0	—	0	—	2,000	21.3	7,300	77.9	9,376
山形県	643	88.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	88	12.0	731
福島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	88	100.0	88
茨城県	166	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	166
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	8,145	91.3	0	—	0	—	720	8.1	0	—	0	—	60	0.67	8,925
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6	100.0	6
石川県	547	67.5	0	—	0	—	263	32.5	0	—	0	—	0	—	810
福井県	5	0.4	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1,340	99.6	1,345
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
愛知県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	12	100.0	12
滋賀県	240	99.6	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	0.4	241
京都府	61	96.8	0	—	0	—	2	3.2	0	—	0	—	0	—	63
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	4	100.0	0	—	0	—	0	—	4
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	0	—	0	—	0	—	93	100.0	0	—	0	—	0	—	93
島根県	3,235	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3,235
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
福岡県	2	3.2	0	—	0	—	61	96.8	0	—	0	—	0	—	63
佐賀県	3	6.8	0	—	0	—	28	63.6	0	—	0	—	13	29.5	44
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
沖縄県	18	75.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6	25.0	24
合計	288,404	92.5	0	—	6	0.002	5,191	1.7	0	—	2,003	0.642	16,221	5.2	311,825

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

3.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-3-6～表2-3-8及び図2-3-4に示した。

(1) コクガン

主に海岸及び河口で観察され、観察地点数は計39地点（97.5％）であった。また、観察個体数は、それぞれ815羽（97.5％）及び19羽（2.3％）であった。

(2) マガン

自然湖沼で最も多く観察され、観察地点数は計22地点（25.9％）、観察個体数は266,040羽（89.7％）であった。

(3) ヒシクイ

自然湖沼で最も多く観察され、観察地点数は20地点（39.2％）、観察個体数は5,017羽（65.3％）であった。

表 2-3-6 地況別のガン類観察状況

区域 項目	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計		
		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)	
調査地点数 (箇所)	800	9.2	390	4.5	3,020	34.6	529	6.1	694	8.0	3,014	34.5	282	3.2	8,729	100.0	
調査地点面積 (ha)	119,916	31.4	22,421	5.9	70,150	18.4	105,410	27.6	33,467	8.8	16,086	4.2	14,781	3.9	382,231	100.0	
観察地点数 (箇所)	コクガン	36	90.0	3	7.5	1	2.5	0	—	0	—	0	—	0	—	40	100.0
	マガン	2	2.4	4	4.7	18	21.2	22	25.9	1	1.2	13	15.3	25	29.4	85	100.0
	ヒシクイ	1	2.0	3	5.9	9	17.6	20	39.2	1	2.0	3	5.9	14	27.5	51	100.0
	その他・種不明	0	—	3	10.7	2	7.1	7	25.0	3	10.7	2	7.1	11	39.3	28	100.0
	合計	39	25.0	10	6.4	25	16.0	29	18.6	3	1.9	17	10.9	33	21.2	156	100.0
観察個体数 (羽)	コクガン	815	97.5	19	2.3	2	0.2	0	—	0	—	0	—	0	—	836	100.0
	マガン	41	0.0	1,690	0.6	3,117	1.1	266,040	89.7	13,371	4.5	5,610	1.9	6,649	2.2	296,518	100.0
	ヒシクイ	1	0.0	553	7.2	229	3.0	5,017	65.3	56	0.7	14	0.2	1,814	23.6	7,684	100.0
	その他・種不明	0	—	11	0.2	31	0.5	428	6.3	4,613	68.0	20	0.3	1,684	24.8	6,787	100.0
	合計	857	0.3	2,273	0.7	3,379	1.1	271,485	87.1	18,040	5.8	5,644	1.8	10,147	3.3	311,825	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す。

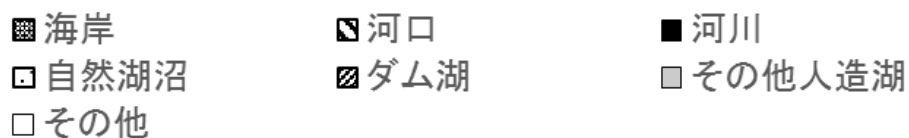
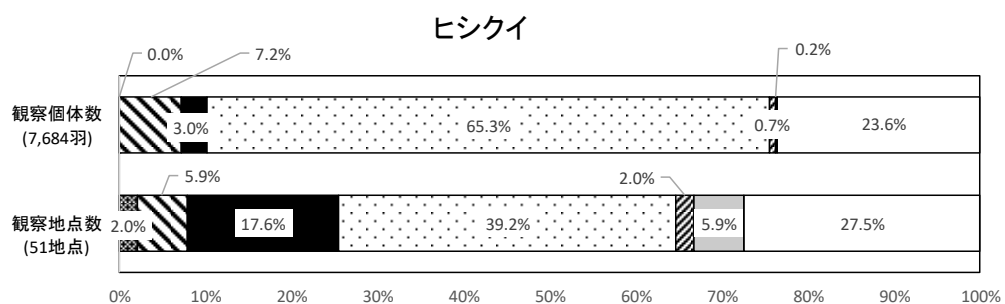
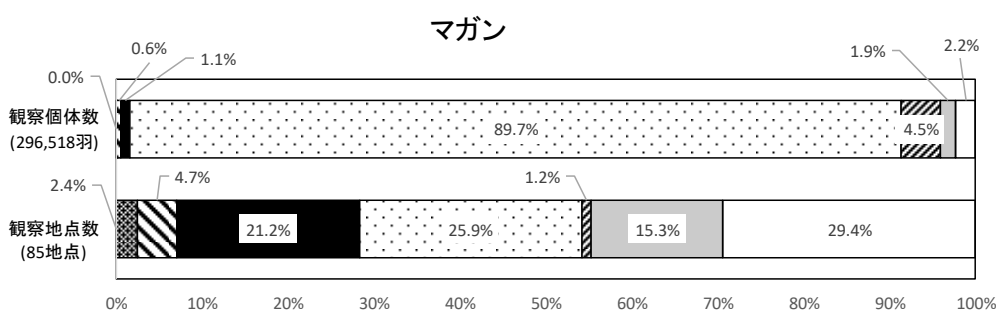
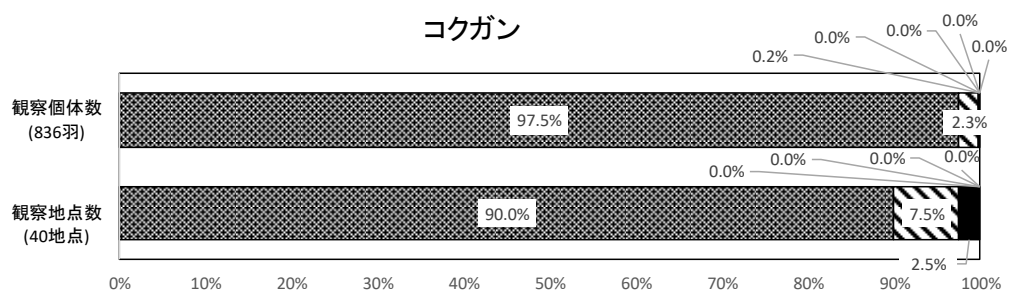
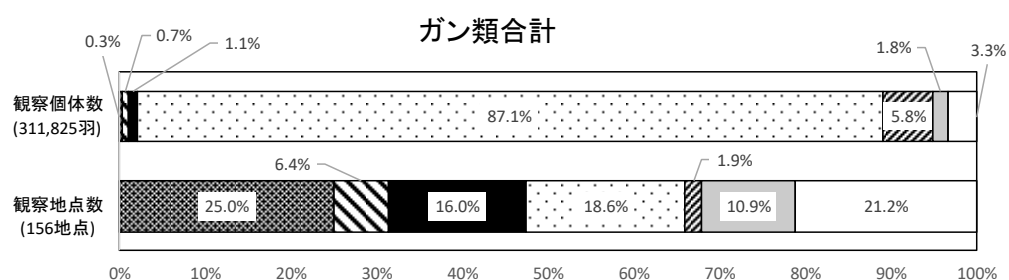


図 2-3-4 地況別のガン類観察状況

表 2-3-7 地況別のガン類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数
北海道	8	88.9	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	11.1	9
青森県	15	83.3	1	5.6	1	5.6	1	5.6	0	—	0	—	0	—	18
岩手県	1	6.3	2	12.5	4	25.0	0	—	0	—	2	12.5	7	43.8	16
宮城県	12	42.9	0	—	5	17.9	7	25.0	1	3.6	2	7.1	1	3.6	28
秋田県	0	—	2	8.3	1	4.2	1	4.2	0	—	2	8.3	18	75.0	24
山形県	0	—	1	33.3	1	33.3	1	33.3	0	—	0	—	0	—	3
福島県	0	—	0	—	1	33.3	1	33.3	0	—	1	33.3	0	—	3
茨城県	0	—	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	2	33.3	2	33.3	0	—	1	16.7	1	16.7	6
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	33.3	2	66.7	3
石川県	0	—	0	—	0	—	5	100.0	0	—	0	—	0	—	5
福井県	0	—	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	2
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
愛知県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	2
滋賀県	0	—	0	—	1	25.0	3	75.0	0	—	0	—	0	—	4
京都府	1	25.0	0	—	1	25.0	1	25.0	0	—	1	25.0	0	—	4
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	0	—	0	—	1	33.3	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3
島根県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	2
福岡県	1	25.0	1	25.0	1	25.0	0	—	1	25.0	0	—	0	—	4
佐賀県	0	—	0	—	2	50.0	0	—	1	25.0	1	25.0	0	—	4
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	50.0	2	50.0	4
合計	39	25.0	10	6.4	25	16.0	29	18.6	3	1.9	17	10.9	33	21.2	156

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-8 地況別のガン類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）
北海道	65	94.2	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	5.8	69
青森県	361	96.5	8	2.1	3	0.8	2	0.5	0	—	0	—	0	—	374
岩手県	16	0.4	10	0.3	118	3.2	0	—	0	—	141	3.8	3,446	92.4	3,731
宮城県	373	0.1	0	—	1,737	0.6	256,920	91.0	17,987	6.4	5,307	1.9	90	0.0	282,414
秋田県	0	—	1,600	17.1	500	5.3	2,000	21.3	0	—	76	0.8	5,200	55.5	9,376
山形県	0	—	642	87.8	88	12.0	1	0.1	0	—	0	—	0	—	731
福島県	0	—	0	—	3	3.4	5	5.7	0	—	80	90.9	0	—	88
茨城県	0	—	0	—	160	96.4	6	3.6	0	—	0	—	0	—	166
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	722	8.1	8,142	91.2	0	—	3	0.0	58	0.6	8,925
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	33.3	4	66.7	6
石川県	0	—	0	—	0	—	810	100.0	0	—	0	—	0	—	810
福井県	0	—	0	—	0	—	5	0.4	0	—	0	—	1,340	99.6	1,345
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
愛知県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	9	75.0	3	25.0	0	—	0	—	0	—	0	—	12
滋賀県	0	—	0	—	1	0.4	240	99.6	0	—	0	—	0	—	241
京都府	36	57.1	0	—	1	1.6	25	39.7	0	—	1	1.6	0	—	63
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	100.0	0	—	4
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	0	—	0	—	2	2.2	91	97.8	0	—	0	—	0	—	93
島根県	0	—	0	—	0	—	3,235	100.0	0	—	0	—	0	—	3,235
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	2
福岡県	5	7.9	2	3.2	6	9.5	0	—	50	79.4	0	—	0	—	63
佐賀県	0	—	0	—	33	75.0	0	—	3	6.8	8	18.2	0	—	44
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	19	79.2	5	20.8	24
合計	857	0.3	2,273	0.7	3,379	1.1	271,485	87.1	18,040	5.8	5,644	1.8	10,147	3.3	311,825

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、地況別の構成比を示す。

4. カモ類

4.1 観察個体数

カモ類の令和4年度の観察個体数の種別割合を図2-4-1に示した。

令和4年度は、47都道府県において、6,391地点で1,585,166羽のカモ類が観察された。令和4年度は前年度から80,555羽の増加であった。一方、観察地点数はここ数年6,000地点前後で推移している。種類別の観察個体数の内訳で見ると、最も多いのはマガモ433,945羽（27.4%）であり、次いでカルガモ208,556羽（13.2%）、オナガガモ171,279羽（10.8%）、ヒドリガモ155,740羽（9.8%）、スズガモ145,367羽（9.2%）、コガモ139,972羽（8.8%）であった。

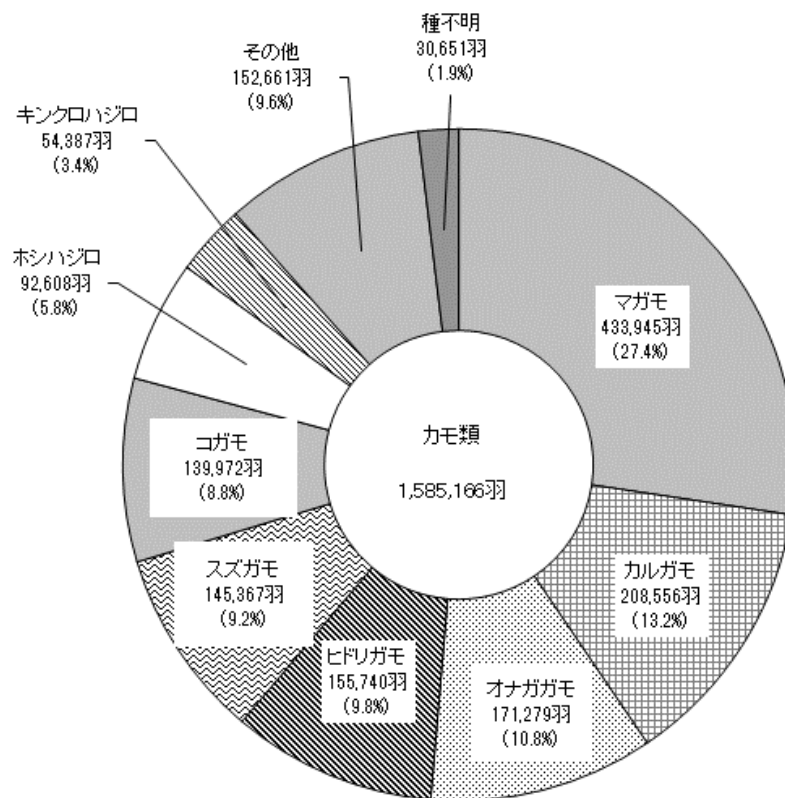


図 2-4-1 カモ類観察個体数の内訳

注) 淡水ガモ：本調査の対象種は、オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、アメリカヒドリ、シマアジである。
海ガモ：本調査の対象種は、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、ビロードキンクロ、シノリガモ、コオリガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ウミアイサ、カワアイサ、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサである。
ツクシガモ等：本調査の対象種は、ツクシガモ、アカツクシガモ、リュウキュウガモである。

カモ類における種毎の観察状況は以下のとおり。

(1) オシドリ

観察地点数は概ね 600～700 地点程度で推移している。観察個体数は、昭和 50 年代後半から増減しつつも全体としては増加傾向にある。平成 26 年度 32,000 羽程度まで増加した後、増減しつつも減少傾向にあり、令和 4 年度は 27,000 羽程度まで減少した。



図2-4-2 (1) オシドリの観察状況の推移

(2) マガモ

観察地点数は概ね3,000～3,500地点を推移している。観察個体数は、調査開始当初は200,000羽程度であったものが、昭和56年頃から増加に転じ、平成8～11年度に500,000羽前後でピークに達した。その後平成24年度まで減少傾向にあり、近年は400,000羽程度で推移している。

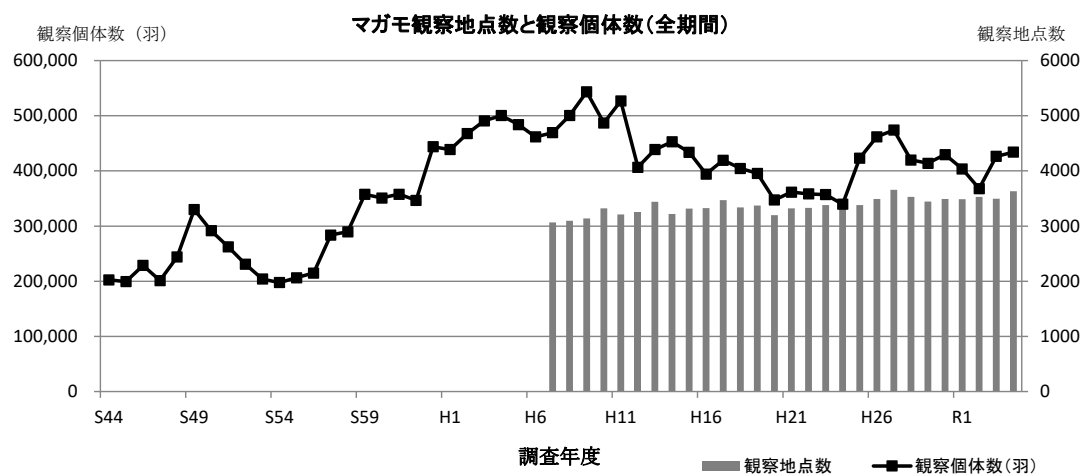


図 2-4-2 (2) マガモの観察状況の推移

(3) カルガモ

観察地点数はやや増加傾向にある。観察個体数は、調査開始当初から昭和50年代後半まで増加し、その後平成24年度まで減少傾向となった。以降はやや増加傾向にあり、近年は200,000羽程度で推移している。

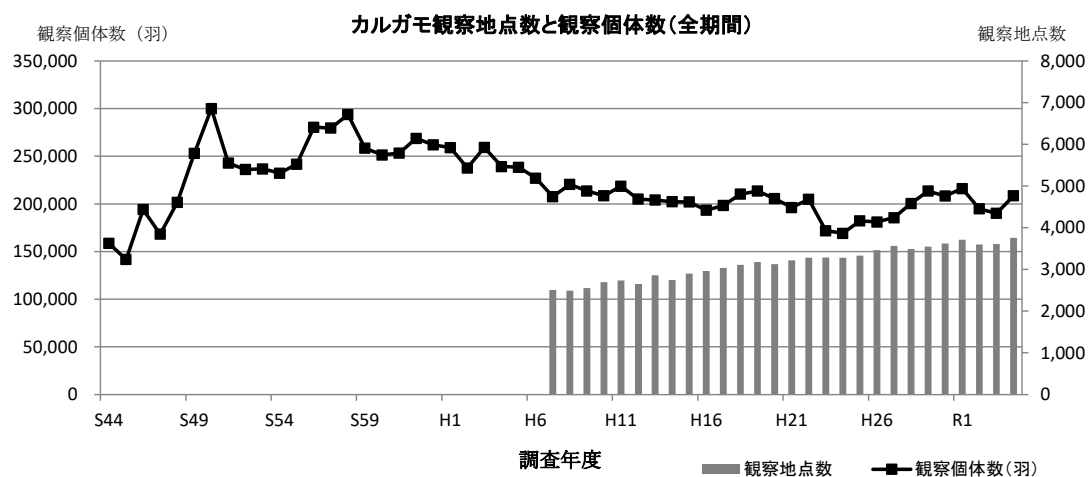


図 2-4-2 (3) カルガモの観察状況の推移

(4) コガモ

観察地点数は概ね2,500～2,700地点を推移している。観察個体数は、概ね150,000～200,000羽を推移していたが、令和2年度以降150,000羽を下回っている。

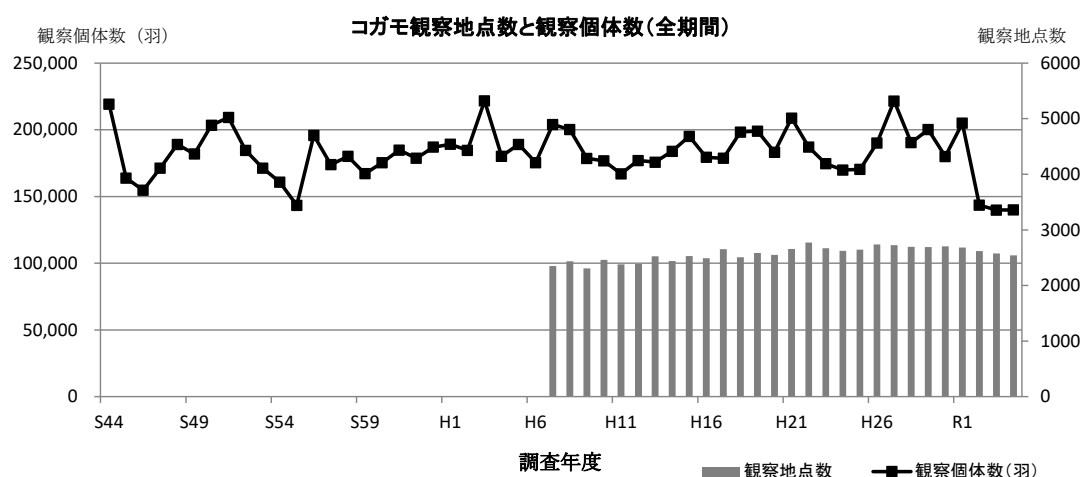
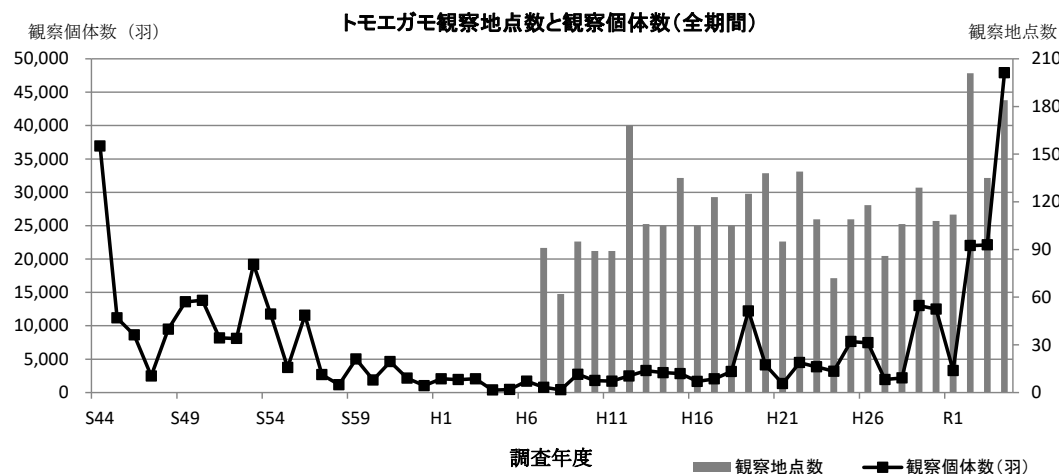


図 2-4-2 (4) コガモの観察状況の推移

(5) トモエガモ

観察地点数は増減しているが、令和2年度は200地点を上回り、過去最大となった。近年の観察個体数について、平成27年度、平成28年度、令和元年度は5,000羽を下回り、平成29年度、平成30年度は10,000羽を、令和2年度、令和3年度は20,000羽を、令和4年度は40,000羽を超えた。



(7) オカヨシガモ

観察地点数は増加傾向にあり、平成28年度より700地点を越えている。観察個体数は、昭和55年度頃から増加傾向にあり、近年は20,000羽程度で推移していたが、令和3年度は過去最高の26,000羽を超えた。

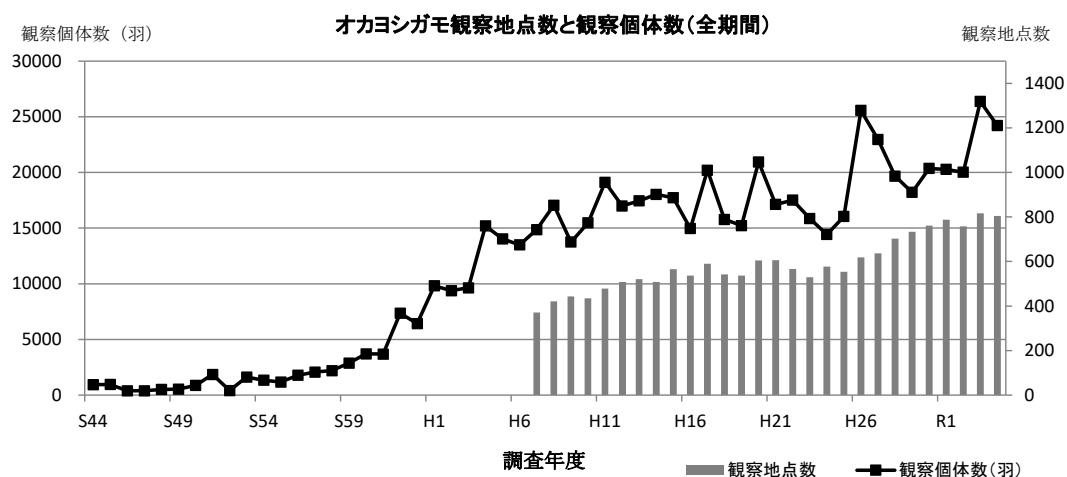


図2-4-2 (7) オカヨシガモの観察状況の推移

(8) ヒドリガモ

観察地点数は増加傾向であったが平成22年度以降は1,700～2,000地点で推移している。観察個体数は昭和44年度の40,000羽以下からほぼ直線的に増加し、平成19年度には200,000羽以上が観察されたが、以降は減少傾向にある。

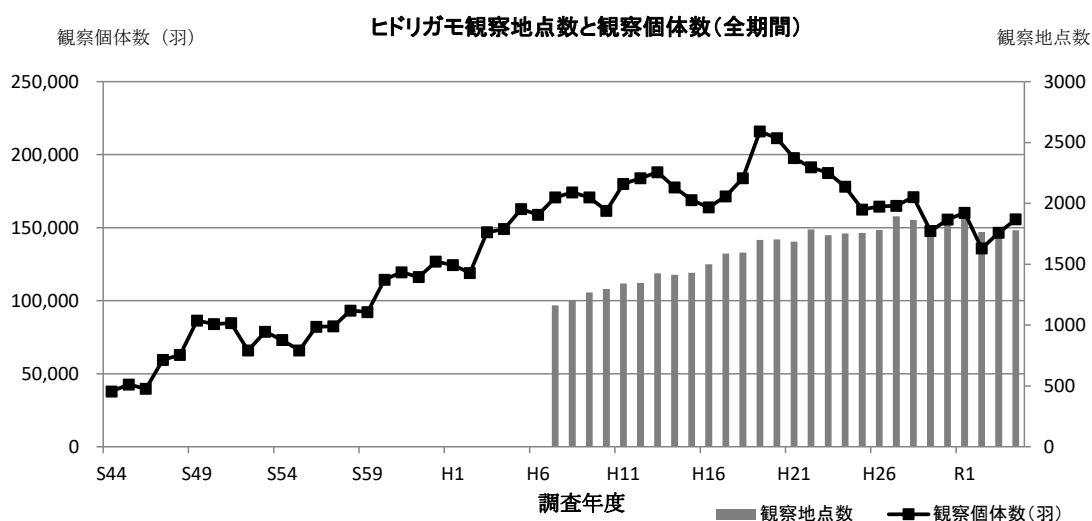


図 2-4-2 (8) ヒドリガモの観察状況の推移

(9) オナガガモ

観察地点数は1,000地点前後で推移している。観察個体数は平成19年度に220,000羽程度となって以降減少傾向に転じたが、平成24年以降は150,000～200,000羽で推移している。

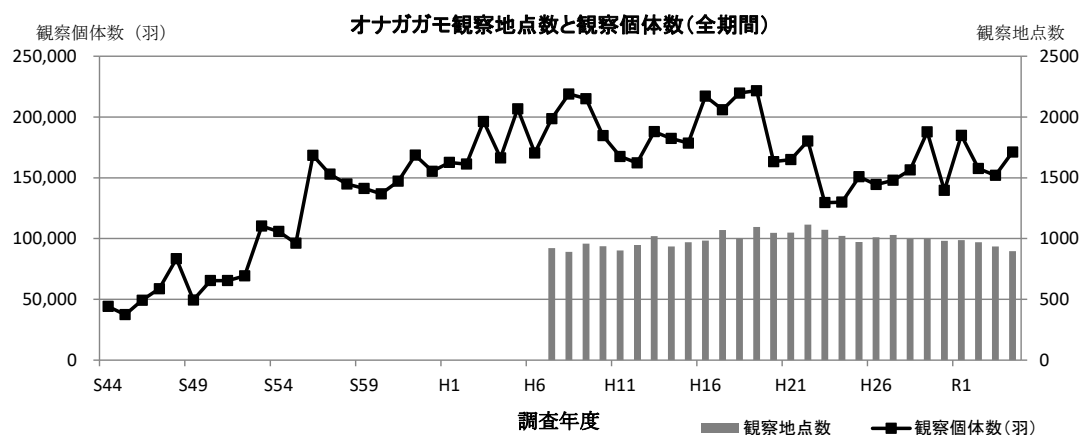


図 2-4-2 (9) オナガガモの観察状況の推移

(10) ハシビロガモ

観察地点数は、やや増加傾向にある。観察個体数は、平成4年度から減少傾向にあったが、最近20年間は概ね15,000～20,000羽で推移している。



図 2-4-2 (10) ハシビロガモの観察状況の推移

(11) ホシハジロ

観察地点数は増加傾向にあったが、平成26年度以降1,400～1,700地点で推移している。一方で、観察個体数は平成11年度に200,000羽程度となって以降減少傾向にあり、平成28年度以降80,000～100,000羽で推移している。

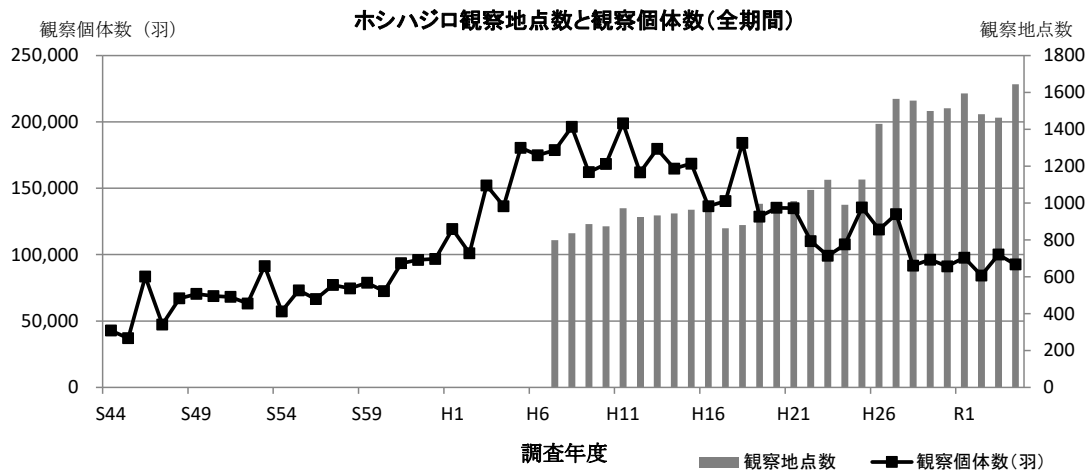


図 2-4-2 (11) ホシハジロの観察状況の推移

(12) キンクロハジロ

観察地点数は増加傾向にあったが、平成23年度以降は増減しつつも1,300～1,500地点で推移している。観察個体数は平成15年度から平成21年度まで100,000羽以上を推移していたが、平成22年度からは減少傾向にあり、令和3年度以降は約60,000羽を下回っている。

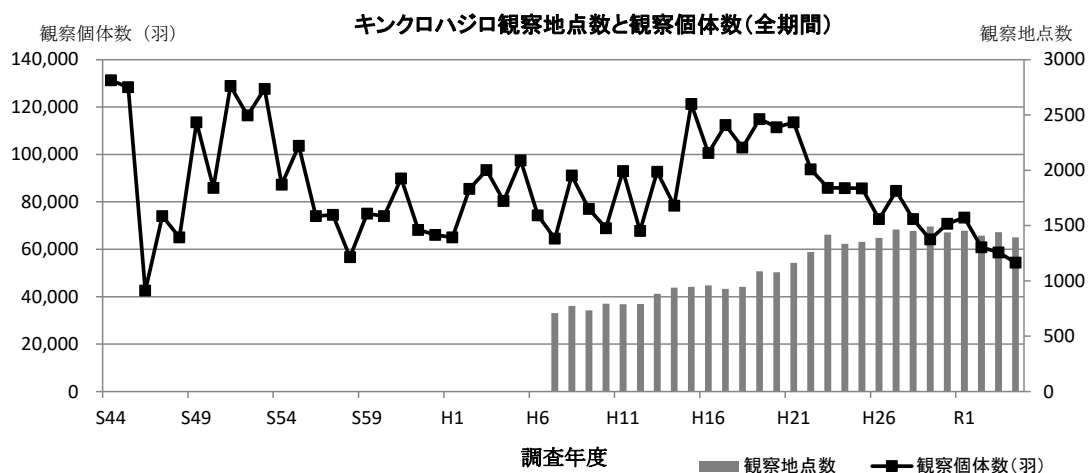


図 2-4-2 (12) キンクロハジロの観察状況の推移

(13) スズガモ

観察地点数は増加傾向であったが、平成28年度以降は増減しつつも減少傾向にある。観察個体数は昭和51年度に200,000羽を越えて以降、100,000～270,000羽程度の間で増減を繰り返していたが、平成17年度をピークに増減しつつも減少傾向となり、令和元年度以降は150,000羽を下回っている。

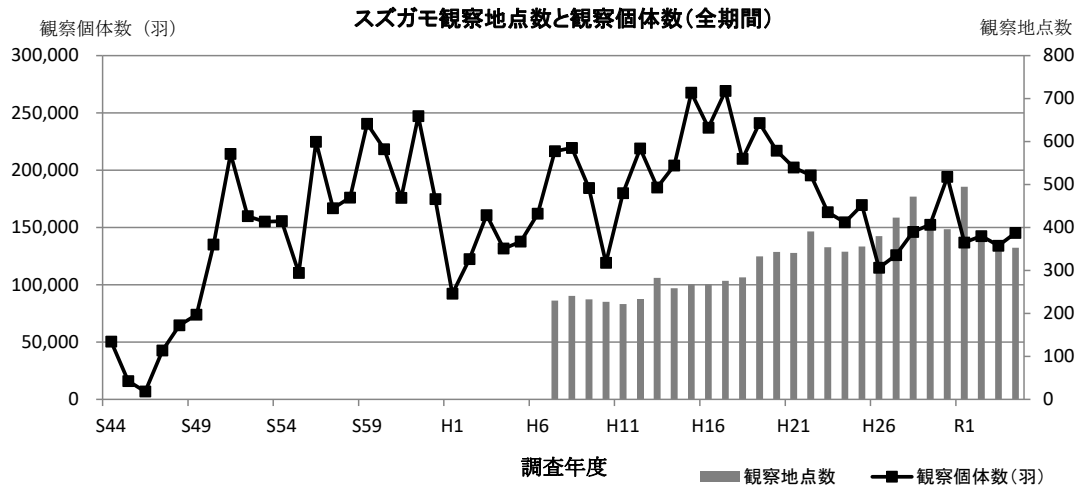


図 2-4-2 (13) スズガモの観察状況の推移

(14) クロガモ

観察地点数は平成19年度まで減少傾向にあり、以降は70～110地点の間を推移しているが、令和元年度は131地点と多かった。観察個体数は減少傾向にあり、平成13年度に15,000羽を観察して以降は10,000羽を下回り、さらに平成27年度以降は5,000羽を下回っている。

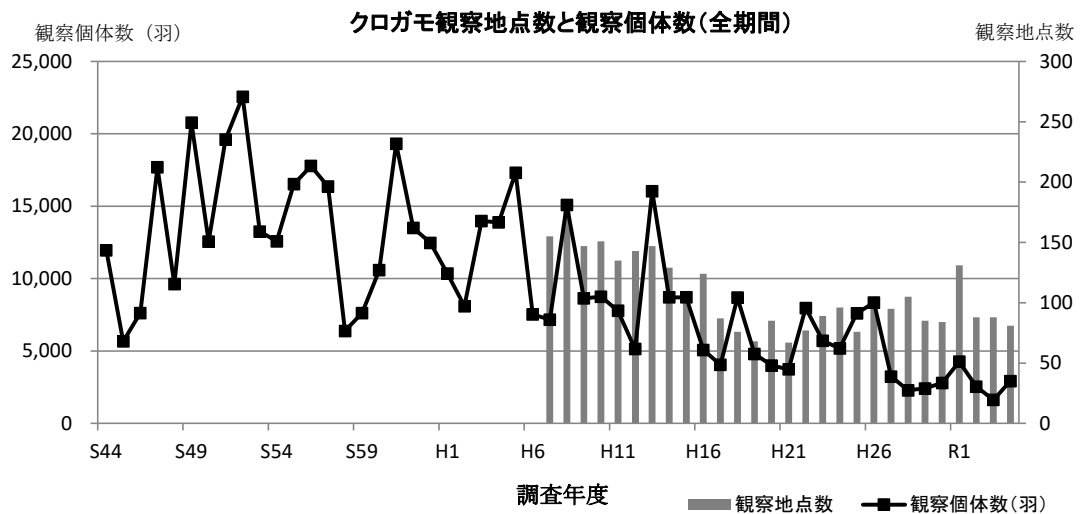


図 2-4-2 (14) クロガモの観察状況の推移

(15) ビロードキンクロ

観察地点数は全国的に少なく、平成28年度以降、10地点以下で推移している。観察個体数については、平成22年度以降10年間は100羽を下回っている年度が多かったが、平成29年度以降は50羽を下回り、令和4年度は14羽であった。

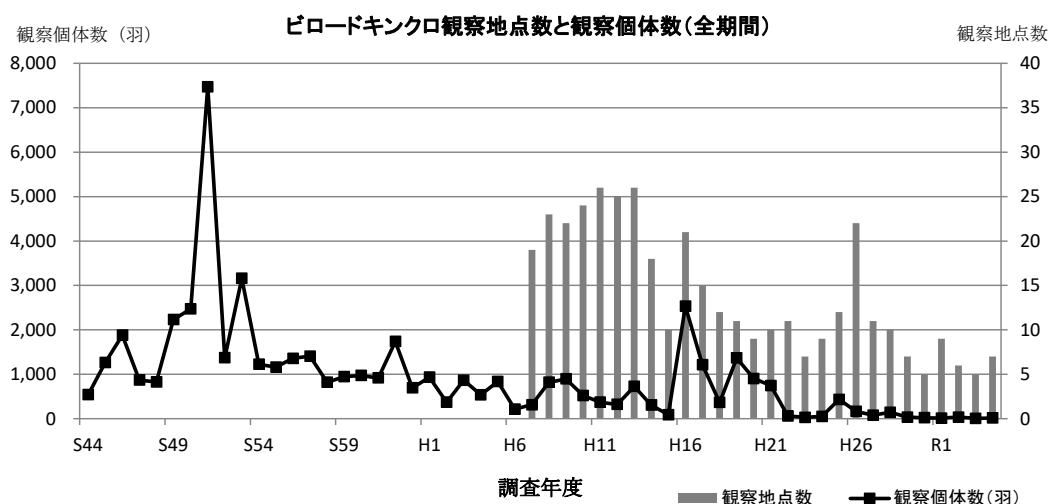


図 2-4-2 (15) ビロードキンクロの観察状況の推移

(16) シノリガモ

観察個体数は平成5年度から減少傾向にあったが、近年は500～1,000羽で推移している。観察地点数も同様に減少傾向にあったが、平成20年度以降は60～80地点で推移している。これらは、本種が主に観察される東北以北沿岸の調査地点数が減少したことが要因の可能性がある。



(17) コオリガモ

調査開始初期においては、観察個体数が12,000羽を超えた年度もあるが、継続的に減少傾向にあり、近年は50羽以下にまで減少している。観察地点数も減少傾向にあり、本種が主に観察される北海道沿岸の調査地点数が平成18年以降減少したことが観察個体数減少につながった可能性がある。令和元年度は、北海道及び青森県の観察地点が増加した。

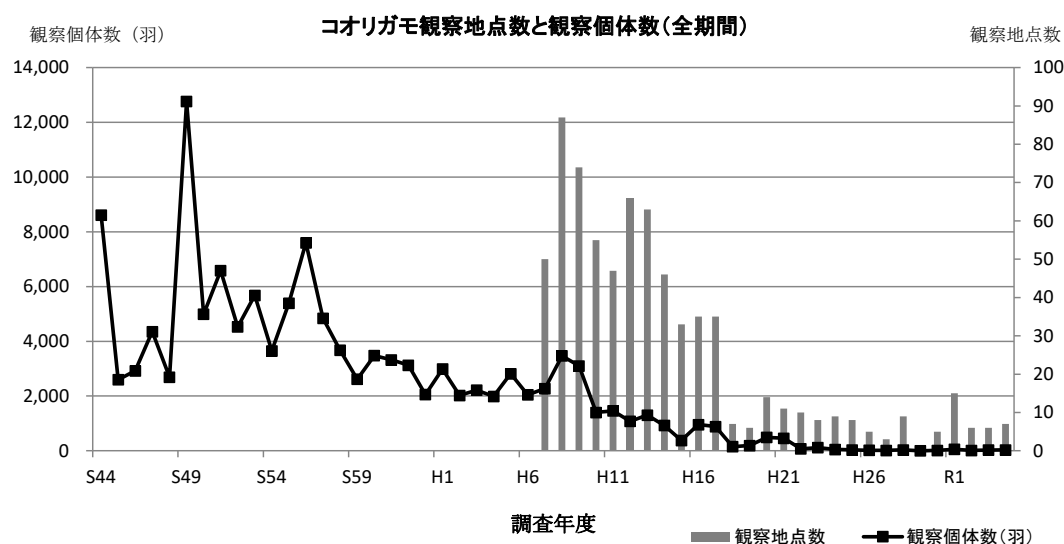


図2-4-2 (17) コオリガモの観察状況の推移

(18) ホオジロガモ

観察地点数は平成19年度からやや増加し、近年は200～250地点で推移している。観察個体数は年による増減があるものの、最近10年間は2,000～4,000羽で推移している。

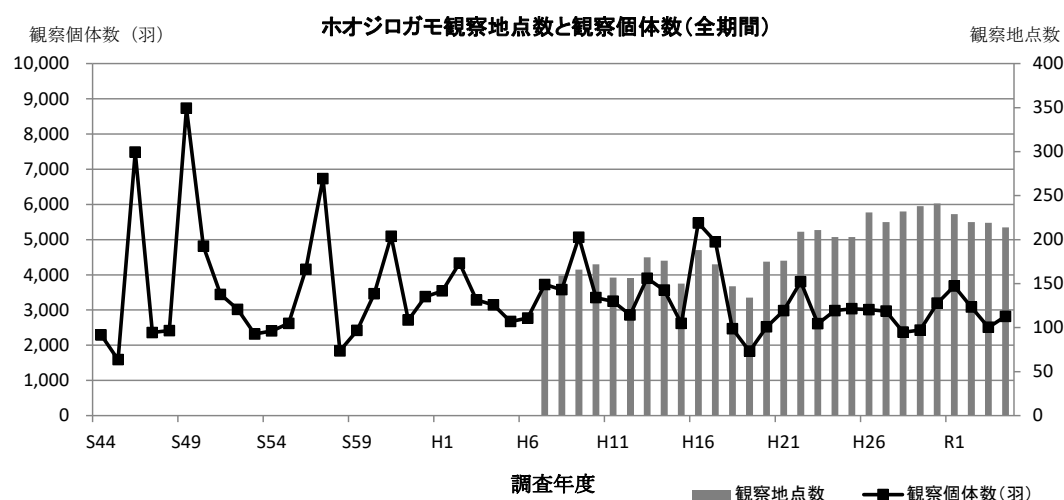


図 2-4-2 (18) ホオジロガモの観察状況の推移

(19) ミコアイサ

観察地点数は増加傾向にあり、平成30年度、令和元年度、令和3年度及び令和4年度は400地点を越えた。観察個体数は昭和46年度以降増加傾向であったが、平成20年度以降は3,000羽～5,000羽程度の間で増減しながら推移している。

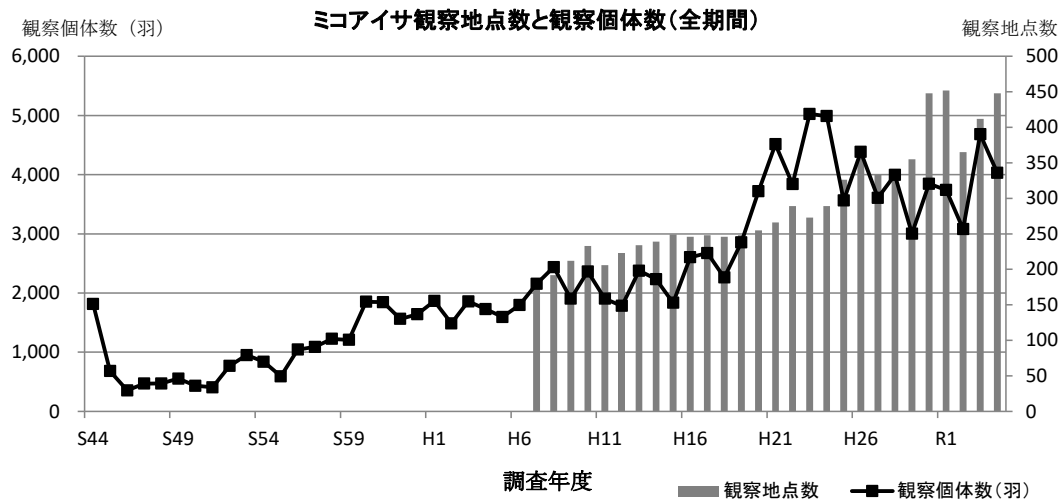


図 2-4-2 (19) ミコアイサの観察状況の推移

(20) ウミアイサ

観察地点数は平成15年度以降、概ね200～250地点で推移している。観察個体数は調査開始当初は大きく増減していたが、最近20年間は減少傾向にあり、平成15年度以降は3,000羽以下で推移している。

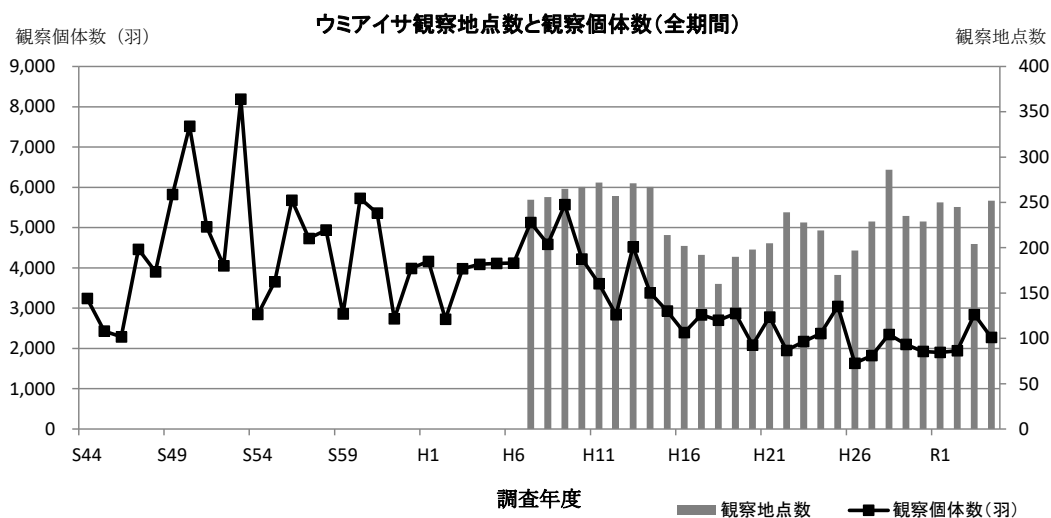


図 2-4-2 (20) ウミアイサの観察状況の推移

(21) カワアイサ

観察地点数は増加傾向であったが、平成21年度以降400～500地点で推移している。観察個体数も同様に増加傾向であったが、平成18年度以降5,000～7,000羽で推移していたものの、令和2年度は5,000羽を下回った。

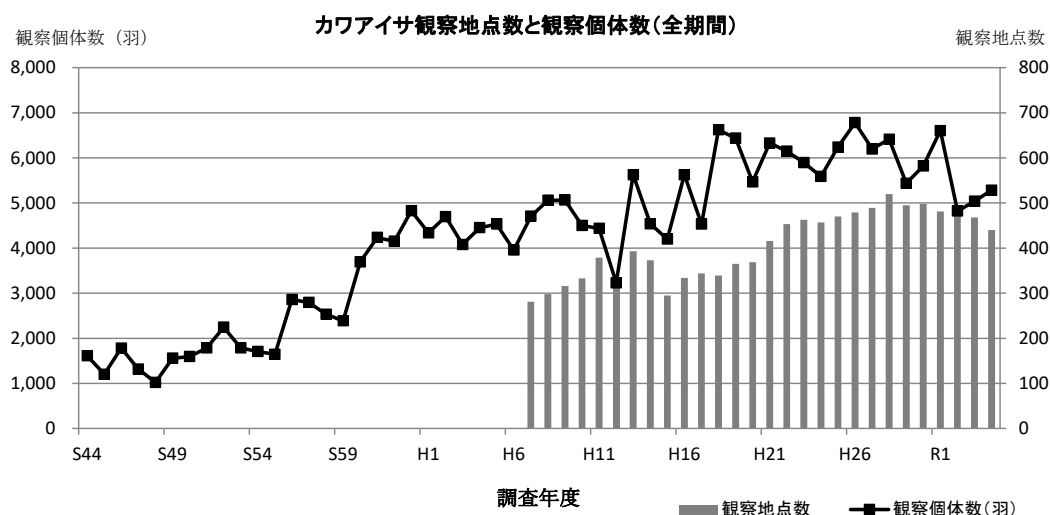


図 2-4-2 (21) カワアイサの観察状況の推移

(22) ツクシガモ

観察地点数は20～70地点で推移している。観察個体数は増減があるものの、平成21年度から増加傾向にあり、令和3年度は6,000羽を超えた。

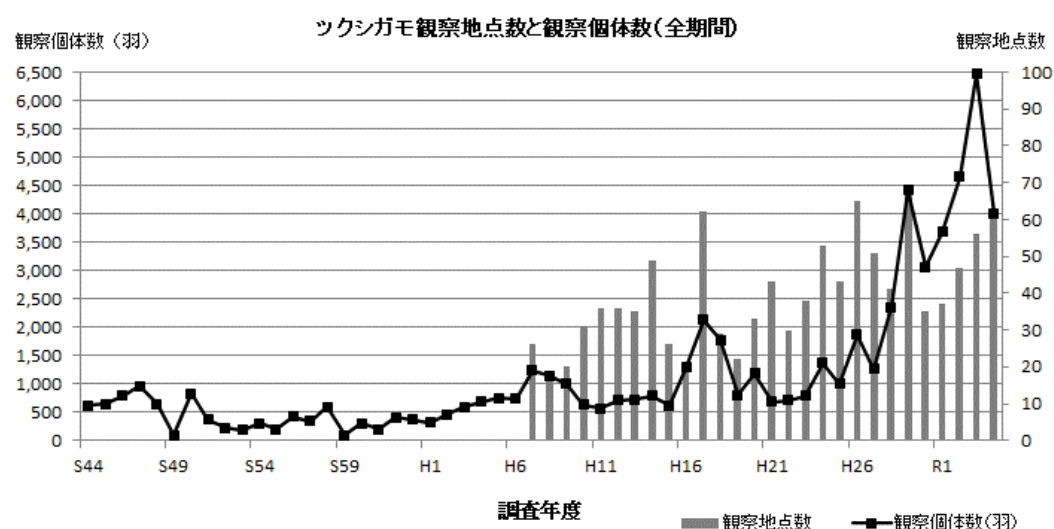


図 2-4-2 (22) ツクシガモの観察状況の推移

4.2 分布状況

令和4年度の都道府県別調査結果を表2-4-1(1)～(3)に示した。

表2-4-1(1) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察 地点数	観察個体数(羽)								
		淡水ガモ類								
		オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	トモエガモ	ヨシガモ	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ
北海道	121	0	1,223	216	94	0	142	15	486	924
青森県	142	40	844	1,919	199	4	11	27	129	734
岩手県	222	14	7,661	6,196	1,802	0	45	19	643	5,528
宮城県	331	0	18,183	7,011	3,608	11	307	81	1,593	21,455
秋田県	159	4	5,354	3,702	588	0	0	0	222	170
山形県	128	2	17,556	3,882	3,702	397	27	0	216	9,072
福島県	248	61	9,966	7,340	4,384	15	16	108	1,201	11,671
茨城県	42	122	50,433	10,232	7,613	477	2,385	4,165	11,130	37,374
栃木県	32	330	8,100	1,919	1,558	26	117	323	2,420	2,118
群馬県	80	218	2,984	2,115	3,120	4	89	145	1,685	1,808
埼玉県	157	326	6,177	8,027	7,137	114	302	450	3,730	1,555
千葉県	252	293	31,368	20,759	9,590	32,076	184	212	5,686	16,482
東京都	58	0	807	1,187	1,388	81	76	360	1,802	240
神奈川県	168	264	1,250	1,330	1,366	2	39	184	1,219	133
新潟県	22	2	33,720	2,814	15,139	906	191	23	2,441	15,349
富山県	16	0	8,824	1,853	3,777	50	100	160	3,396	1,457
石川県	10	1	29,470	4,318	10,459	4,552	267	47	7,849	5,049
福井県	16	182	16,776	2,474	3,587	487	344	27	1,653	463
山梨県	53	370	1,011	253	1,014	0	4	8	164	25
長野県	192	128	3,045	3,723	1,196	0	38	53	1,250	1,411
岐阜県	118	561	4,561	5,477	5,838	110	575	1,482	4,954	356
静岡県	131	273	5,858	3,836	3,736	43	459	787	3,761	2,827
愛知県	124	253	3,602	2,706	2,717	1	72	677	3,273	3,216
三重県	245	762	9,470	6,359	3,099	125	384	1,671	9,221	5,426
滋賀県	170	193	15,896	8,605	8,707	709	1,883	3,008	11,153	1,817
京都府	136	1,213	7,717	4,012	3,466	32	321	767	2,041	417
大阪府	392	1,159	2,554	3,054	2,680	55	259	1,850	6,924	336
兵庫県	206	1,346	3,968	3,659	3,050	24	369	1,751	5,736	1,964
奈良県	111	2,316	3,342	3,110	4,160	27	220	83	1,204	41
和歌山県	138	1,882	3,138	2,218	737	14	89	364	2,831	43
鳥取県	11	866	6,564	2,852	376	22	62	154	1,597	449
島根県	166	808	11,362	5,745	945	4,068	107	140	1,067	1,108
岡山県	15	51	3,164	1,754	373	599	209	179	1,697	3,907
広島県	267	2,429	5,728	4,927	2,090	43	278	1,256	5,066	1,174
山口県	187	638	8,616	4,282	1,135	35	260	140	2,861	357
徳島県	71	268	7,751	5,927	1,329	7	149	2,092	5,162	170
香川県	148	1,127	4,160	2,281	2,130	24	192	185	4,693	589
愛媛県	208	1,288	10,855	5,839	2,123	1,753	75	450	3,918	5,673
高知県	61	1,641	10,732	5,605	1,253	323	235	138	5,377	1,159
福岡県	205	425	5,147	5,311	928	18	49	22	2,050	2,238
佐賀県	94	262	3,429	2,124	1,819	107	32	55	1,678	1,102
長崎県	40	1,473	7,214	3,676	453	246	215	88	3,341	1,273
熊本県	148	249	14,935	5,612	1,029	100	196	28	5,048	742
大分県	192	1,094	5,727	4,580	1,258	154	367	370	3,897	1,018
宮崎県	65	1,583	5,993	2,689	363	0	52	27	5,469	544
鹿児島県	196	357	7,663	10,535	2,595	30	55	29	2,430	179
沖縄県	97	0	47	511	262	48	2	8	376	136
観察 都道府県数		42	47	47	47	41	46	45	47	47
合計	6,391	26,874	433,945	208,556	139,972	47,919	11,850	24,208	155,740	171,279

表 2-4-1 (2) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察個体数(羽)									
	淡水ガモ類			海ガモ類						
	ハシビロガモ	その他	合計	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	ビロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ
北海道	1	0	3,101	5	62	772	852	0	362	32
青森県	0	0	3,907	304	368	1,421	97	0	74	0
岩手県	4	0	21,912	176	586	428	106	0	134	0
宮城県	419	1	52,669	441	243	1,687	715	1	0	0
秋田県	0	0	10,040	56	23	12	0	0	11	0
山形県	8	0	34,862	245	274	32	0	0	0	0
福島県	205	0	34,967	780	828	124	164	1	22	0
茨城県	634	5	124,570	2,730	900	12,492	841	3	70	0
栃木県	181	1	17,093	109	344	0	0	0	0	0
群馬県	118	3	12,289	1,075	677	2	0	0	0	0
埼玉県	415	2	28,235	2,428	1,226	0	0	0	0	0
千葉県	855	1	117,506	2,802	1,075	9,916	3	1	0	1
東京都	134	4	6,079	974	1,239	4,876	0	0	0	0
神奈川県	67	0	5,854	1,563	624	485	0	0	0	0
新潟県	42	4	70,631	1,187	702	82	2	0	1	0
富山県	208	0	19,825	411	324	3	0	0	0	0
石川県	162	2	62,176	515	33	22	0	0	0	0
福井県	70	1	26,064	592	498	229	0	0	0	0
山梨県	46	0	2,895	226	368	12	0	0	0	0
長野県	10	0	10,854	1,083	755	6	15	0	0	0
岐阜県	161	5	24,080	380	1,003	0	0	0	0	0
静岡県	141	4	21,725	1,710	978	1,675	0	0	1	0
愛知県	485	0	17,002	11,531	2,655	10,522	0	0	0	0
三重県	1,022	3	37,542	3,266	1,219	12,310	0	0	0	0
滋賀県	908	5	52,884	4,925	14,194	2,420	0	0	3	0
京都府	255	2	20,243	2,085	1,425	294	0	0	8	0
大阪府	2,653	7	21,531	9,519	3,476	1,709	0	5	0	0
兵庫県	1,521	2	23,390	10,188	1,474	794	2	0	0	0
奈良県	1,640	0	16,143	461	348	0	0	0	0	0
和歌山県	27	1	11,344	664	166	1	0	0	0	0
鳥取県	65	0	13,007	740	2,410	4,423	0	0	7	0
島根県	1,137	0	26,487	1,491	6,644	19,507	11	2	10	0
岡山県	181	2	12,116	3,552	1,291	897	0	0	0	0
広島県	1,743	3	24,737	6,959	611	4,691	0	0	1	0
山口県	32	0	18,356	928	675	617	0	0	0	0
徳島県	284	1	23,140	2,301	428	1,030	0	0	1	0
香川県	2,180	1	17,562	2,627	398	0	0	0	0	0
愛媛県	737	2	32,713	1,791	262	10	0	1	0	0
高知県	39	0	26,502	238	10	6	25	0	0	0
福岡県	259	4	16,451	2,265	316	327	7	0	0	0
佐賀県	125	3	10,736	2,613	925	59	62	0	0	0
長崎県	4	0	17,983	3,103	717	51,321	0	0	0	0
熊本県	15	0	27,954	935	7	6	20	0	0	0
大分県	27	0	18,492	377	147	53	0	0	0	0
宮崎県	3	0	16,723	22	30	30	0	0	0	0
鹿児島県	32	0	23,905	196	382	58	0	0	0	0
沖縄県	377	0	1,767	39	1,047	6	0	0	0	0
観察 都道府県数	45	25	47	47	47	42	15	7	14	2
合計	19,632	69	1,240,044	92,608	54,387	145,367	2,922	14	705	33

※ 淡水ガモ類のその他はアメリカヒドリ、シマアジの合計である。

表 2-4-1 (3) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察個体数(羽)											
	海ガモ類						種不明 ・雑種	ツクシガモ類			リュウキュウガモ	合計
	ホオジロ ガモ	ミコアイサ	ウミアイサ	カワアイ サ	その他	合計		ツクシガモ	アカツクシ ガモ	合計		
北海道	771	0	381	360	2	3,599	1,103	0	0	0	0	7,803
青森県	37	12	105	22	0	2,440	1,047	0	0	0	0	7,394
岩手県	242	45	138	190	0	2,045	43	0	0	0	0	24,000
宮城県	109	245	38	272	0	3,751	1,152	0	0	0	0	57,572
秋田県	1	18	34	58	0	213	1,721	0	0	0	0	11,974
山形県	8	36	12	34	0	641	650	0	0	0	0	36,153
福島県	140	76	21	96	1	2,253	403	0	0	0	0	37,623
茨城県	39	52	37	0	0	17,164	1,078	1	0	1	0	142,813
栃木県	12	93	0	58	0	616	0	0	0	0	0	17,709
群馬県	0	65	0	47	0	1,866	0	0	0	0	0	14,155
埼玉県	37	83	0	6	0	3,780	8	0	0	0	0	32,023
千葉県	61	18	38	43	1	13,959	2,052	0	0	0	0	133,517
東京都	0	4	2	1	0	7,096	96	0	0	0	0	13,271
神奈川県	40	1	6	11	0	2,730	105	0	0	0	0	8,689
新潟県	39	94	41	65	0	2,213	0	0	6	6	0	72,850
富山県	0	11	0	0	0	749	0	0	0	0	0	20,574
石川県	55	57	3	62	0	747	102	1	0	1	0	63,026
福井県	51	33	1	58	0	1,462	0	0	0	0	0	27,526
山梨県	0	8	0	519	0	1,133	8	0	0	0	0	4,036
長野県	38	111	0	723	0	2,731	947	0	0	0	0	14,532
岐阜県	26	50	0	490	0	1,949	8	0	0	0	0	26,037
静岡県	182	12	69	200	1	4,828	1	0	0	0	0	26,554
愛知県	1	90	12	45	0	24,856	519	59	0	59	0	42,436
三重県	15	106	139	12	1	17,068	294	27	0	27	0	54,931
滋賀県	311	689	115	404	4	23,065	6,991	1	0	1	0	82,941
京都府	95	20	29	159	0	4,115	11	6	0	6	0	24,375
大阪府	10	432	93	25	3	15,272	23	63	0	63	0	36,889
兵庫県	9	636	242	234	1	13,580	0	9	0	9	0	36,979
奈良県	0	212	0	6	1	1,028	0	0	0	0	0	17,171
和歌山県	0	10	2	102	1	946	187	0	0	0	0	12,477
鳥取県	235	22	15	110	0	7,962	279	6	0	6	0	21,254
島根県	189	13	54	154	1	28,076	1,322	11	0	11	0	55,896
岡山県	7	132	36	3	0	5,918	229	330	0	330	0	18,593
広島県	3	94	187	650	2	13,198	9	8	0	8	0	37,952
山口県	0	5	65	32	0	2,322	1,527	0	0	0	0	22,205
徳島県	1	1	19	0	0	3,781	34	27	0	27	0	26,982
香川県	2	333	127	0	1	3,488	4	16	0	16	0	21,070
愛媛県	4	6	56	0	3	2,133	50	3	0	3	0	34,899
高知県	0	0	0	0	0	279	885	0	0	0	0	27,666
福岡県	49	67	34	16	0	3,081	3,768	883	0	883	0	24,183
佐賀県	0	0	0	0	0	3,659	88	2,401	0	2,401	0	16,884
長崎県	0	35	85	0	0	55,261	60	5	0	5	0	73,309
熊本県	0	0	8	0	0	976	438	0	0	0	0	29,368
大分県	0	3	30	17	2	629	305	98	0	98	0	19,524
宮崎県	0	0	0	0	0	82	278	10	0	10	0	17,093
鹿児島県	0	0	0	0	0	636	2,813	0	0	0	0	27,354
沖縄県	0	0	0	0	0	1,092	13	26	6	32	0	2,904
観察 都道府県数	32	40	34	35	15	47	40	21	2	22	0	47
合計	2,819	4,030	2,274	5,284	25	310,468	30,651	3,991	12	4,003	0	1,585,166

※ 海ガモ類のその他はアカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサの合計である（今年度はケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロは観察されなかった）。

4.3 法指定区域別の観察状況

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（以下、鳥獣保護管理法）によって鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域別の観察状況を、表2-4-2～表2-4-5及び図2-4-3(1)～(5)に示した。

カモ類の観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は、全体の21.1%にあたる1,350地点であり、これらの地点ではカモ類の全観察個体数の51.1%にあたる809,529羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、3,868地点（60.5%）で、1,341,572羽（84.6%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区及びその他の区域に該当する地点については、2,523地点（39.5%）で243,594羽（15.4%）が観察された。

カモ類は、ハクチョウ類及びガン類と比較して、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点での観察割合が高かった。

表 2-4-2 法指定区域別のカモ類の観察状況

区域区分		鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
項目		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		
調査地点数 (箇所)		1,687	19.3	70	0.8	156	1.8	2,812	32.2	46	0.5	180	2.1	3,778	43.3	8,729	100.0	
調査地点面積 (ha)		188,329	49.3	1,313	0.3	3,144	0.8	70,616	18.5	1,838	0.5	6,885	1.8	110,107	28.8	382,231	100.0	
観察地点数 (箇所)	狩猟対象	マガモ	868	23.9	21	0.6	79	2.2	1,330	36.6	24	0.7	53	1.5	1,258	34.6	3,633	100.0
		カルガモ	847	22.5	20	0.5	100	2.7	1,510	40.2	26	0.7	65	1.7	1,189	31.6	3,757	100.0
		コガモ	549	21.6	15	0.6	34	1.3	1,113	43.8	13	0.5	34	1.3	783	30.8	2,541	100.0
		ヨシガモ	161	33.1	1	0.2	11	2.3	196	40.3	1	0.2	3	0.6	113	23.3	486	100.0
		ヒドリガモ	495	27.8	7	0.4	49	2.8	704	39.6	9	0.5	22	1.2	494	27.8	1,780	100.0
		オナガガモ	302	33.7	5	0.6	16	1.8	337	37.6	9	1.0	6	0.7	222	24.7	897	100.0
		ハシビロガモ	199	22.0	10	1.1	33	3.7	435	48.1	0	—	4	0.4	223	24.7	904	100.0
		ホシハジロ	447	27.2	8	0.5	46	2.8	657	40.0	7	0.4	13	0.8	466	28.3	1,644	100.0
		キンクロハジロ	376	27.0	6	0.4	37	2.7	566	40.6	7	0.5	11	0.8	391	28.0	1,394	100.0
		スズガモ	133	37.7	2	0.6	4	1.1	98	27.8	3	0.8	2	0.6	111	31.4	353	100.0
		クロガモ	15	18.5	1	1.2	0	—	17	21.0	0	—	0	—	48	59.3	81	100.0
		狩猟対象種合計	1,289	21.2	45	0.7	135	2.2	2,233	36.8	39	0.6	102	1.7	2,226	36.7	6,069	100.0
	狩猟対象外	オンドリ	139	25.4	1	0.2	10	1.8	152	27.7	3	0.5	9	1.6	234	42.7	548	100.0
		トモエガモ	86	46.7	0	—	5	2.7	50	27.2	1	0.5	1	0.5	41	22.3	184	100.0
		オカヨシガモ	250	31.1	3	0.4	20	2.5	353	43.9	2	0.2	4	0.5	172	21.4	804	100.0
		ビロードキンクロ	3	42.9	0	—	0	—	3	42.9	0	—	0	—	1	14.3	7	100.0
		シノリガモ	18	23.1	0	—	2	2.6	14	17.9	0	—	0	—	44	56.4	78	100.0
		コオリガモ	2	28.6	0	—	0	—	1	14.3	0	—	0	—	4	57.1	7	100.0
		ホオジロガモ	103	48.1	0	—	4	1.9	60	28.0	0	—	2	0.9	45	21.0	214	100.0
		ミコアイサ	145	32.4	1	0.2	13	2.9	213	47.5	4	0.9	3	0.7	69	15.4	448	100.0
		ウミアイサ	87	34.5	0	—	3	1.2	57	22.6	0	—	7	2.8	98	38.9	252	100.0
		カワアイサ	146	33.2	1	0.2	3	0.7	141	32.0	2	0.5	6	1.4	141	32.0	440	100.0
		その他	39	29.8	2	1.5	5	3.8	48	36.6	0	—	1	0.8	36	27.5	131	100.0
		狩猟対象外合計	597	27.0	7	0.3	49	2.2	794	36.0	8	0.4	31	1.4	722	32.7	2,208	100.0
		種不明	129	26.9	7	1.5	17	3.5	128	26.7	7	1.5	9	1.9	182	38.0	479	100.0
		総計	1,350	21.1	47	0.7	135	2.1	2,296	35.9	40	0.6	111	1.7	2,412	37.7	6,391	100.0
観察個体数 (羽)	狩猟対象	マガモ	239,793	55.3	486	0.1	3,074	0.7	125,761	29.0	2,546	0.6	1,760	0.4	60,525	13.9	433,945	100.0
		カルガモ	76,661	36.8	473	0.2	3,049	1.5	87,272	41.8	1,353	0.6	3,010	1.4	36,738	17.6	208,556	100.0
		コガモ	54,499	38.9	321	0.2	593	0.4	59,496	42.5	591	0.4	1,353	1.0	23,119	16.5	139,972	100.0
		ヨシガモ	6,527	55.1	13	0.1	114	1.0	3,309	27.9	6	0.1	28	0.2	1,853	15.6	11,850	100.0
		ヒドリガモ	63,782	41.0	471	0.3	1,782	1.1	59,787	38.4	227	0.1	758	0.5	28,933	18.6	155,740	100.0
		オナガガモ	95,523	55.8	117	0.1	2,857	1.7	42,304	24.7	9,886	5.8	416	0.2	20,176	11.8	171,279	100.0
		ハシビロガモ	4,872	24.8	157	0.8	853	4.3	10,133	51.6	0	—	29	0.1	3,588	18.3	19,632	100.0
		ホシハジロ	35,718	38.6	678	0.7	930	1.0	33,825	36.5	92	0.1	173	0.2	21,192	22.9	92,608	100.0
		キンクロハジロ	34,643	63.7	288	0.5	770	1.4	11,162	20.5	244	0.4	69	0.1	7,211	13.3	54,387	100.0
		スズガモ	108,079	74.3	732	0.5	48	0.0	29,518	20.3	276	0.2	44	0.0	6,670	4.6	145,367	100.0
		クロガモ	1,172	40.1	1	0.0	0	—	965	33.0	0	—	0	—	784	26.8	2,922	100.0
		狩猟対象種計	721,269	50.2	3,737	0.3	14,070	1.0	463,532	32.3	15,221	1.1	7,640	0.5	210,789	14.7	1,436,258	100.0
	狩猟対象外	オンドリ	7,066	26.3	50	0.2	135	0.5	10,179	37.9	341	1.3	160	0.6	8,943	33.3	26,874	100.0
		トモエガモ	45,888	95.8	0	—	123	0.3	1,469	3.1	13	0.0	20	0.0	406	0.8	47,919	100.0
		オカヨシガモ	10,455	43.2	97	0.4	259	1.1	9,400	38.8	77	0.3	411	1.7	3,509	14.5	24,208	100.0
		ビロードキンクロ	8	57.1	0	—	0	—	5	35.7	0	—	0	—	1	7.1	14	100.0
		シノリガモ	93	13.2	0	—	7	1.0	163	23.1	0	—	0	—	442	62.7	705	100.0
		コオリガモ	24	72.7	0	—	0	—	1	3.0	0	—	0	—	8	24.2	33	100.0
		ホオジロガモ	1,738	61.7	0	—	5	0.2	779	27.6	0	—	2	0.1	295	10.5	2,819	100.0
		ミコアイサ	1,661	41.2	17	0.4	138	3.4	1,625	40.3	17	0.4	11	0.3	561	13.9	4,030	100.0
		ウミアイサ	843	37.1	0	—	10	0.4	419	18.4	0	—	25	1.1	977	43.0	2,274	100.0
		カワアイサ	2,180	41.3	2	0.0	4	0.1	1,745	33.0	52	1.0	34	0.6	1,267	24.0	5,284	100.0
		その他	317	7.7	7	0.2	52	1.3	2,807	68.5	0	—	1	0.0	913	22.3	4,097	100.0
		狩猟対象外計	70,273	59.4	173	0.1	733	0.6	28,592	24.2	500	0.4	664	0.6	17,322	14.6	118,257	100.0
		種不明	17,987	58.7	286	0.9	85	0.3	4,700	15.3	414	1.4	147	0.5	7,032	22.9	30,651	100.0
		総計	809,529	51.1	4,196	0.3	14,888	0.9	496,824	31.3	16,135	1.0	8,451	0.5	235,143	14.8	1,585,166	100.0

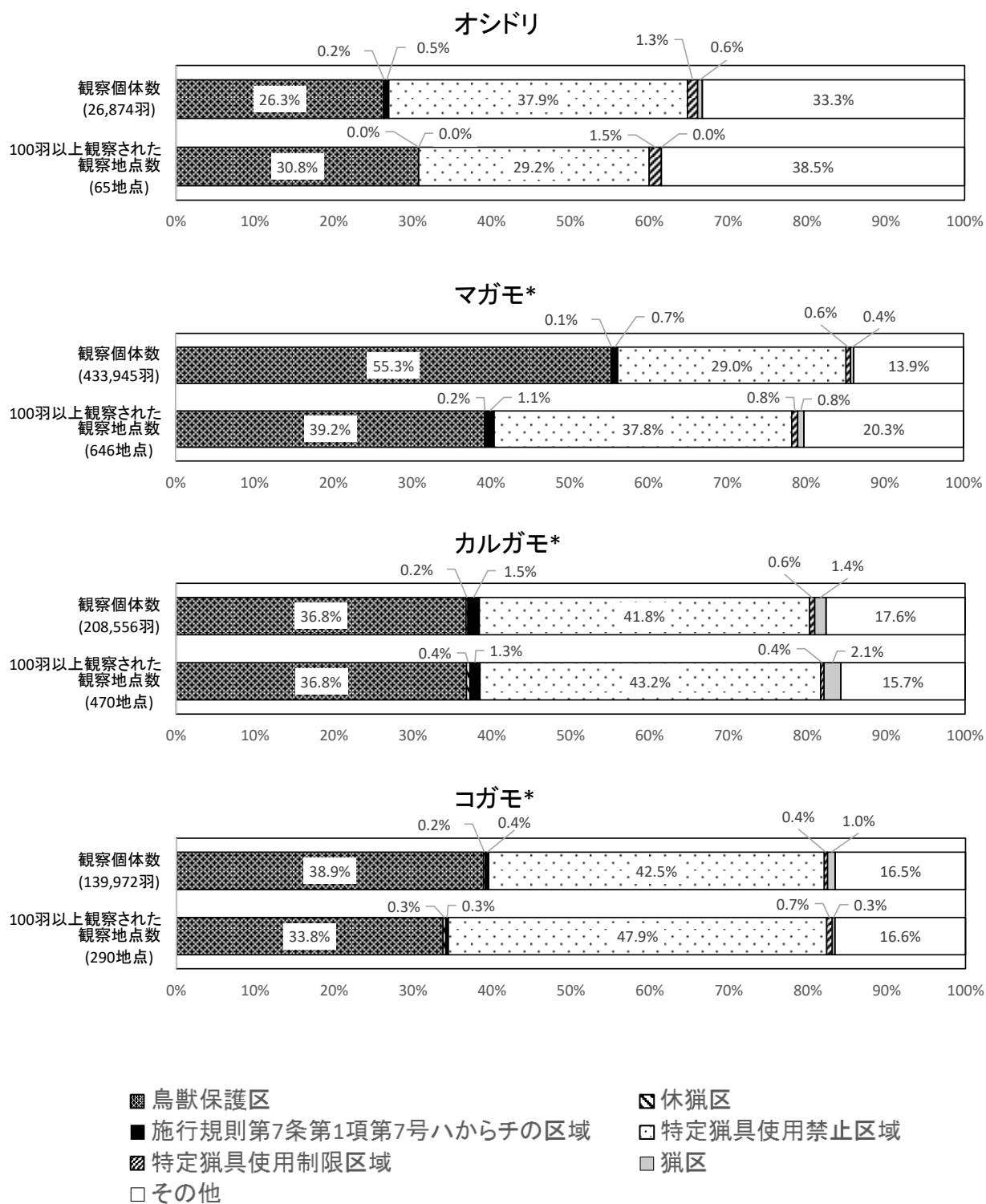
【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-3 法指定区域別のカモ類観察状況（個体数の下限有）

区域区分		観察 個体数 下限値 (羽) *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
項目			項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		
調査地点数(箇所)			1,687	19.3	70	0.8	156	1.8	2,812	32.2	46	0.5	180	2.1	3,778	43.3	8,729	100.0	
調査地点面積 (ha)			188,329	49.3	1,313	0.3	3,144	0.8	70,616	18.5	1,838	0.5	6,885	1.8	110,107	28.8	382,231	100.0	
観察地点数 (箇所)	狩猟対象	マガモ	100	253	39.2	1	0.2	7	1.1	244	37.8	5	0.8	5	0.8	131	20.3	646	100.0
		カルガモ	100	173	36.8	2	0.4	6	1.3	203	43.2	2	0.4	10	2.1	74	15.7	470	100.0
		コガモ	100	98	33.8	1	0.3	1	0.3	139	47.9	2	0.7	1	0.3	48	16.6	290	100.0
		ヨシガモ	100	14	60.9	0	—	0	—	6	26.1	0	—	0	—	3	13.0	23	100.0
		ヒドリガモ	100	129	36.9	2	0.6	5	1.4	141	40.3	1	0.3	2	0.6	70	20.0	350	100.0
		オナガガモ	100	86	41.5	0	—	8	3.9	75	36.2	6	2.9	2	1.0	30	14.5	207	100.0
		ハシビロガモ	100	7	22.6	0	—	1	3.2	18	58.1	0	—	0	—	5	16.1	31	100.0
		ホシハジロ	100	72	42.9	1	0.6	2	1.2	56	33.3	0	—	0	—	37	22.0	168	100.0
		キンクロハジロ	100	68	62.4	1	0.9	1	0.9	28	25.7	1	0.9	0	—	10	9.2	109	100.0
		スズガモ	100	45	50.6	1	1.1	0	—	30	33.7	1	1.1	0	—	12	13.5	89	100.0
		クロガモ	100	4	80.0	0	—	0	—	1	20.0	0	—	0	—	0	—	5	100.0
	狩猟対象外	オシドリ	100	20	30.8	0	—	0	—	19	29.2	1	1.5	0	—	25	38.5	65	100.0
		トモエガモ	10	40	56.3	0	—	1	1.4	18	25.4	1	1.4	1	1.4	10	14.1	71	100.0
		オカヨシガモ	100	14	38.9	0	—	0	—	16	44.4	0	—	1	2.8	5	13.9	36	100.0
		ビロードキンクロ	1	3	42.9	0	—	0	—	3	42.9	0	—	0	—	1	14.3	7	100.0
		シノリガモ	20	1	11.1	0	—	0	—	2	22.2	0	—	0	—	6	66.7	9	100.0
		コオリガモ	1	2	28.6	0	—	0	—	1	14.3	0	—	0	—	4	57.1	7	100.0
		ホオジロガモ	1	103	48.1	0	—	4	1.9	60	28.0	0	—	2	0.9	45	21.0	214	100.0
		ミコアイサ	10	43	38.7	1	0.9	3	2.7	51	45.9	0	—	0	—	13	11.7	111	100.0
		ウミアイサ	1	87	34.5	0	—	3	1.2	57	22.6	0	—	7	2.8	98	38.9	252	100.0
		カワアイサ	10	46	37.7	0	—	0	—	38	31.1	2	1.6	1	0.8	35	28.7	122	100.0
カモ類合計		1	1,350	21.1	47	0.7	135	2.1	2,296	35.9	40	0.6	111	1.7	2,412	37.7	6,391	100.0	

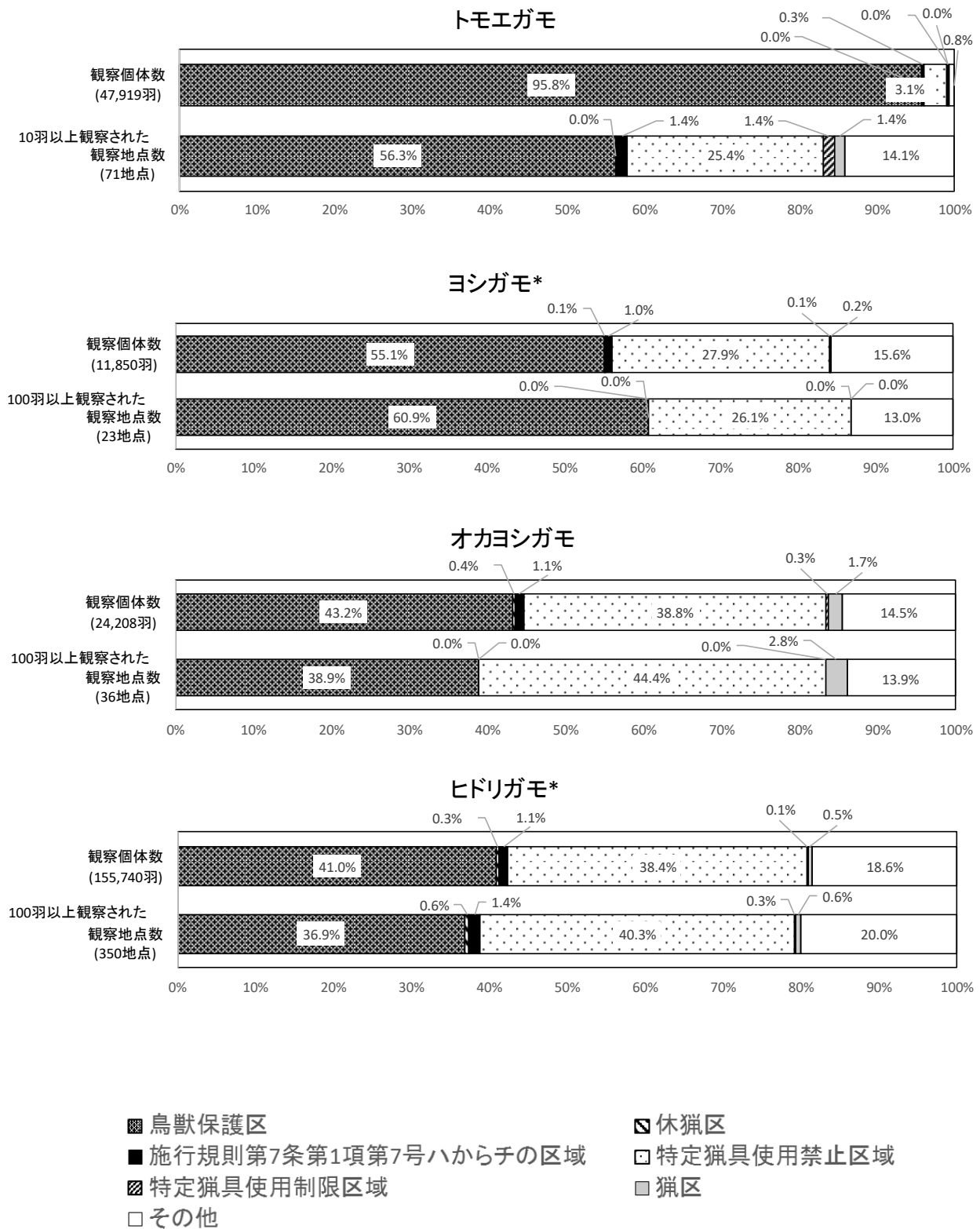
*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。



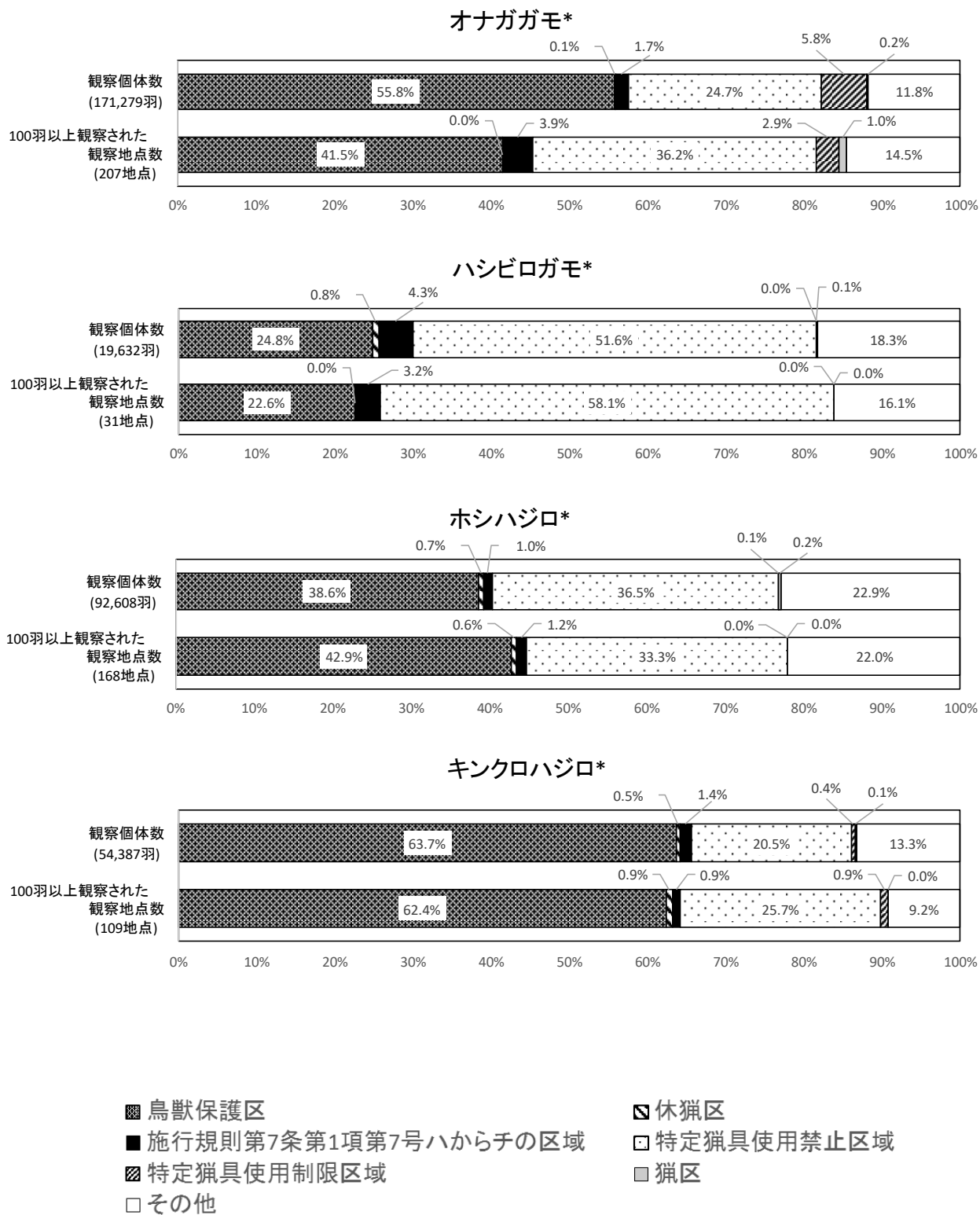
*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(1) 法指定区域別のカモ類の観察状況



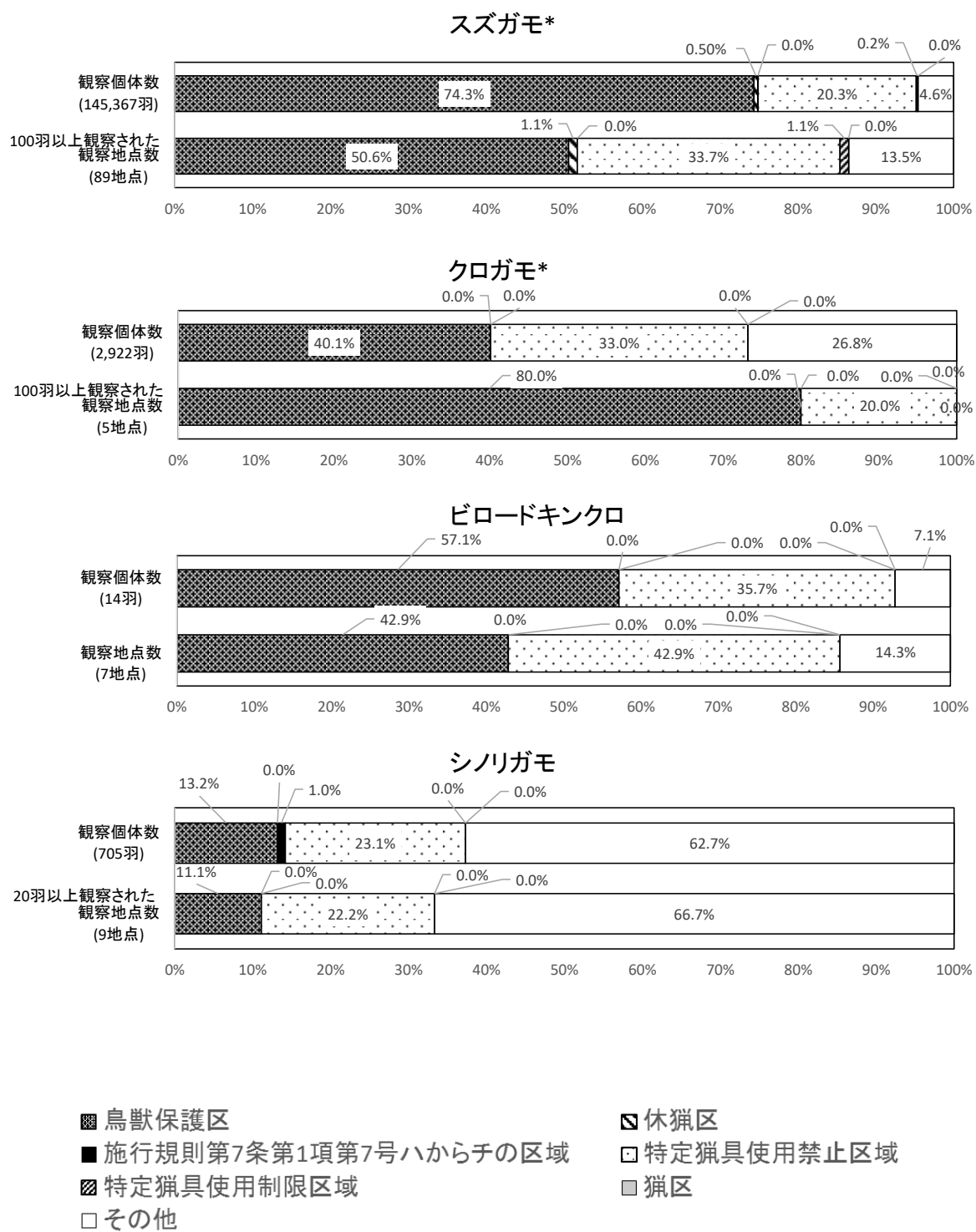
*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(2) 法指定区域別のカモ類の観察状況



*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(3) 法指定区域別のカモ類の観測状況



*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(4) 法指定区域別のカモ類の観察状況

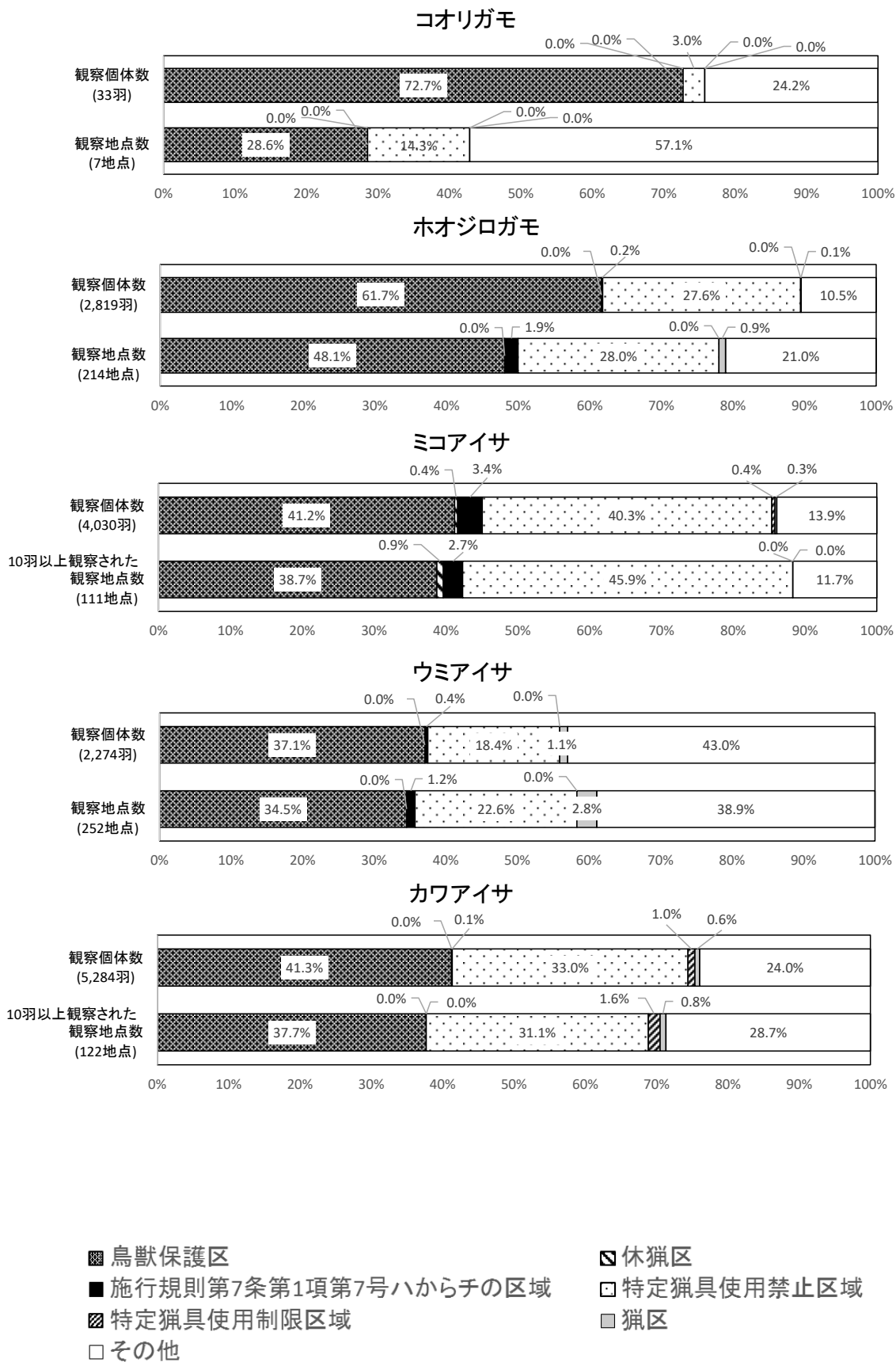


図 2-4-3(5) 法指定区域別のカモ類の観測状況

表 2-4-4 法指定区域別のカモ類の観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	
北海道	20	16.5	0	—	4	3.3	21	17.4	0	—	0	—	76	62.8	121
青森県	38	26.8	0	—	3	2.1	19	13.4	0	—	2	1.4	80	56.3	142
岩手県	28	12.6	0	—	0	—	94	42.3	2	0.9	0	—	98	44.1	222
宮城県	102	30.8	4	1.2	0	—	51	15.4	25	7.6	8	2.4	141	42.6	331
秋田県	44	27.7	1	0.6	0	—	22	13.8	0	—	25	15.7	67	42.1	159
山形県	17	13.3	0	—	1	0.8	51	39.8	0	—	0	—	59	46.1	128
福島県	50	20.2	0	—	21	8.5	64	25.8	2	0.8	1	0.4	110	44.4	248
茨城県	28	66.7	0	—	0	—	10	23.8	0	—	0	—	4	9.5	42
栃木県	15	46.9	0	—	0	—	14	43.8	0	—	0	—	3	9.4	32
群馬県	17	21.3	2	2.5	0	—	52	65.0	0	—	0	—	9	11.3	80
埼玉県	29	18.5	0	—	1	0.6	121	77.1	2	1.3	0	—	4	2.5	157
千葉県	47	18.7	0	—	1	0.4	152	60.3	0	—	17	6.7	35	13.9	252
東京都	32	55.2	0	—	13	22.4	13	22.4	0	—	0	—	0	—	58
神奈川県	50	29.8	0	—	1	0.6	97	57.7	0	—	4	2.4	16	9.5	168
新潟県	12	54.5	0	—	0	—	4	18.2	0	—	1	4.5	5	22.7	22
富山県	6	37.5	0	—	0	—	6	37.5	0	—	0	—	4	25.0	16
石川県	5	50.0	0	—	0	—	5	50.0	0	—	0	—	0	—	10
福井県	9	56.3	0	—	0	—	6	37.5	0	—	0	—	1	6.3	16
山梨県	11	20.8	1	1.9	0	—	23	43.4	0	—	0	—	18	34.0	53
長野県	19	9.9	0	—	7	3.6	47	24.5	2	1.0	0	—	117	60.9	192
岐阜県	24	20.3	1	0.8	0	—	59	50.0	0	—	0	—	34	28.8	118
静岡県	40	30.5	0	—	0	—	32	24.4	0	—	0	—	59	45.0	131
愛知県	25	20.2	0	—	3	2.4	81	65.3	0	—	1	0.8	14	11.3	124
三重県	65	26.5	3	1.2	2	0.8	74	30.2	0	—	0	—	101	41.2	245
滋賀県	83	48.8	0	—	0	—	49	28.8	0	—	1	0.6	37	21.8	170
京都府	34	25.0	0	—	0	—	81	59.6	0	—	1	0.7	20	14.7	136
大阪府	13	3.3	0	—	60	15.3	264	67.3	0	—	0	—	55	14.0	392
兵庫県	35	17.0	0	—	0	—	158	76.7	0	—	0	—	13	6.3	206
奈良県	3	2.7	0	—	7	6.3	99	89.2	0	—	0	—	2	1.8	111
和歌山県	48	34.8	0	—	0	—	28	20.3	0	—	0	—	62	44.9	138
鳥取県	4	36.4	0	—	0	—	7	63.6	0	—	0	—	0	—	11
島根県	32	19.3	2	1.2	0	—	47	28.3	0	—	0	—	85	51.2	166
岡山県	6	40.0	0	—	0	—	6	40.0	0	—	0	—	3	20.0	15
広島県	41	15.4	1	0.4	0	—	33	12.4	3	1.1	1	0.4	188	70.4	267
山口県	28	15.0	5	2.7	1	0.5	52	27.8	0	—	2	1.1	99	52.9	187
徳島県	20	28.2	0	—	0	—	36	50.7	0	—	15	21.1	0	—	71
香川県	15	10.1	0	—	0	—	66	44.6	0	—	0	—	67	45.3	148
愛媛県	15	7.2	2	1.0	0	—	61	29.3	0	—	0	—	130	62.5	208
高知県	18	29.5	0	—	0	—	25	41.0	0	—	0	—	18	29.5	61
福岡県	33	16.1	1	0.5	4	2.0	38	18.5	1	0.5	2	1.0	126	61.5	205
佐賀県	18	19.1	0	—	2	2.1	20	21.3	0	—	0	—	54	57.4	94
長崎県	14	35.0	1	2.5	0	—	10	25.0	0	—	0	—	15	37.5	40
熊本県	36	24.3	3	2.0	1	0.7	27	18.2	0	—	0	—	81	54.7	148
大分県	40	20.8	5	2.6	0	—	24	12.5	1	0.5	5	2.6	117	60.9	192
宮崎県	37	56.9	0	—	0	—	13	20.0	0	—	0	—	15	23.1	65
鹿児島県	28	14.3	4	2.0	3	1.5	34	17.3	2	1.0	25	12.8	100	51.0	196
沖縄県	16	16.5	11	11.3	0	—	0	—	0	—	0	—	70	72.2	97
合計	1,350	21.1	47	0.7	135	2.1	2,296	35.9	40	0.6	111	1.7	2,412	37.7	6,391

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-5 法指定区域別のカモ類の観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体数 （羽）
北海道	3,864	49.5	0	—	63	0.8	892	11.4	0	—	0	—	2,984	38.2	7,803
青森県	2,914	39.4	0	—	232	3.1	1,512	20.4	0	—	149	2.0	2,587	35.0	7,394
岩手県	5,019	20.9	0	—	0	—	12,185	50.8	231	1.0	0	—	6,565	27.4	24,000
宮城県	17,548	30.5	148	0.3	0	—	10,585	18.4	13,805	24.0	838	1.5	14,648	25.4	57,572
秋田県	8,276	69.1	3	0.0	0	—	1,183	9.9	0	—	774	6.5	1,738	14.5	11,974
山形県	22,891	63.3	0	—	38	0.1	10,839	30.0	0	—	0	—	2,385	6.6	36,153
福島県	12,246	32.5	0	—	4,446	11.8	10,309	27.4	356	0.9	244	0.6	10,022	26.6	37,623
茨城県	124,291	87.0	0	—	0	—	16,455	11.5	0	—	0	—	2,067	1.4	142,813
栃木県	11,771	66.5	0	—	0	—	4,867	27.5	0	—	0	—	1,071	6.0	17,709
群馬県	4,447	31.4	99	0.7	0	—	6,827	48.2	0	—	0	—	2,782	19.7	14,155
埼玉県	7,441	23.2	0	—	688	2.1	22,019	68.8	976	3.0	0	—	899	2.8	32,023
千葉県	75,250	56.4	0	—	250	0.2	52,085	39.0	0	—	384	0.3	5,548	4.2	133,517
東京都	9,952	75.0	0	—	1,447	10.9	1,872	14.1	0	—	0	—	0	—	13,271
神奈川県	3,502	40.3	0	—	29	0.3	3,652	42.0	0	—	115	1.3	1,391	16.0	8,689
新潟県	54,588	74.9	0	—	0	—	16,236	22.3	0	—	1,079	1.5	947	1.3	72,850
富山県	6,560	31.9	0	—	0	—	9,523	46.3	0	—	0	—	4,491	21.8	20,574
石川県	48,277	76.6	0	—	0	—	14,749	23.4	0	—	0	—	0	—	63,026
福井県	14,906	54.2	0	—	0	—	12,342	44.8	0	—	0	—	278	1.0	27,526
山梨県	1,255	31.1	11	0.3	0	—	1,669	41.4	0	—	0	—	1,101	27.3	4,036
長野県	1,023	7.0	0	—	737	5.1	5,306	36.5	61	0.4	0	—	7,405	51.0	14,532
岐阜県	2,995	11.5	6	0.0	0	—	17,236	66.2	0	—	0	—	5,800	22.3	26,037
静岡県	12,015	45.2	0	—	0	—	8,608	32.4	0	—	0	—	5,931	22.3	26,554
愛知県	17,509	41.3	0	—	200	0.5	19,677	46.4	0	—	82	0.2	4,968	11.7	42,436
三重県	12,622	23.0	135	0.2	284	0.5	21,929	39.9	0	—	0	—	19,961	36.3	54,931
滋賀県	72,347	87.2	0	—	0	—	7,271	8.8	0	—	100	0.1	3,223	3.9	82,941
京都府	12,756	52.3	0	—	0	—	9,709	39.8	0	—	1	0.0	1,909	7.8	24,375
大阪府	5,423	14.7	0	—	4,243	11.5	21,922	59.4	0	—	0	—	5,301	14.4	36,889
兵庫県	8,124	22.0	0	—	0	—	25,753	69.6	0	—	0	—	3,102	8.4	36,979
奈良県	477	2.8	0	—	948	5.5	15,294	89.1	0	—	0	—	452	2.6	17,171
和歌山県	4,322	34.6	0	—	0	—	5,573	44.7	0	—	0	—	2,582	20.7	12,477
鳥取県	14,899	70.1	0	—	0	—	6,355	29.9	0	—	0	—	0	—	21,254
島根県	47,237	84.5	92	0.2	0	—	4,142	7.4	0	—	0	—	4,425	7.9	55,896
岡山県	6,339	34.1	0	—	0	—	9,495	51.1	0	—	0	—	2,759	14.8	18,593
広島県	7,081	18.7	1,482	3.9	0	—	15,013	39.6	590	1.6	25	0.1	13,761	36.3	37,952
山口県	4,023	18.1	192	0.9	54	0.2	11,471	51.7	0	—	27	0.1	6,438	29.0	22,205
徳島県	7,787	28.9	0	—	0	—	16,934	62.8	0	—	2,261	8.4	0	—	26,982
香川県	2,544	12.1	0	—	0	—	10,138	48.1	0	—	0	—	8,388	39.8	21,070
愛媛県	14,737	42.2	6	0.0	0	—	6,401	18.3	0	—	0	—	13,755	39.4	34,899
高知県	16,640	60.1	0	—	0	—	10,168	36.8	0	—	0	—	858	3.1	27,666
福岡県	4,853	20.1	134	0.6	376	1.6	8,122	33.6	14	0.1	86	0.4	10,598	43.8	24,183
佐賀県	940	5.6	0	—	338	2.0	3,456	20.5	0	—	0	—	12,150	72.0	16,884
長崎県	64,700	88.3	463	0.6	0	—	1,765	2.4	0	—	0	—	6,381	8.7	73,309
熊本県	10,353	35.3	386	1.3	107	0.4	1,341	4.6	0	—	0	—	17,181	58.5	29,368
大分県	4,240	21.7	214	1.1	0	—	7,637	39.1	6	0.0	147	0.8	7,280	37.3	19,524
宮崎県	13,169	77.0	0	—	0	—	2,837	16.6	0	—	0	—	1,087	6.4	17,093
鹿児島県	4,436	16.2	535	2.0	408	1.5	13,470	49.2	96	0.4	2,139	7.8	6,270	22.9	27,354
沖縄県	940	32.4	290	10.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1,674	57.6	2,904
合計	809,529	51.1	4,196	0.3	14,888	0.9	496,824	31.3	16,135	1.0	8,451	0.5	235,143	14.8	1,585,166

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

4.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-4-6～表2-4-8及び図2-4-4(1)～(6)に示した。

地況別の観察個体数のうち、海岸で観察された割合が多かったのは、海ガモ類のスズガモ、クロガモ、シノリガモ、コオリガモ、ウミアイサ及びツクシガモで、いずれも50.0%以上の割合であった。

河川で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のカルガモ、コガモ、オカヨシガモ及びヒドリガモで、いずれも30.0%以上の割合であった。また、海ガモ類ではカワアイサが51.8%であった。

自然湖沼で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のトモエガモ、ヨシガモでいずれも40.0%以上の割合であった。また、海ガモではキンクロハジロ、ホオジロガモで、いずれも40.0%以上の割合であった。

ダム湖で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のオシドリで、59.1%であった。他の種はいずれも10.0%以下の割合であった。

その他人造湖で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のハシビロガモで、70.9%であった。また、海ガモ類ではミコアイサが59.7%であった。

表 2-4-6(1) 地況別のカモ類の観察状況(観察地点数)

区域		海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計		
項目		項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)		
調査地点数(箇所)		800	9.2	390	4.5	3,020	34.6	529	6.1	694	8.0	3,014	34.5	282	3.2	8,729	100.0	
調査地点面積(ha)		119,916	31.4	22,421	5.9	70,150	18.4	105,410	27.6	33,467	8.8	16,086	4.2	14,781	3.9	382,231	100.0	
観察地点数	淡水カモ類	オシドリ	7	1.3	3	0.5	122	22.3	30	5.5	187	34.1	199	36.3	0	—	548	100.0
		マガモ	233	6.4	182	5.0	1,199	33.0	308	8.5	364	10.0	1,297	35.7	50	1.4	3,633	100.0
		カルガモ	235	6.3	207	5.5	1,363	36.3	283	7.5	272	7.2	1,317	35.1	80	2.1	3,757	100.0
		コガモ	97	3.8	119	4.7	907	35.7	219	8.6	142	5.6	996	39.2	61	2.4	2,541	100.0
		トモエガモ	7	3.8	7	3.8	28	15.2	42	22.8	23	12.5	73	39.7	4	2.2	184	100.0
		ヨシガモ	47	9.7	29	6.0	136	28.0	76	15.6	26	5.3	172	35.4	0	—	486	100.0
		オカヨシガモ	42	5.2	68	8.5	261	32.5	106	13.2	15	1.9	300	37.3	12	1.5	804	100.0
		ヒドリガモ	206	11.6	177	9.9	577	32.4	161	9.0	71	4.0	554	31.1	34	1.9	1,780	100.0
		オナガガモ	106	11.8	99	11.0	268	29.9	111	12.4	30	3.3	259	28.9	24	2.7	897	100.0
		ハシビロガモ	32	3.5	28	3.1	113	12.5	87	9.6	27	3.0	595	65.8	22	2.4	904	100.0
		その他	4	8.0	5	10.0	16	32.0	10	20.0	1	2.0	13	26.0	1	2.0	50	100.0
	海ガモ類	ホシハジロ	103	6.3	104	6.3	282	17.2	177	10.8	127	7.7	830	50.5	21	1.3	1,644	100.0
		キンクロハジロ	63	4.5	74	5.3	335	24.0	151	10.8	101	7.2	652	46.8	18	1.3	1,394	100.0
		スズガモ	128	36.3	55	15.6	53	15.0	60	17.0	12	3.4	36	10.2	9	2.5	353	100.0
		クロガモ	51	63.0	10	12.3	7	8.6	3	3.7	2	2.5	8	9.9	0	—	81	100.0
		ビロードキンクロ	4	57.1	2	28.6	0	—	1	14.3	0	—	0	—	0	—	7	100.0
		シノリガモ	57	73.1	7	9.0	4	5.1	8	10.3	0	—	1	1.3	1	1.3	78	100.0
		コオリガモ	4	57.1	1	14.3	1	14.3	1	14.3	0	—	0	—	0	—	7	100.0
		ホオジロガモ	40	18.7	22	10.3	53	24.8	73	34.1	6	2.8	18	8.4	2	0.9	214	100.0
		ミコアイサ	9	2.0	3	0.7	57	12.7	87	19.4	20	4.5	268	59.8	4	0.9	448	100.0
		ウミアイサ	131	52.0	48	19.0	27	10.7	36	14.3	0	—	4	1.6	6	2.4	252	100.0
		カワアイサ	14	3.2	10	2.3	284	64.5	59	13.4	48	10.9	21	4.8	4	0.9	440	100.0
		その他	2	9.1	1	4.5	3	13.6	5	22.7	2	9.1	8	36.4	1	4.5	22	100.0
		ツクシガモ	18	29.0	13	21.0	8	12.9	4	6.5	0	—	14	22.6	5	8.1	62	100.0
		その他・種不明	67	13.9	23	4.8	153	31.7	53	11.0	57	11.8	118	24.5	11	2.3	482	100.0
		合計	567	8.9	332	5.2	2,067	32.3	436	6.8	538	8.4	2,331	36.5	120	1.9	6,391	100.0

表 2-4-6(2) 地況別のカモ類の観察状況(観察个体数)

区域 項目		海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人遺湖		その他		合計		
		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)				
観察個体数 (羽)	淡水カモ類	オシドリ	104	0.4	7	0.0	4,316	16.1	604	2.2	15,880	59.1	5,963	22.2	0	—	26,874	100.0
		マガモ	40,519	9.3	26,620	6.1	87,632	20.2	147,989	34.1	29,688	6.8	96,919	22.3	4,578	1.1	433,945	100.0
		カルガモ	19,355	9.3	16,302	7.8	69,233	33.2	36,605	17.6	13,471	6.5	50,329	24.1	3,261	1.6	208,556	100.0
		コガモ	6,645	4.7	3,811	2.7	47,255	33.8	33,247	23.8	4,693	3.4	42,473	30.3	1,848	1.3	139,972	100.0
		トモエガモ	139	0.3	56	0.1	856	1.8	42,792	89.3	2,376	5.0	1,664	3.5	36	0.1	47,919	100.0
		ヨシガモ	889	7.5	498	4.2	2,652	22.4	5,030	42.4	241	2.0	2,540	21.4	0	—	11,850	100.0
		オカヨシガモ	953	3.9	2,401	9.9	9,028	37.3	6,911	28.5	169	0.7	4,282	17.7	464	1.9	24,208	100.0
		ヒドリガモ	17,561	11.3	22,041	14.2	49,799	32.0	34,204	22.0	3,795	2.4	25,657	16.5	2,683	1.7	155,740	100.0
		オナガガモ	11,191	6.5	16,227	9.5	31,790	18.6	56,750	33.1	3,007	1.8	49,101	28.7	3,213	1.9	171,279	100.0
		ハシビロガモ	514	2.6	319	1.6	1,057	5.4	2,833	14.4	406	2.1	13,925	70.9	578	2.9	19,632	100.0
		その他	6	8.7	7	10.1	20	29.0	13	18.8	1	1.4	21	30.4	1	1.4	69	100.0
	海ガモ類	ホシハジロ	23,058	24.9	14,213	15.3	13,155	14.2	11,904	12.9	4,706	5.1	22,829	24.7	2,743	3.0	92,608	100.0
		キンクロハジロ	2,008	3.7	2,750	5.1	11,479	21.1	23,601	43.4	3,516	6.5	10,600	19.5	433	0.8	54,387	100.0
		スズガモ	90,803	62.5	6,695	4.6	3,211	2.2	40,148	27.6	362	0.2	3,218	2.2	930	0.6	145,367	100.0
		クロガモ	2,563	87.7	80	2.7	104	3.6	33	1.1	5	0.2	137	4.7	0	—	2,922	100.0
		ビロードキンクロ	6	42.9	6	42.9	0	—	2	14.3	0	—	0	—	0	—	14	100.0
		シノリガモ	521	73.9	50	7.1	74	10.5	55	7.8	0	—	2	0.3	3	0.4	705	100.0
		コオリガモ	29	87.9	1	3.0	2	6.1	1	3.0	0	—	0	—	0	—	33	100.0
		ホオジロガモ	658	23.3	138	4.9	784	27.8	1,144	40.6	18	0.6	74	2.6	3	0.1	2,819	100.0
		ミコアイサ	67	1.7	9	0.2	272	6.7	1,094	27.1	104	2.6	2,406	59.7	78	1.9	4,030	100.0
		ウミアイサ	1,378	60.6	324	14.2	121	5.3	303	13.3	0	—	39	1.7	109	4.8	2,274	100.0
		カワアイサ	134	2.5	102	1.9	2,735	51.8	1,759	33.3	451	8.5	84	1.6	19	0.4	5,284	100.0
		その他	3	12.0	1	4.0	4	16.0	6	24.0	2	8.0	8	32.0	1	4.0	25	100.0
		ツクシガモ	2,813	70.5	810	20.3	130	3.3	12	0.3	0	—	83	2.1	143	3.6	3,991	100.0
		その他・種不明	2,789	9.1	6,107	19.9	3,856	12.6	12,157	39.6	1,978	6.5	3,353	10.9	423	1.4	30,663	100.0
		合計	224,706	14.2	119,575	7.5	339,565	21.4	459,197	29.0	84,869	5.4	335,707	21.2	21,547	1.4	1,585,166	100.0

【(1)(2)共通備考】

項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す

淡水ガモ類のその他は、アメリカヒドリ、シマアジが対象

海ガモ類のその他は、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサが対象（今年度はケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロは観察されなかった）

その他・種不明のその他は、アカツクシガモ、リュウキュウガモが対象（今年度はリュウキュウガモは観察されなかった）

観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)

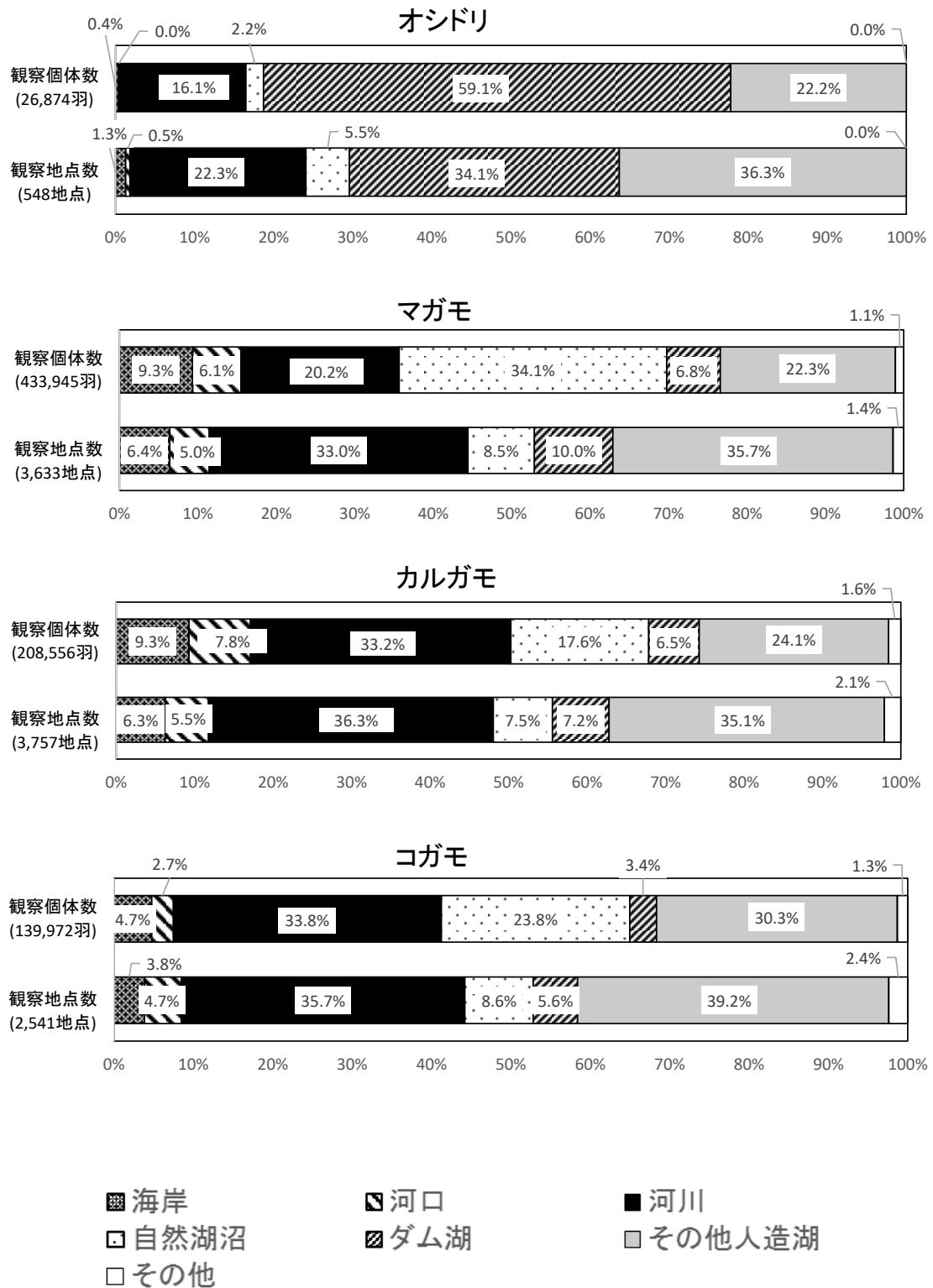


図 2-4-4(1) 地況別のカモ類の観察状況

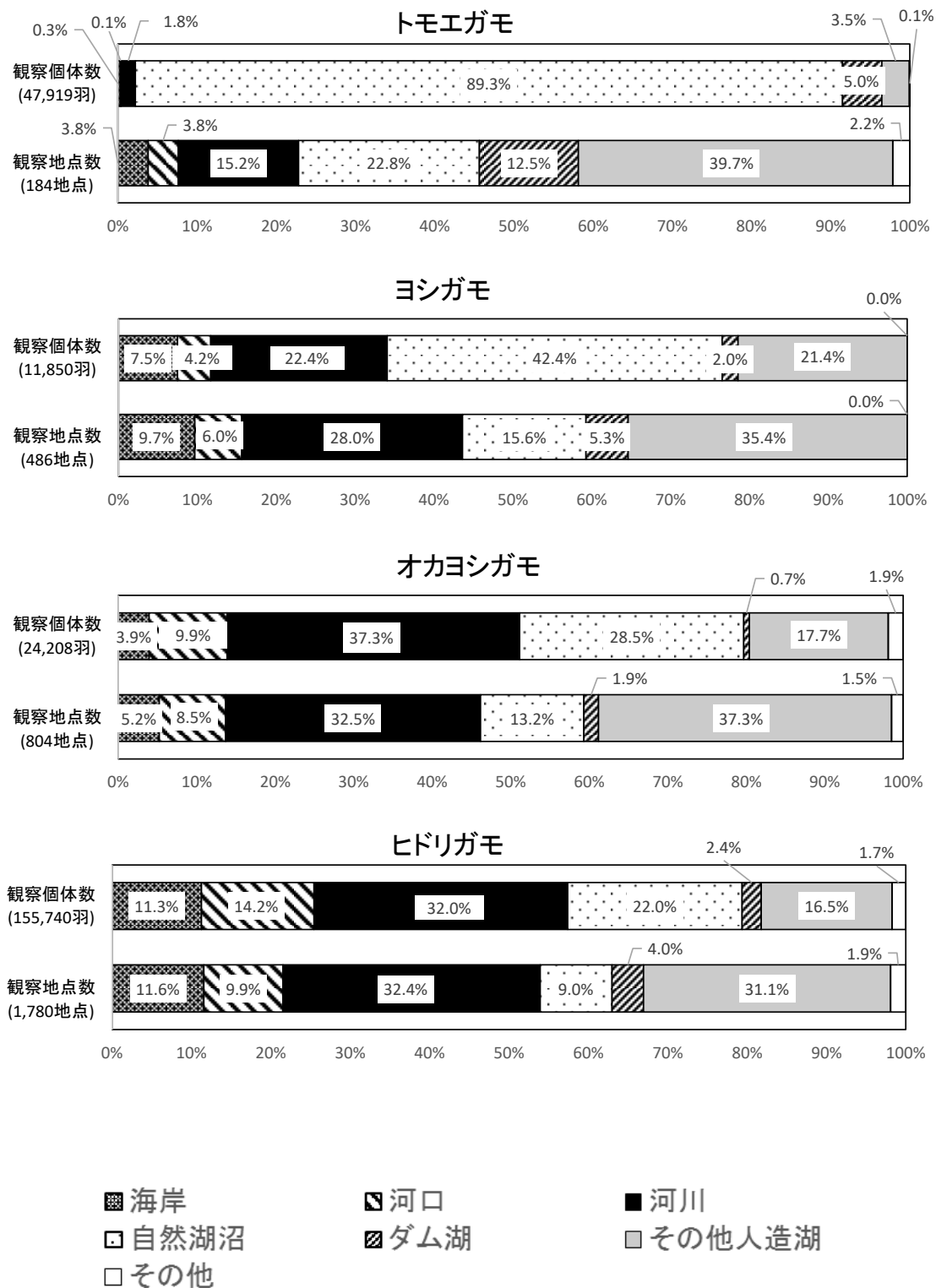


図 2-4-4(2) 地況別のカモ類の観察状況

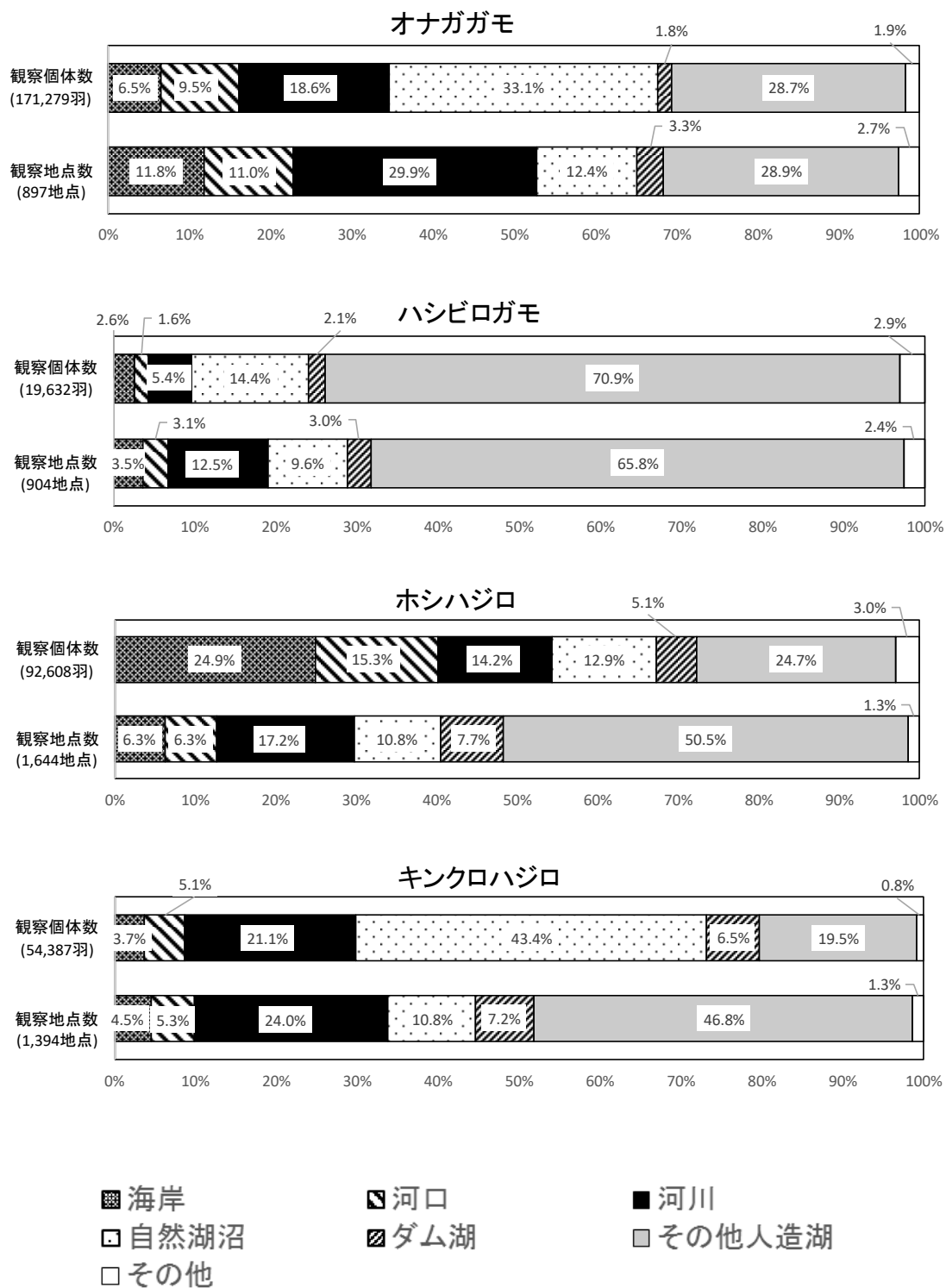


図 2-4-4(3) 地況別のカモ類の観察状況

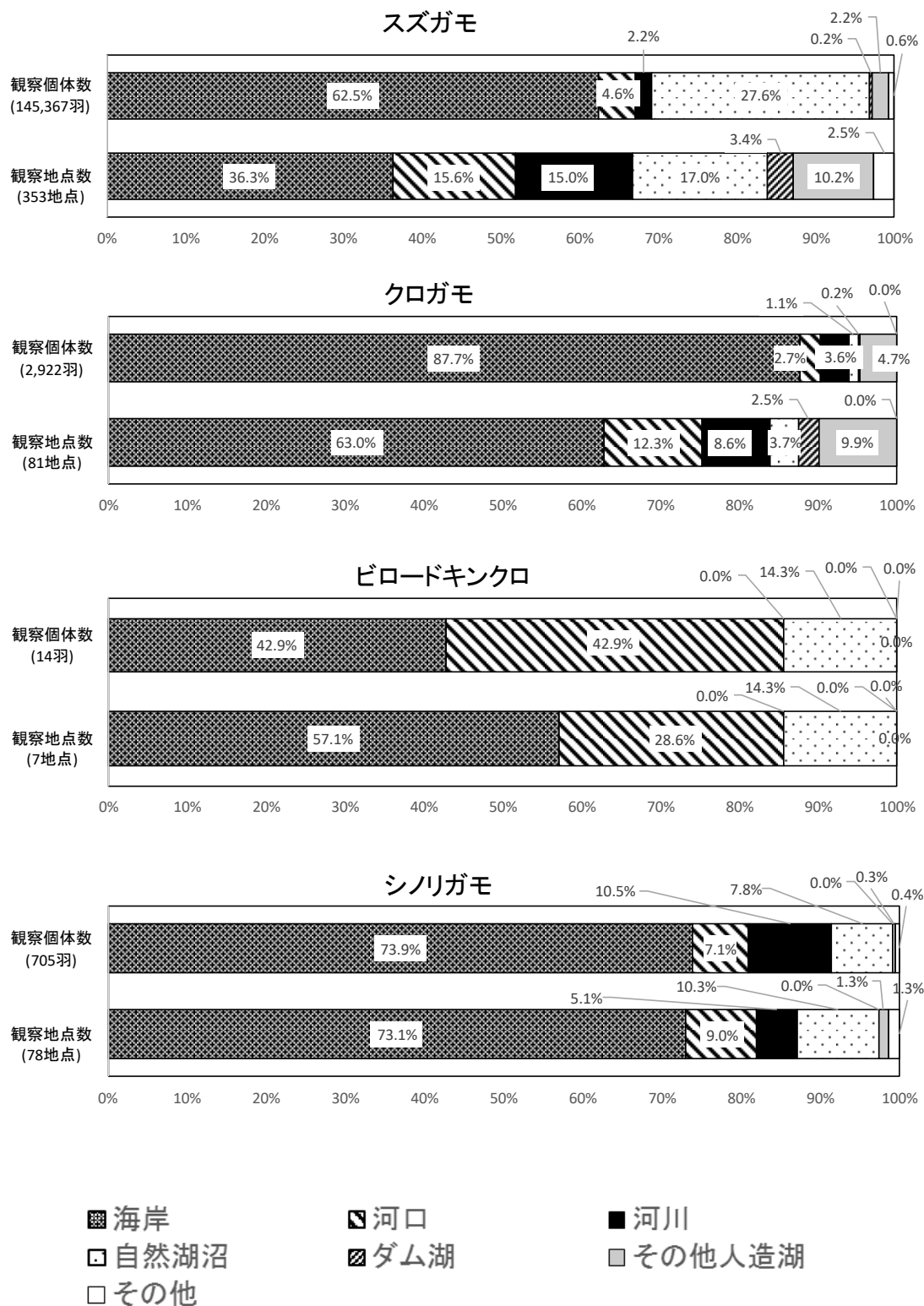


図 2-4-4(4) 地況別のカモ類の観察状況

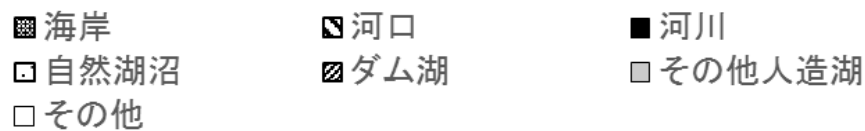
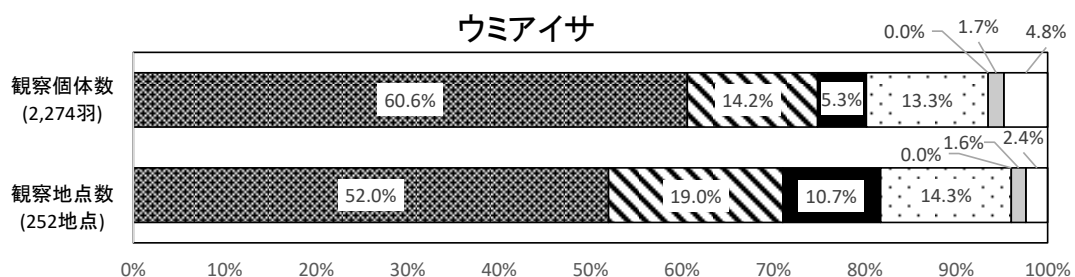
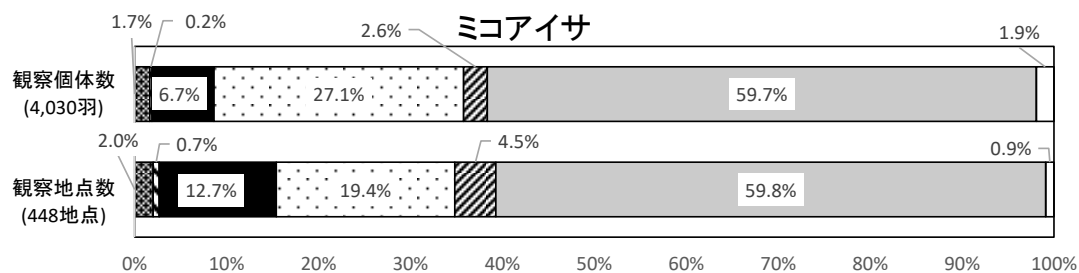
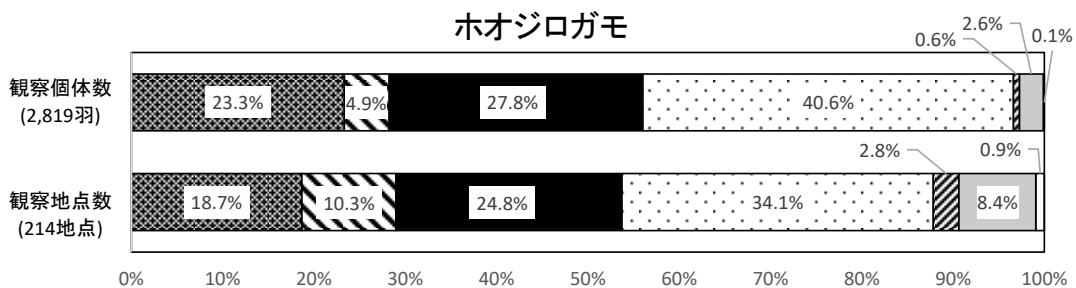
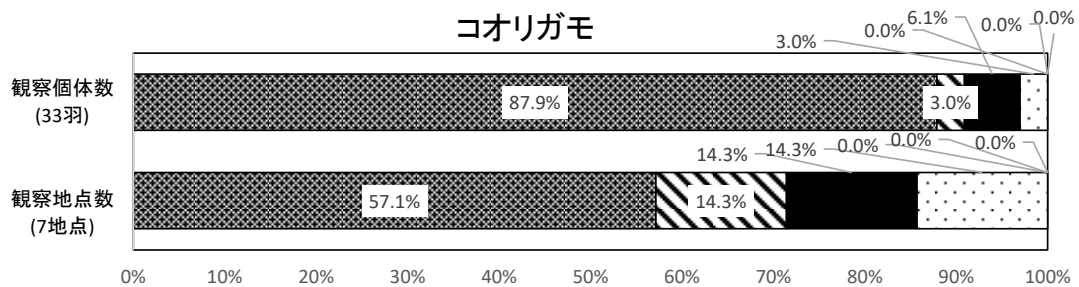


図 2-4-4(5) 地況別のカモ類の観察状況

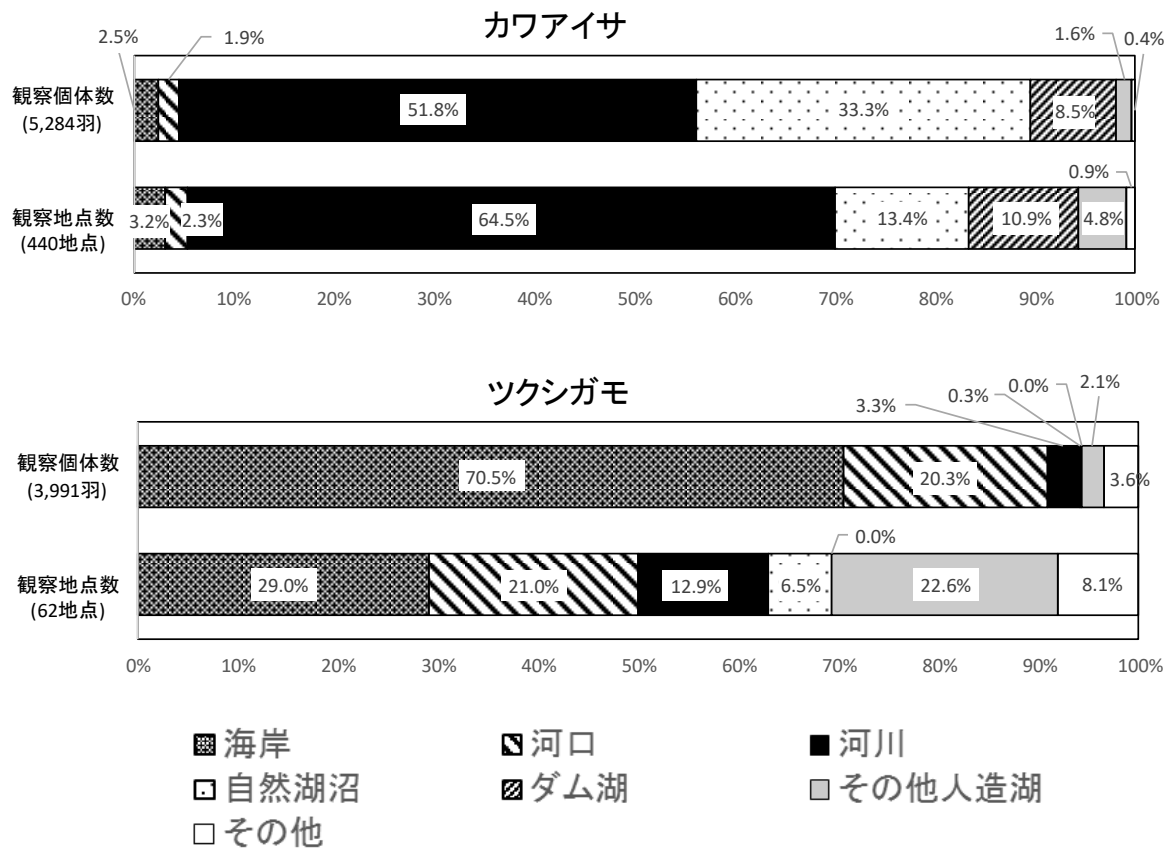


図 2-4-4(6) 地況別のカモ類の観察状況

表 2-4-7 地況別のカモ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数
北海道	68	56.2	8	6.6	24	19.8	20	16.5	0	—	0	—	1	0.8	121
青森県	69	48.6	5	3.5	51	35.9	13	9.2	1	0.7	3	2.1	0	—	142
岩手県	17	7.7	21	9.5	145	65.3	5	2.3	14	6.3	19	8.6	1	0.5	222
宮城県	52	15.7	7	2.1	130	39.3	22	6.6	23	6.9	73	22.1	24	7.3	331
秋田県	30	18.9	5	3.1	93	58.5	8	5.0	4	2.5	16	10.1	3	1.9	159
山形県	4	3.1	5	3.9	96	75.0	6	4.7	4	3.1	11	8.6	2	1.6	128
福島県	5	2.0	8	3.2	103	41.5	33	13.3	26	10.5	66	26.6	7	2.8	248
茨城県	4	9.5	1	2.4	4	9.5	11	26.2	6	14.3	16	38.1	0	—	42
栃木県	0	—	0	—	2	6.3	2	6.3	7	21.9	20	62.5	1	3.1	32
群馬県	0	—	0	—	31	38.8	9	11.3	16	20.0	22	27.5	2	2.5	80
埼玉県	0	—	0	—	62	39.5	6	3.8	6	3.8	83	52.9	0	—	157
千葉県	5	2.0	12	4.8	45	17.9	10	4.0	28	11.1	133	52.8	19	7.5	252
東京都	5	8.6	1	1.7	24	41.4	1	1.7	3	5.2	24	41.4	0	—	58
神奈川県	14	8.3	8	4.8	99	58.9	2	1.2	5	3.0	39	23.2	1	0.6	168
新潟県	1	4.5	0	—	6	27.3	6	27.3	0	—	8	36.4	1	4.5	22
富山県	1	6.3	3	18.8	4	25.0	1	6.3	0	—	5	31.3	2	12.5	16
石川県	2	20.0	0	—	2	20.0	6	60.0	0	—	0	—	0	—	10
福井県	2	12.5	0	—	5	31.3	7	43.8	0	—	2	12.5	0	—	16
山梨県	0	—	0	—	26	49.1	5	9.4	7	13.2	15	28.3	0	—	53
長野県	0	—	0	—	117	60.9	6	3.1	27	14.1	42	21.9	0	—	192
岐阜県	0	—	0	—	70	59.3	1	0.8	17	14.4	29	24.6	1	0.8	118
静岡県	7	5.3	13	9.9	49	37.4	22	16.8	6	4.6	34	26.0	0	—	131
愛知県	10	8.1	6	4.8	31	25.0	1	0.8	8	6.5	67	54.0	1	0.8	124
三重県	19	7.8	34	13.9	37	15.1	10	4.1	12	4.9	132	53.9	1	0.4	245
滋賀県	0	—	2	1.2	16	9.4	90	52.9	8	4.7	54	31.8	0	—	170
京都府	7	5.1	2	1.5	74	54.4	6	4.4	4	2.9	43	31.6	0	—	136
大阪府	7	1.8	8	2.0	54	13.8	15	3.8	0	—	305	77.8	3	0.8	392
兵庫県	6	2.9	17	8.3	24	11.7	0	—	10	4.9	148	71.8	1	0.5	206
奈良県	0	—	0	—	8	7.2	0	—	11	9.9	92	82.9	0	—	111
和歌山県	8	5.8	11	8.0	38	27.5	9	6.5	5	3.6	65	47.1	2	1.4	138
鳥取県	1	9.1	0	—	4	36.4	6	54.5	0	—	0	—	0	—	11
島根県	1	0.6	9	5.4	87	52.4	23	13.9	22	13.3	22	13.3	2	1.2	166
岡山県	0	—	2	13.3	3	20.0	0	—	4	26.7	3	20.0	3	20.0	15
広島県	35	13.1	10	3.7	58	21.7	2	0.7	28	10.5	131	49.1	3	1.1	267
山口県	26	13.9	11	5.9	48	25.7	0	—	24	12.8	77	41.2	1	0.5	187
徳島県	13	18.3	3	4.2	33	46.5	3	4.2	7	9.9	12	16.9	0	—	71
香川県	15	10.1	13	8.8	11	7.4	0	—	9	6.1	98	66.2	2	1.4	148
愛媛県	19	9.1	14	6.7	27	13.0	2	1.0	12	5.8	130	62.5	4	1.9	208
高知県	5	8.2	14	23.0	16	26.2	6	9.8	12	19.7	8	13.1	0	—	61
福岡県	10	4.9	15	7.3	37	18.0	14	6.8	30	14.6	96	46.8	3	1.5	205
佐賀県	16	17.0	12	12.8	9	9.6	0	—	8	8.5	46	48.9	3	3.2	94
長崎県	9	22.5	1	2.5	0	—	0	—	20	50.0	10	25.0	0	—	40
熊本県	24	16.2	11	7.4	62	41.9	14	9.5	15	10.1	19	12.8	3	2.0	148
大分県	23	12.0	7	3.6	93	48.4	3	1.6	24	12.5	39	20.3	3	1.6	192
宮崎県	4	6.2	6	9.2	27	41.5	3	4.6	18	27.7	7	10.8	0	—	65
鹿児島県	19	9.7	22	11.2	70	35.7	24	12.2	33	16.8	21	10.7	7	3.6	196
沖縄県	4	4.1	5	5.2	12	12.4	3	3.1	14	14.4	46	47.4	13	13.4	97
合計	567	8.9	332	5.2	2,067	32.3	436	6.8	538	8.4	2,331	36.5	120	1.9	6,391

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-8 地況別のカモ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）
北海道	3,428	43.9	343	4.4	831	10.6	3,181	40.8	0	—	0	—	20	0.3	7,803
青森県	2,984	40.4	114	1.5	1,562	21.1	1,625	22.0	6	0.1	1,103	14.9	0	—	7,394
岩手県	1,595	6.6	1,585	6.6	11,681	48.7	473	2.0	2,458	10.2	6,198	25.8	10	0.0	24,000
宮城県	4,863	8.4	1,285	2.2	23,589	41.0	6,086	10.6	5,452	9.5	14,097	24.5	2,200	3.8	57,572
秋田県	2,418	20.2	789	6.6	2,578	21.5	974	8.1	356	3.0	4,529	37.8	330	2.8	11,974
山形県	819	2.3	1,972	5.5	11,336	31.4	18,698	51.7	201	0.6	3,060	8.5	67	0.2	36,153
福島県	1,436	3.8	891	2.4	16,381	43.5	4,146	11.0	6,762	18.0	7,397	19.7	610	1.6	37,623
茨城県	1,931	1.4	392	0.3	2,606	1.8	116,750	81.8	2,553	1.8	18,581	13.0	0	—	142,813
栃木県	0	—	0	—	98	0.6	291	1.6	1,542	8.7	14,887	84.1	891	5.0	17,709
群馬県	0	—	0	—	3,956	27.9	3,161	22.3	3,473	24.5	2,858	20.2	707	5.0	14,155
埼玉県	0	—	0	—	13,225	41.3	717	2.2	1,058	3.3	17,023	53.2	0	—	32,023
千葉県	9,036	6.8	4,567	3.4	24,857	18.6	40,563	30.4	7,252	5.4	45,012	33.7	2,230	1.7	133,517
東京都	4,366	32.9	119	0.9	4,943	37.2	86	0.6	743	5.6	3,014	22.7	0	—	13,271
神奈川県	721	8.3	820	9.4	3,794	43.7	85	1.0	984	11.3	2,284	26.3	1	0.0	8,689
新潟県	3,286	4.5	0	—	12,533	17.2	31,566	43.3	0	—	25,411	34.9	54	0.1	72,850
富山県	4,117	20.0	2,159	10.5	2,899	14.1	867	4.2	0	—	7,957	38.7	2,575	12.5	20,574
石川県	8,779	13.9	0	—	1,334	2.1	52,913	84.0	0	—	0	—	0	—	63,026
福井県	3,400	12.4	0	—	8,678	31.5	11,965	43.5	0	—	3,483	12.7	0	—	27,526
山梨県	0	—	0	—	685	17.0	905	22.4	817	20.2	1,629	40.4	0	—	4,036
長野県	0	—	0	—	7,636	52.5	1,760	12.1	2,685	18.5	2,451	16.9	0	—	14,532
岐阜県	0	—	0	—	19,374	74.4	8	0.0	1,715	6.6	4,719	18.1	221	0.8	26,037
静岡県	374	1.4	4,361	16.4	7,261	27.3	8,046	30.3	747	2.8	5,765	21.7	0	—	26,554
愛知県	18,320	43.2	2,715	6.4	7,200	17.0	1,211	2.9	736	1.7	11,830	27.9	424	1.0	42,436
三重県	12,403	22.6	21,396	39.0	4,382	8.0	758	1.4	5,041	9.2	10,908	19.9	43	0.1	54,931
滋賀県	0	—	76	0.1	3,578	4.3	73,107	88.1	614	0.7	5,566	6.7	0	—	82,941
京都府	4,075	16.7	2,339	9.6	9,461	38.8	863	3.5	3,089	12.7	4,548	18.7	0	—	24,375
大阪府	3,572	9.7	2,819	7.6	12,552	34.0	563	1.5	0	—	15,925	43.2	1,458	4.0	36,889
兵庫県	4,564	12.3	9,312	25.2	9,905	26.8	0	—	1,559	4.2	11,611	31.4	28	0.1	36,979
奈良県	0	—	0	—	1,989	11.6	0	—	2,905	16.9	12,277	71.5	0	—	17,171
和歌山県	338	2.7	2,167	17.4	4,005	32.1	423	3.4	1,934	15.5	3,479	27.9	131	1.0	12,477
鳥取県	3,565	16.8	0	—	6,288	29.6	11,401	53.6	0	—	0	—	0	—	21,254
島根県	1	0.0	1,268	2.3	5,751	10.3	46,418	83.0	1,138	2.0	1,276	2.3	44	0.1	55,896
岡山県	0	—	2,287	12.3	6,633	35.7	0	—	221	1.2	6,217	33.4	3,235	17.4	18,593
広島県	12,881	33.9	2,090	5.5	11,836	31.2	24	0.1	2,689	7.1	6,845	18.0	1,587	4.2	37,952
山口県	3,806	17.1	2,345	10.6	8,474	38.2	0	—	1,517	6.8	5,663	25.5	400	1.8	22,205
徳島県	4,930	18.3	1,326	4.9	18,622	69.0	333	1.2	471	1.7	1,300	4.8	0	—	26,982
香川県	1,120	5.3	1,666	7.9	1,800	8.5	0	—	1,225	5.8	14,572	69.2	687	3.3	21,070
愛媛県	2,857	8.2	13,252	38.0	4,429	12.7	86	0.2	3,614	10.4	10,246	29.4	415	1.2	34,899
高知県	5,217	18.9	7,312	26.4	6,621	23.9	3,078	11.1	4,575	16.5	863	3.1	0	—	27,666
福岡県	6,062	25.1	6,432	26.6	3,207	13.3	742	3.1	1,779	7.4	5,741	23.7	220	0.9	24,183
佐賀県	5,530	32.8	4,318	25.6	2,409	14.3	0	—	338	2.0	3,949	23.4	340	2.0	16,884
長崎県	67,949	92.7	145	0.2	0	—	0	—	3,941	5.4	1,274	1.7	0	—	73,309
熊本県	10,814	36.8	4,740	16.1	4,655	15.9	3,158	10.8	1,890	6.4	2,579	8.8	1,532	5.2	29,368
大分県	1,942	9.9	3,219	16.5	9,250	47.4	417	2.1	2,007	10.3	2,470	12.7	219	1.1	19,524
宮崎県	654	3.8	5,398	31.6	5,323	31.1	876	5.1	1,995	11.7	2,847	16.7	0	—	17,093
鹿児島県	481	1.8	3,323	12.1	9,041	33.1	10,748	39.3	1,953	7.1	1,405	5.1	403	1.5	27,354
沖縄県	72	2.5	233	8.0	317	10.9	125	4.3	834	28.7	858	29.5	465	16.0	2,904
合計	224,706	14.2	119,575	7.5	339,565	21.4	459,197	29.0	84,869	5.4	335,707	21.2	21,547	1.4	1,585,166

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、地況別の構成比を示す。

5. 希少なガンカモ類の観察状況

5.1 選定基準

本調査で観察された種のうち、各種法律や資料によってその希少性や学術的な価値が指摘されている種を希少なガンカモ類とし、その観察状況を整理した。希少なガンカモ類の選定は、「文化財保護法」、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」、環境省の鳥類レッドリスト2020及び国際自然保護連合(IUCN)のレッドリスト(2021年1月現在)の掲載種を対象とした。詳細な選定基準を表2-5-1に示した。

表 2-5-1 希少なガンカモ類の選定基準

No.	選定基準
1	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)における国指定の天然記念物・特別天然記念物
2	「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)における国内希少野生動植物種・国際希少野生動植物種
3	「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(平成4年法律第75号)における希少鳥獣
4	「[鳥類]環境省レッドリスト2020」の掲載種
5	「The IUCN Red List of Threatened Species」(www.iucnredlist.org)で指摘されている種のうち、絶滅危惧Ⅱ類(VU)以上に該当する種

5.2 希少なガンカモ類の観察状況

本調査で観察記録のある希少なガンカモ類と各カテゴリー及び令和3年度の調査での観察の有無を表2-5-2に示した。令和4年度の調査では、全国でガン類6種、カモ類9種の計15種の希少なガンカモ類が観察された。これらのうち、カリガネ、コオリガモ、ホシハジロ、コウライアイサは、世界的に個体数の減少が指摘されている種である。種別の観察個体数上位3地域を表2-5-3に示した。

表 2-5-2 日本産の希少なガンカモ類と令和3年度の観察種

種	確認 状況	選定基準				
		1	2	3	4	5
ガン類	コクガン	●	国天	○	VU	
	マガン	●	国天		NT	
	カリガネ	●			EN	VU
	ヒシクイ	●	国天	○	VU/NT	
	ハクガン	●			CR	
	サカツラガン				DD	VU
	シジュウカラガン	●		国内	○	CR
カモ類	アカツクシガモ	●			DD	
	ツクシガモ	●		○	VU	
	オシドリ	●			DD	
	トモエガモ	●		○	VU	
	ビロードキンクロ	●				VU
	コオリガモ	●				VU
	ホシハジロ	●				VU
	アカハジロ	●			DD	CR
	コケワタガモ	×				VU
	コウライアイサ	●		国際		EN

【備考】

- ・選定基準の1～5は表2-5-1のNo. 1～5に対応する。
- ・以下各基準のカテゴリー
基準1 国天：国指定天然記念物 特天：国指定特別天然記念物
基準2 国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
基準4、5 EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類
VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ・確認状況の●は本年度に観察された種、×は最近15年間に観察記録がない種を示す。
- ・注：ヒシクイはVU、オオヒシクイはNT

表 2-5-3 希少なガンカモ類の観察個体数上位 3 地域

分類群	種名	全国合計		観察個体数上位3地域	
		観察 地点数	観察個体数 (羽)	観察地域	観察個体数 (羽)
ガン類	シジュウカラガン	10	5,048	宮城県 化女沼	4,560
				秋田県 大潟村干拓地	407
				宮城県 蕪栗沼	80
	コクガン	40	836	宮城県 松岩漁港～川原漁港	144
				青森県 清水川	100
				青森県 久栗坂漁港	89
	マガン	85	296,518	宮城県 蕪栗沼	175,034
				宮城県 伊豆沼内沼	79,738
				宮城県 化女沼	13,371
	カリガネ	2	12	福井県 坂井平野	11
				石川県 邑知潟	1
	ヒシクイ	51	7,684	新潟県 福島潟	2,154
				秋田県 大潟村干拓地	1,759
				宮城県 伊豆沼内沼	825
	ハクガン	6	392	新潟県 朝日池・鶴の池	184
				宮城県 伊豆沼内沼	155
				秋田県 大潟村干拓地	51
	サカツラガン	1	1	新潟県 福島潟	1
カモ類	アカツクシガモ	3	12	新潟県 朝日池・鶴の池	6
				沖縄県 億首川	3
				沖縄県 名蔵水田	3
	ツクシガモ	62	3,991	佐賀県 国造瀬	2,000
				福岡県 中曽根	521
				岡山県 玉島・水島沖	207
	オシドリ	548	26,874	和歌山県 日高川	1,579
				奈良県 二津野ダム	1,445
				香川県 山田ダム	1,047
	トモエガモ	184	47,919	千葉県 印旛沼	32,000
				島根県 宍道湖	4,013
				石川県 片野鴨池	3,027
	ホシハジロ	1,644	92,608	滋賀県 琵琶湖	3,444
				愛知県 鳥羽	2,842
				兵庫県 臨海部	2,618
	アカハジロ	3	3	滋賀県 伊庭内湖	1
				大阪府 河池	1
				和歌山県 和歌川	1
	ビロードキンクロ	7	14	大阪府 男里川	5
				茨城県 大洗海岸	3
				島根県 中海南部	2
	コオリガモ	7	33	北海道 走古丹一	23
				北海道 木古内海岸	2
				北海道 花咲港	2
				北海道 札苅海岸	2
				北海道 声間	2
	コウライアイサ	2	3	大分県 三隈川	2
				島根県 高津川	1

注)コケワタガモは今年度の観察個体数がゼロである。

6. 移入種の観察状況

令和4年度観察されたガン、カモ、ハクチョウ類のうち、移入種であるハクチョウ類のコブハクチョウ（*Cygnus olor*）を対象に観察状況をまとめた。

6.1 コブハクチョウ

令和4年度の都道府県別分布状況を表2-6-1に、最近20年間の観察個体数を表2-6-2及び図2-6-1に示した。コブハクチョウは過去に野生個体とされる記録があるが、現在観察される個体はほとんどが人為的に移入されたものやその子孫と考えられる。令和4年度調査の観察個体数は18都道県で303羽と、令和3年度に比べて減少した。

表 2-6-1 コブハクチョウの分布状況（都道府県別個体数上位順）

No.	都道府県	観察個体数(羽)
1	千葉県	98
2	福島県	89
3	山梨県	47
4	茨城県	24
5	青森県	8
6	島根県	7
7	香川県	6
8	東京都	5
9	福岡県	5
10	北海道	3
11	宮城県	2
12	埼玉県	2
13	新潟県	2
14	山形県	1
15	愛知県	1
16	鳥取県	1
17	長崎県	1
18	鹿児島県	1
	計	303

表 2-6-2 最近 20 年間の主要県別コブハクチョウ観察個体数

調査年度	観察 地点数	観察個体数(羽)						
		総数	千葉県	福島県	山梨県	茨城県	青森県	その他
平成14年度	17	160	19	0	0	88	0	53
平成15年度	19	138	23	0	29	35	0	51
平成16年度	19	265	17	75	36	88	0	49
平成17年度	23	227	22	0	44	105	0	56
平成18年度	29	209	13	1	42	80	0	73
平成19年度	27	240	25	0	48	111	0	56
平成20年度	30	247	27	0	43	93	0	84
平成21年度	25	200	2	3	59	104	0	32
平成22年度	29	269	26	0	54	100	1	88
平成23年度	31	215	38	1	55	85	0	36
平成24年度	32	218	47	1	35	96	0	39
平成25年度	34	256	56	17	43	91	0	49
平成26年度	47	380	96	44	35	110	2	93
平成27年度	43	337	92	54	43	68	4	76
平成28年度	43	367	72	105	37	88	0	65
平成29年度	44	304	80	44	40	49	34	57
平成30年度	42	309	61	81	41	54	8	64
令和元年度	51	307	32	62	52	54	38	69
令和2年度	32	158	16	6	36	47	12	41
令和3年度	37	343	32	114	60	63	12	62
令和4年度	37	303	98	89	47	24	8	37

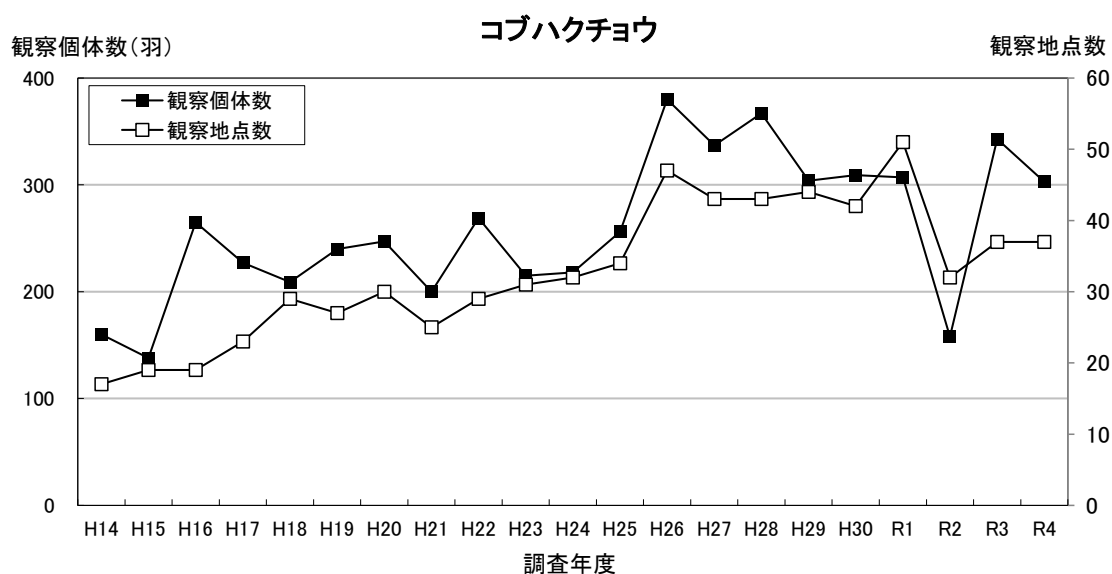


図 2-6-1 最近 20 年間のコブハクチョウ観察個体数と観察地点数

7. 飼養品種の観察状況

令和4年度調査中に観察された飼養品種の報告状況をまとめた。なお、飼養品種の観察状況は、任意報告があったデータのみをまとめている。

表 2-7-1 飼養品種の観察状況

種名	観察個体数(羽)	報告のあった都道府県
アイガモ	292	千葉県、三重県、京都府、山口県
アヒル	20	埼玉県、千葉県、京都府

(参考) 第 54 回ガンカモ類の生息調査実施要領

■ 第 54 回ガンカモ類の生息調査実施要領 一覧

- 1) 第 54 回ガンカモ類の生息調査実施要領
- 2) 別紙 1－1 ガンカモ類の生息調査 調査項目
- 3) 別紙 1－2 日本産鳥類目録第 7 版（平成 24 年改訂）抜粋 改変版
- 4) 別紙 1－3 1989～2022 年ガンカモ調査地点リスト
- 5) 別紙 2－1 2023 都道府県報告様式 a-c
- 6) 別紙 2－2 都道府県報告様式記入上の留意事項
- 7) 参考 1 2023 現地調査員報告様式例
- 8) 参考 2 現地調査員報告様式例記入上の留意事項等

第54回ガンカモ類の生息調査

実 施 要 領

令和4（2022）年10月

環境省自然環境局
生物多様性センター

第1章 調査の趣旨

1. 目的

日本におけるガン・カモ・ハクチョウ類の冬期生息状況を把握し、野生動物保護管理行政（鳥獣の保護管理、希少種の保全、外来種・鳥インフルエンザ対策等）に有用な情報を得ることを目的としています。

2. 調査の主体

調査は各都道府県が主体となって実施をお願いいたします。

3. 調査区域

各都道府県の区域（海域を含む。）です。

なお、2つ以上の都道府県にわたる調査地（複数の都道府県にわたる河川、湖沼、湾の場合等）の調査については、あらかじめ関係都道府県で相互に協議するなどして、重複カウント及び調査漏れの防止に努めていただきますようお願いいたします。

第2章 調査方法

1. 調査地の選定手順

- ①過去の調査結果及び鳥類保護団体、狩猟団体等からの情報に基づき、原則としてガン・カモ・ハクチョウ類のすべての渡来地について、その位置、地点名等を把握してください。
- ②ガン類及びハクチョウ類の渡来地については原則としてすべての渡来地を調査地としてください。
- ③カモ類のみの渡来地については、各都道府県の状況（調査体制、調査人数等）に応じて、各都道府県に飛来しているガンカモ類の生息状況を概ね把握できるよう、主要な渡来地を調査地として選定してください。

2. 調査日

- ・一斉調査日：令和5（2023）年1月15日（日）
- ・調査期間：令和5（2023）年1月8日（日）～22日（日）

重複カウントを避け、全国に飛来するガンカモ類の個体数をより正確に把握するため、できる限り一斉調査日の前後数日以内で調査を実施いただきますようお願いいたします。

都合がつかない場合は、調査期間のいずれか1日を都道府県ごとに指定いただき、実施してください。

3. 調査項目

調査地点の基礎情報（地況、鳥獣保護区等、天候、環境コード）、調査体制（調査人数、調査者属性）、ハクチョウ類・ガン類・カモ類の個体数等について、記録をお願いします。

また、ガンカモ類の生息調査の各調査地点において観察されたカワウの個体数についても記録をお願いします。

詳細は、別紙１－１「ガンカモ類の生息調査 調査項目」のとおりです。

4. 現地調査員の調査結果とりまとめ

都道府県の担当者の方は、調査実施後、現地調査員の調査報告をとりまとめてください。

なお、参考資料１「現地調査員報告様式例」は、現地調査員が調査結果を報告するための記入様式の一例ですので、適宜参考にしてください。

また、現地調査員報告様式例を用いる場合には、参考資料２「現地調査員報告様式例記入上の留意事項等」を御参照ください。

5. 都道府県担当者からの環境省への報告

都道府県の担当者の方は、別紙２－１「都道府県報告様式 a ～ c」（様式 a には前年度調査時の地点情報が記載されています）に調査結果を入力し、電子メールに添付して令和 5 年 2 月 20 日（月）までにガンカモ類の生息調査及びカワウカウント共通アドレス（gankamo_kawau@env.go.jp）までお送りください。なお、書面による御報告は必須ではありません。

それぞれの様式の報告内容と提出方法は、以下のとおりです。

様式名	報告内容	提出方法
様式 a	調査地点ごとのハクチョウ類、ガン類、カモ類、カワウの個体数を記入	必須
様式 b	様式 a に載っていない種及び亜種を発見した場合に記入	任意
様式 c	現地調査員の実人数や所属を記入	必須

必須：報告内容の有無にかかわらず、必ず御提出をお願いいたします。

任意：御提出は任意となりますが、報告すべき情報があった場合は、御提出をお願いいたします。

なお、別紙２－１「都道府県報告様式 a ～ c」を入力する際は、別紙２－２「都道府県報告様式記入上の留意事項」を御参照ください。

また、提出の前に、入力内容の一通りの御確認をお願いいたします。

6. 環境省からの各都道府県担当者へのエラー照会・事実確認

各都道府県からお送りいただいた電子様式 a ～ c については、環境省で論理チェック（空欄、誤記等の単純なエラーチェック）及び生物学的チェック（個体数データに係る誤同定・誤報告等のエラーチェック）を実施し、各都道府県担当者へのエラー照会・事実確認を行わせていただく場合がありますので、御協力をお願いいたします。

なお、生物学的チェックでは、ガンカモ類の専門家の意見を踏まえ作成した「生物学的チェック表」に準拠してエラーデータを抽出し、専門家確認を経た上で、必要に応じて都道府県へ再確認をお願いしております。生物学的チェック表（令和４年度版）は下記のとおりとなりますので、調査結果報告前の確認をしていただく際に、御参照ください。

生物学的チェック表（令和4年度版）

概要	対象種	チェック内容
個体数そのものが少ない希少種	カリガネ、サカツラガン、シジュウカラガン、カナダガン、ハイイロガン、ハクガン、アカツクシガモ、アカハシハジロ、アカハジロ、アラナミキンクロ、オオホシハジロ、クビワキンクロ、ケワタガモ、コウライアイサ、コケワタガモ、ヒメハジロ、メジログアモ、リュウキュウガモ、シマアジ	都道府県に限らず1羽以上報告された場合にチェック
内陸にいたるのが稀な種	アラナミキンクロ、ウミアイサ、クロガモ、ケワタガモ、コオリガモ、コケワタガモ、シノリガモ、ビロードキンクロ、スズガモ、シマアジ	地況コードが1:海岸、2:河口以外で報告された場合にチェック ※都道府県よりチェック対象外指定された地点および海岸から500m以内の地点は除く
生息が稀な地域で出現①	オオハクチョウ	東京都・神奈川県・山梨県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・大阪府・奈良県・和歌山県・中国・四国・九州で報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現②	コハクチョウ	四国・九州で報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現③	コクガン、コオリガモ	北海道・東北以外で1羽以上報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現④	マガン、ヒシクイ、ガン種類不明	宮城、秋田、新潟、石川、福井以外で1羽以上報告された場合にチェック
アメリカヒドリとヒドリガモの関係性確認	アメリカヒドリ、ヒドリガモ	【条件】 ①アメリカヒドリのみ観察された地点 ②アメリカヒドリが5羽以上観察された地点 ③上記以外の場合、アメリカヒドリ÷ヒドリガモの比率が0.03を超える地点 ①②③いずれかの条件を満たしている場合にチェック
生息が稀な地域で出現⑤	クロガモ	中国・四国・九州で1羽以上報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現⑥	ツクシガモ	近畿地方より北(福井県～岐阜県～愛知県以東)で報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現⑦	シノリガモ	岡山県・広島県・四国・九州で1羽以上報告された場合にチェック

※過去4年以内に観測実績のあるデータは、チェック対象から除外。

7. その他

(1) 重点的な調査地

渡来数の多い調査地及び絶滅のおそれのある種7種（シジュウカラガン、ハクガン、カリガネ、コクガン、ヒシクイ、ツクシガモ、トモエガモ）等の希少なガンカモ類の渡来する調査地については、特に調査精度の向上につき、重点的に配慮をお願いいたします。

(2) 関係団体との協力

調査実施前には、日本野鳥の会、日本鳥類保護連盟、猟友会等の関係民間団体とあらかじめ調査方法等について協議いただきますようお願いいたします。

(3) 識別ガイドについて

ガンカモ類の生息調査において見られる主なカモ類とハクチョウ類等の識別ポイントをまとめた識別ガイドを作成し、下記に公開しておりますので御活用下さい。

●ページ順

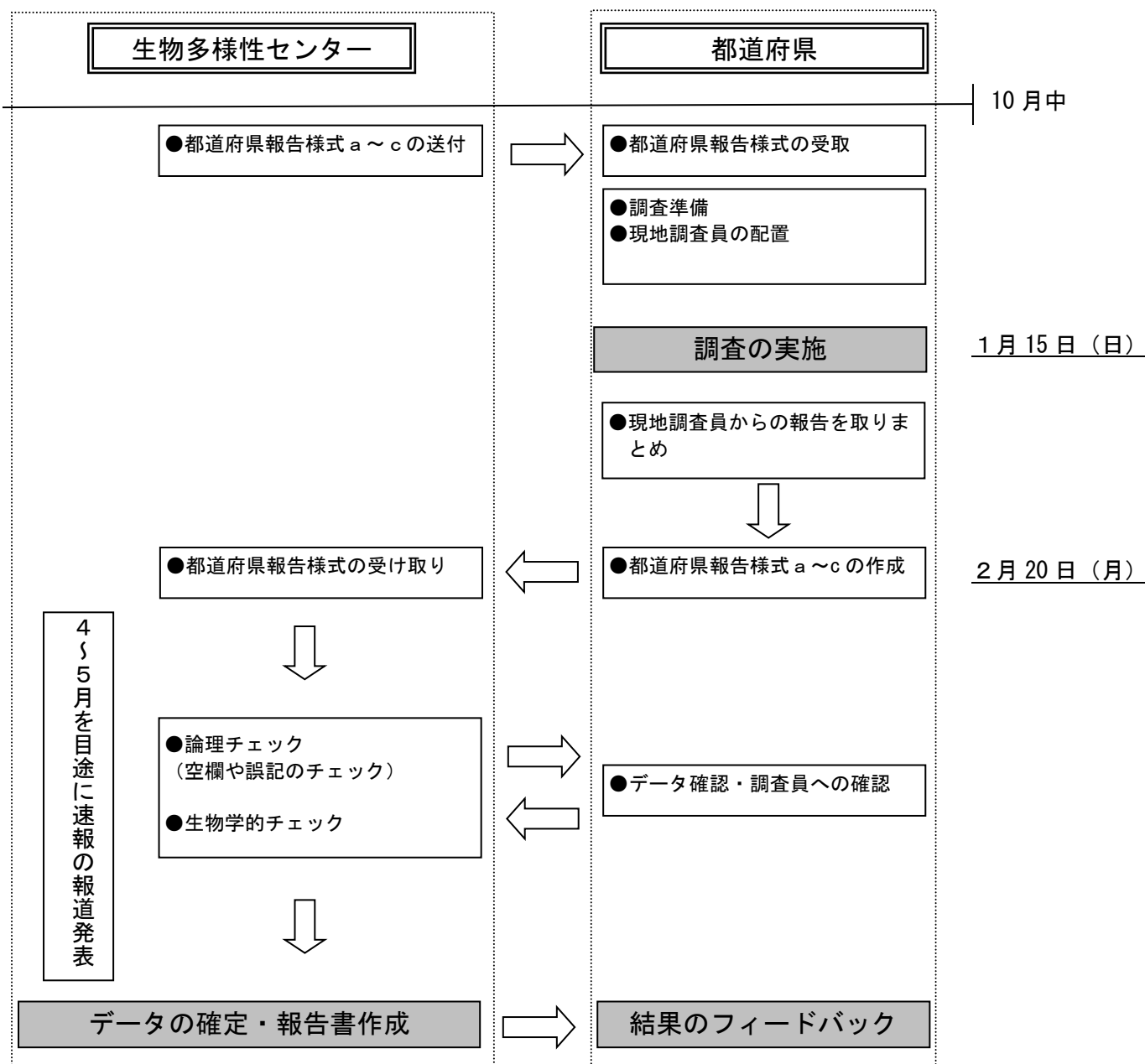
http://www.biodic.go.jp/gankamo/seikabutu/data/report/IdentificationGuide_bypage.pdf

●製本順 ※短辺綴じの両面印刷で出力し、出力された順に重ね、内側に折る

http://www.biodic.go.jp/gankamo/seikabutu/data/report/IdentificationGuide_bi-fold.pdf

第3章 調査全体の流れ・データの受け渡し

調査全体の流れは以下のとおりです。



例年、論理チェック並びに生物学的チェックの結果、再照会を要するデータがあるため、各都道府県ご担当の皆様には大変お手数をお掛けしております。エラーの低減、迅速な処理及び確定データの早期公開に向け、必須項目が空欄になっていないか等につきましては、御提出前に再度ファイルを御確認いただきますよう、御協力をお願いいたします。

ガンカモ類の生息調査 調査項目

1 調査地点（都道府県報告様式 a、現地調査員報告様式例 1）

ガンカモ類の渡来の有無に関わらず、調査を実施した調査地はすべて記録してください。
 なお、「都道府県報告様式 a」及び「現地調査員報告様式例 1」については、前年度の調査地点情報をあらかじめ記載してあります。

（1）地点情報コード（調査継続状況の把握）

各調査地点が、下記選択肢のいずれに該当するかを確認してください。

- 0（継続）：前年度から継続して調査を実施した地点
- 1（復活）：前年度には調査を実施しなかったが、1989 年（昭和 63 年度調査）以降 1 度でも調査を実施したことがある地点
 - ※ 昭和 63（1988）年度以降の全調査地点については、環境省から電子メールに添付してお送りする別紙 1 - 3 「1989-2022 年ガンカモ調査地点リスト」に整理しておりますので、御参照ください。
- 2（新規）：新規の調査地点
- 3（休止）：今年度調査を実施しなかった地点

（2）調査地点番号

調査地の番号は、1 調査地に 1 つずつ与えられています。これまで、過去とは異なる番号が記録されたり、既に登録されている番号が新たな地点の番号として記録されている事例がありましたので、御注意ください。

- ア 前年度からの継続調査地は、既存番号を変更しないこと。
- イ 昭和 63（1988）年度～令和 2（2020）年度のいずれかの年度に調査を行ったが、令和 3（2021）年度には調査を行わず、今年度再び調査を行った場合は、過去に使用した番号を記録すること（別紙 1 - 3 「1989-2022 年ガンカモ調査地点リスト」参照）。
- ただし、昭和 62（1987）年度以前のいずれかの年度に調査を行ったが、その後調査を行わず、今年度再び調査を行った場合は、新規の場合と同様に取り扱うこと。
- ウ 新規調査地の調査地点番号については、現地調査員が都道府県の取りまとめ担当者、これまで一度も使用していない番号であるかどうかを確認したうえで記録すること。

(3) 調査地点名

調査地の地名等を必ず記録してください。

特に、(6) 地況コードが 2～6 に該当する場合は、河川名、湖沼名等を必ず記録してください。

また、同一河川、湖沼等において、複数の調査地点を設定している場合には、河川名、湖沼名等を先に記録し、ハイフン（－）に続けて詳細な地点名を記録してください。

【記録例】

同一河川、湖沼等に調査地点が一つだけの場合	○○湖
同一河川、湖沼等に調査地点が複数ある場合	△△川－××川合流地点
	△△川－□□橋地点
	△△川－◇◇水門地点

(4) 調査地域番号及び調査地域名称

各都道府県内において、一つの湖沼周囲に設置された複数の調査地点や、一つの河川に沿って設置された複数の調査地点など、都道府県担当者の視点で一体として扱うべき調査地点群を「調査地域」としてグルーピングし、その名称（湖沼名、河川名等、以下の例参照）を記録してください。これにより、今後の解析において、湖沼単位や河川単位の集計が容易になります。新規にグルーピングする際には、調査地域番号に重複がないよう御留意ください。

【調査地域番号及び名称記録例】

調査地点番号	調査地点名称	調査地域番号	調査地域名称
1015	A B C 湖－D 地点	5	A B C 湖
1016	A B C 湖－E 地点		A B C 湖
1022	F G H 湾 （X Y Z 湖の湾）	1 2	X Y Z 湖
1025	I J K 島 （X Y Z 湖の小島）		X Y Z 湖

(5) 市町村名

調査地を所管する市町村名を記録します。なお、複数の市町村にまたがって調査を実施した場合は、そのうちの代表的な市町村名を一つだけ記録してください。

(6) 地況

調査地の地況を下記のとおり分類し、該当する数字を記録してください。

- 1（海岸）：調査地域が海岸を含む海域の場合
- 2（河口）：調査地域が河口から海域にわたる場合
- 3（河川）：調査地域が河川敷を含む河川の場合
- 4（湖沼）：調査地域が自然湖沼の場合

- 5（ダム湖）：調査地域がダム湖の場合
- 6（その他人造湖）：調査地域がダム湖を除く人造湖の場合
（ため池、公園の池、ゴルフ場の池、堀等）
- 7（その他）：調査地域が1～6に該当しない場合
（貯木場、運河、水田、湿原、塩田跡等）

（7）面積

湖沼、ダム湖、その他人造湖の開放水面の場合はその面積を、海岸、河口、河川、その他の場合は調査範囲の面積を、それぞれ ha 単位で記録してください（小数点以下第1位までとし、第2位は四捨五入）。

（8）緯度、経度、測地系、調査地点位置図

（1）で新規に該当する調査地点、又は復活に該当し、緯度・経度が別紙1－3「1989－2022年ガンカモ調査地点リスト」に記載されていない調査地点においては、緯度・経度を秒単位まで記録してください。

調査地点の位置が不明な場合は、現地調査員に確認をしてください。

なお、位置の特定に当たっては調査範囲の中心的な地点を調査地点としてください。

※緯度・経度の記録に当たっては、地理院地図（<http://maps.gsi.go.jp/>）等を参照してください。

※「測地系」には原則として、世界測地系を用いてください。

※「日本測地系」を用いた場合のみ、その旨を備考欄に記録してください。

※測地系の詳細については、国土地理院 HP（下記 URL）を御参照ください。

■日本の測地系：<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/datum-main.html>

■世界測地系の導入に関して：<https://www.gsi.go.jp/LAW/jgd2000-AboutJGD2000.htm>

（9）鳥獣保護区等

下記の区分に従い、コード番号を記録します。なお、2種類以上の区分にかかる場合は最大3区分までとし、面積比率の高い順に左寄せで記録してください。

- 1（鳥獣）：調査地域が鳥獣保護区の場合
- 2（休猟）：調査地域が休猟区の場合
- 3（法律）：調査地域が鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチまでの場所の場合（公道、自然公園法による特別保護地区、都市計画法による園地、自然環境保全法による原生自然環境保全地域、社寺境内、墓地）
- 4（猟禁）：調査地域が特定猟具使用禁止区域（銃器）（注：旧銃猟禁止区域）の場合
- 5（猟制）：調査地域が特定猟具使用制限区域（銃器）（注：旧銃猟制限区域）の場合
- 6（猟区）：調査地域が猟区の場合

7（他）：調査地域が1～6に該当しない場合

(10) 調査人数

調査人員の延べ人数を、調査地点ごとに記録してください。

(11) 現地調査員代表者名

現地調査員の代表者氏名を記録してください。

(12) 調査月日

調査を実施した月日を記録してください。

(13) 天候

調査実施時の天候を、次の区分に従って記録してください。

なお、例えば「晴ときどき曇、一時雪のち霧」等調査実施中に天候が変化した場合は、調査実施中の主要天候を一つ選んで記録してください。

1：晴 2：曇 3：雨 4：雪 5：霧

(14) 給餌の実施状況

調査地における給餌の有無を把握し、次の区分に従って記録してください。

なお、給餌の有無は、調査実施中に給餌を行ったか否かではなく、日常的に給餌事業等を行っているか否かを把握した上で記録ください。給餌事業の実施の有無を把握していない場合は不明と記録してください。

1：給餌有り 2：給餌無し 3：不明（給餌の実施状況未把握）

(15) 環境コード

調査地域の生息環境及びその変化が次の区分に当てはまる場合は、該当するコードを記録してください。なお、複数のコードに該当する場合は、そのすべてを記入欄に左寄せで記録してください。

1（全面凍結）： 調査地の水面が全面凍結している場合

2（一部凍結）： 調査地の水面が一部凍結している場合

3（水質悪化）： 調査地の水質が悪化している場合

※ ただし、調査実施中に水質の悪化が見られた場合に限らず、前回調査時と比較して悪化した場合を含む。

4（水量減少）： 調査地の水量が減少している場合

※ ただし、調査実施中に水量の減少が見られた場合に限らず、前回調査時と比較して減少した場合を含む。

- 5（工事）： 調査地で工事等を行っている場合
 ※ ただし、調査実施中に工事作業を実施している場合に限らず、過去の工事のために環境が変化している場合を含む。
- 6（宅地化）： 調査地が前回調査と比較して宅地化が進んでいる場合
- 7（埋立）： 調査地が前回調査と比較して埋立が進んでいる場合
- 8（その他）： 調査地の環境が1～7以外の特別な状況にある場合

なお、上記「前回調査」とは、前年度調査のほか数年前に調査地とした場合を含め、今年度新規に調査地とした地点の場合は「以前」と読み替えるものとします。

また、8（その他）に該当する場合、その具体的内容、特記事項等を「備考」欄に簡潔に記録してください。

2 ガンカモ類の個体数

（都道府県報告様式 a・b、現地調査員報告様式例 2～5）

（1）個体数調査

ガン・カモ・ハクチョウ類の種ごとの個体数を記録してください。また、ガンカモ類の生息調査の各調査地点において観察されたカワウの個体数についても記録してください。

なお、別紙 1－2「日本産鳥類目録第 7 版（平成 24 年改訂）抜粋改変版」に記載されている複数の亜種を含む種について、亜種別の個体数が把握できた場合は、都道府県報告様式 b（任意報告）に各亜種の個体数、都道府県報告様式 a（必須報告）に亜種別個体数の合計となる種の個体数を記録してください。

（2）絶滅のおそれのある種及びカウント数の少ないカモ類について

下記に示すガンカモ類については、その種と判断した理由・根拠（識別ポイント）が報告された場合は備考欄に記録してください。

※専門家によるデータチェックの際に、さかのぼって確認できるようにしておくためのものです。

① 絶滅のおそれのある種：

シジュウカラガン、ハクガン、カリガネ、コクガン、ヒシクイ、ツクシガモ、トモエガモ

② 過年度調査でカウント数の少ないカモ類：

リュウキュウガモ、アカツクシガモ、シマアジ、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、

クビワキンクロ、コウライアイサ

(3) 移入種について

カナダガン（平成25年度までシジュウカラガン大型亜種として扱われていましたが、平成26年度より独立種としています。なお、国内に定着が確認されていた個体の防除は平成27年12月に完了しましたが、モニタリングとして国内の目撃情報を収集するための呼びかけを継続して行っています。）やコブハクチョウなどの人為的に持ち込まれた種については、確認された個体数を様式 a（必須報告）に記録してください。

(4) 飼養品種（任意報告項目）について

アヒルやアイガモなどの飼養品種で野外に逸出し繁殖しているおそれのあるものについて報告があった場合は、その個体数を様式 b（任意報告）に記録してください。

3 現地調査員内訳（都道府県報告様式 c、現地調査員報告様式例 6）

各都道府県における現地調査員の実人数を記録してください。

その際、現地調査員が①都道府県職員、②鳥獣保護管理員、③鳥獣保護管理員以外の 3 項目で分類し、各人数を集計します。②及び③の場合には、「保護団体関係者」、「狩猟団体関係者」、「保護・狩猟団体両団体関係者」、「その他」のいずれかまで区分します。

◆別紙 1 - 2 日本産鳥類目録第 7 版（平成 24 年改訂）抜粋 改変版

「日本産鳥類目録第 7 版（平成 24 年改訂）抜粋改変版」（分類群順）

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
鳥綱					AVES				
カモ目					ANSERIFORMES				
カモ科					Anatidae				
ガン類									
シジュウカラガン	3	a	077		Branta	hutchinsii		(Richardson, 1832)	
亜種シジュウカラガン	5	b	077	01	Branta	hutchinsii	leucopareia	(Brandt, 1836)	CR
亜種ヒメシジュウカラガン	5	b	077	02	Branta	hutchinsii	minima	Ridgway, 1885	
カナダガン	5	a	13128	01	Branta	canadensis	moffitti		移入
コクガン	3	a	078	01	Branta	bernicla	orientalis	Tugarinov, 1941	VU
ハイイログガン	3	a	079	01	Anser	anser	rubirostris	Swinhoe, 1871	
マガン	3	a	080	01	Anser	albifrons	albifrons	(Scopoli, 1769)	NT
カリガネ	3	a	081		Anser	erythropus		(Linnaeus, 1758)	EN
ヒシクイ	3	a	082		Anser	fabalis		(Latham, 1787)	VU
亜種オオヒシクイ	5	b	082	01	Anser	fabalis	middendorffii	Severtzov, 1873	
亜種ヒメシクイ	5	b	082	02	Anser	fabalis	curtus	Lonnberg, 1923	
亜種ヒシクイ	5	b	082	03	Anser	fabalis	serrirostris	Swinhoe, 1871	VU
ハクガン	3	a	083		Anser	caerulescens		(Linnaeus, 1758)	
亜種ハクガン	5	b	083	01	Anser	caerulescens	caerulescens	(Linnaeus, 1758)	CR
亜種オオハクガン	5	b	1128	01	Anser	caerulescens	atlanticus	(Kennard, 1927)	
ミカドガン	5	b	084		Anser	canagicus		(Sevastianov, 1802)	
サカツラガン	3	a	085		Anser	cygnoides		(Linnaeus, 1758)	DD
インドガン	5	b	2128		Anser	indicus		(Latham, 1790)	
ハクチョウ類									
コブハクチョウ	2	a	086		Cygnus	olor		(Gmelin, 1789)	移入
ナキハクチョウ	5	b	087		Cygnus	buccinator		Richardson, 1832	
オオハクチョウ	2	a	088		Cygnus	cygnus		(Linnaeus, 1758)	
コハクチョウ	2	a	089		Cygnus	columbianus		(Ord, 1815)	
亜種コハクチョウ	5	b	089	01	Cygnus	columbianus	jankowskyi	Alpheraky, 1904	
亜種アメリカコハクチョウ	5	b	089	02	Cygnus	columbianus	columbianus	(Ord, 1815)	
コクチョウ	5	b	1128		Cygnus	atratus		Latham, 1790	移入
カモ類									
リュウキュウガモ	4-2, 5	a	090		Dendrocygna	javanica		(Horsfield, 1821)	
アカツクシガモ	4-2, 5	a	091		Tadorna	ferruginea		(Pallas, 1764)	DD
ツクシガモ	4-2	a	092		Tadorna	tadorna		(Linnaeus, 1758)	VU
カンムリツクシガモ	5	b	093		Tadorna	cristata		(Kuroda, 1917)	EX
オシドリ	4-1	a	094		Aix	galericulata		(Linnaeus, 1758)	DD
マガモ	4-1	a	095	01	Anas	platyrhynchos	platyrhynchos	Linnaeus, 1758	
カルガモ	4-1	a	096		Anas	zonorhyncha		Swinhoe, 1866	
コガモ	4-1	a	097		Anas	crecca		Linnaeus, 1758	
亜種コガモ	5	b	097	01	Anas	crecca	crecca	Linnaeus, 1758	
亜種アメリカコガモ	5	b	097	02	Anas	crecca	carolinensis	Gmelin, 1789	
トモエガモ	4-2	a	098		Anas	formosa		Georgi, 1775	VU
ヨシガモ	4-1	a	099		Anas	falcata		Georgi, 1775	
オカヨシガモ	4-1	a	100	01	Anas	strepera	strepera	Linnaeus, 1758	
ヒドリガモ	4-1	a	101		Anas	penelope		Linnaeus, 1758	
アメリカヒドリ	4-2, 5	a	102		Anas	americana		Gmelin, 1789	
オナガガモ	4-1	a	103		Anas	acuta		Linnaeus, 1758	
シマアジ	4-2, 5	a	104		Anas	querquedula		Linnaeus, 1758	
ハシビロガモ	4-1	a	105		Anas	clypeata		Linnaeus, 1758	
ミカツキシマアジ	5	b	4128		Anas	discors		Linnaeus, 1766	
アカハシハジロ	4-2, 5	a	106		Netta	rufina		(Pallas, 1773)	
ホシハジロ	4-1	a	107		Aythya	ferina		(Linnaeus, 1758)	
アメリカホシハジロ	5	b	108		Aythya	americana		(Eyton, 1838)	
オオホシハジロ	4-2, 5	a	109		Aythya	valisineria		(Wilson, 1814)	
クビワキンクロ	4-2	a	110		Aythya	collaris		(Donovan, 1809)	
メジロガモ	4-2, 5	a	111		Aythya	nyroca		(Guldenstadt, 1770)	
アカハジロ	4-2, 5	a	112		Aythya	baeri		(Radde, 1863)	DD
キンクロハジロ	4-1	a	113		Aythya	fuligula		(Linnaeus, 1758)	
スズガモ	4-1	a	114	01	Aythya	marila	mariloides	(Vigors, 1839)	
コスズガモ	5	b	115		Aythya	affinis		(Eyton, 1838)	
コケワタガモ	4-2, 5	a	116		Polysticta	stelleri		(Pallas, 1769)	
ケワタガモ	4-2, 5	a	117		Somateria	spectabilis		(Linnaeus, 1758)	
クロガモ	4-1	a	118		Melanitta	nigra		(Swainson, 1832)	

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
ビロードキンクロ	4-2	a	119	01	<i>Melanitta</i>	<i>fusca</i>	<i>stegnegeri</i>	(Ridgway, 1887)	
アラナミキンクロ	4-2、5	a	120		<i>Melanitta</i>	<i>perspicillata</i>		(Linnaeus, 1758)	
シロリガモ	4-2	a	121		<i>Histrionicus</i>	<i>histrionicus</i>		Brooks, 1915	
コオリガモ	4-2	a	122		<i>Clangula</i>	<i>hyemalis</i>		(Linnaeus, 1758)	
ホオジロガモ	4-2	a	123	01	<i>Bucephala</i>	<i>clangula</i>	<i>clangula</i>	(Linnaeus, 1758)	
ヒメハジロ	4-2、5	a	124		<i>Bucephala</i>	<i>albeola</i>		(Linnaeus, 1758)	
ミコアイサ	4-2	a	125		<i>Mergus</i>	<i>albellus</i>		Linnaeus, 1758	
ウミアイサ	4-2	a	126		<i>Mergus</i>	<i>serrator</i>		Linnaeus, 1758	
コウライアイサ	4-2、5	a	127		<i>Mergus</i>	<i>squamatus</i>		Gould, 1864	DD
カワアイサ	4-2	a	128		<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>		Linnaeus, 1758	
亜種カワアイサ	5	b	128	01	<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>	<i>merganser</i>	Linnaeus, 1758	
亜種コカワアイサ	5	b	128	02	<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>	<i>comatus</i>	Salvadori, 1895	
飼養品種									
サカツラガンが原種					<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>		(Linnaeus, 1758)	
シナガチョウ	5	b	6128	01	<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
ハイロガンが原種					<i>Anser</i>	<i>anser</i>		(Linnaeus, 1758)	
セイウガチョウ	5	b	7128	01	<i>Anser</i>	<i>anser</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
ノバリケンが原種					<i>Cairina</i>	<i>moschata</i>		(Linnaeus, 1758)	
バリケン	5	b	9128	01	<i>Cairina</i>	<i>moschata</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
マガモが原種					<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>		Linnaeus, 1758	
アヒル	5	b	10128	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
アイガモ	5	b	10128	02	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>			雑種

※コードNo.は「生物多様性調査 日本産鳥類目録」(平成12年3月)のコードに準拠します。コードのない種については仮コード(コードNo.1128～13128)を付しています。

※備考欄のレッドリストランクは、平成24 年8月28日発表のリストに基づいています。

「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」（五十音順）

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
鳥綱					AVES				
カモ目					ANSERIFORMES				
カモ科					Anatidae				
ガン類									
インドガン	5	b	2128		Anser	indicus		{Latham, 1790}	
カリガネ	3	a	081		Anser	erythropus		{Linnaeus, 1758}	EN
コクガン	3	a	078	01	Branta	bernicle	orientalis	{Tugarinov, 1941}	VU
サカツラガン	3	a	085		Anser	cygnoides		{Linnaeus, 1758}	DD
シジュウカラガン	3	a	077		Branta	hutchinsii		{Richardson, 1832}	
亜種シジュウカラガン	5	b	077	01	Branta	hutchinsii	leucopareia	{Brandt, 1836}	CR
亜種ヒメシジュウカラガン	5	b	077	02	Branta	hutchinsii	minima	{Ridgway, 1885}	
カナダガン	5	a	13128	01	Branta	canadensis	moffitti		移入
ハイイロガン	3	a	079	01	Anser	anser	rubirostris	{Swinhoe, 1871}	
ハクガン	3	a	083		Anser	caerulescens		{Linnaeus, 1758}	
亜種ハクガン	5	b	083	01	Anser	caerulescens	caerulescens	{Linnaeus, 1758}	CR
亜種オオハクガン	5	b	1128	01	Anser	caerulescens	atlanticus	{Kennard, 1927}	
ヒシクイ	3	a	082		Anser	fabalis		{Latham, 1787}	
亜種オオヒシクイ	5	b	082	01	Anser	fabalis	middendorffii	{Severtzov, 1873}	
亜種ヒメヒシクイ	5	b	082	02	Anser	fabalis	curtus	{Lonnberg, 1923}	
亜種ヒシクイ	5	b	082	03	Anser	fabalis	serrirostris	{Swinhoe, 1871}	VU
マガン	3	a	080	01	Anser	albifrons		{Scopoli, 1769}	
ミカドガン	5	b	084		Anser	canagicus		{Sevastianov, 1802}	
ハクチョウ類									
オオハクチョウ	2	a	088		Cygnus	cygnus		{Linnaeus, 1758}	
コクチョウ	5	b	11128		Cygnus	atratus		{Latham, 1790}	移入
コハクチョウ	2	a	089		Cygnus	columbianus		{Ord, 1815}	
亜種コハクチョウ	5	b	089	01	Cygnus	columbianus	jankowskyi	{Alpheraky, 1904}	
亜種アメリカコハクチョウ	5	b	089	02	Cygnus	columbianus	columbianus	{Ord, 1815}	
コブハクチョウ	2	a	086		Cygnus	olor		{Gmelin, 1789}	移入
ナキハクチョウ	5	b	087		Cygnus	buccinator		{Richardson, 1832}	
カモ類									
アカツクシガモ	4-2	a	091		Tadorna	ferruginea		{Pallas, 1764}	DD
アカハシハジロ	4-2	a	106		Netta	rufina		{Pallas, 1773}	
アカハジロ	4-2	a	112		Aythya	baeri		{Radde, 1863}	DD
アメリカヒドリ	4-2	a	102		Anas	americana		{Gmelin, 1789}	
アメリカホシハジロ	5	b	108		Aythya	americana		{Eytton, 1838}	
アラナミキンクロ	4-2	a	120		Melanitta	perspicillata		{Linnaeus, 1758}	
ウミアイサ	4-2	a	126		Mergus	seruator		{Linnaeus, 1758}	
オオホシハジロ	4-2	a	109		Aythya	valisineria		{Wilson, 1814}	
オカヨシガモ	4-1	a	100	01	Anas	strepera	strepera	{Linnaeus, 1758}	
オシドリ	4-1	a	094		Aix	galericulata		{Linnaeus, 1758}	DD
オナガガモ	4-1	a	103		Anas	acuta		{Linnaeus, 1758}	
カルガモ	4-1	a	096		Anas	zonorhyncha		{Swinhoe, 1866}	
カワアイサ	4-2	a	128		Mergus	merganser		{Linnaeus, 1758}	
亜種カワアイサ	5	b	128	01	Mergus	merganser	merganser	{Linnaeus, 1758}	
亜種コカワアイサ	5	b	128	02	Mergus	merganser	comatus	{Salvadori, 1895}	
カンムリツクシガモ	5	b	093		Tadorna	cristata		{Kuroda, 1917}	EX
キンクロハジロ	4-1	a	113		Aythya	fuligula		{Linnaeus, 1758}	
クビワキンクロ	4-2	a	110		Aythya	collaris		{Donovan, 1809}	
クロガモ	4-1	a	118		Melanitta	nigra		{Swainson, 1832}	
ケワタガモ	4-2	a	117		Somateria	spectabilis		{Linnaeus, 1758}	
コウライアイサ	4-2	a	127		Mergus	squamatus		{Gould, 1864}	DD
コオリガモ	4-2	a	122		Clangula	hyemalis		{Linnaeus, 1758}	
コガモ	4-1	a	097		Anas	crecca		{Linnaeus, 1758}	
亜種コガモ	5	b	097	01	Anas	crecca	crecca	{Linnaeus, 1758}	
亜種アメリカコガモ	5	b	097	02	Anas	crecca	carolinensis	{Gmelin, 1789}	
コケワタガモ	4-2	a	116		Polysticta	stelleri		{Pallas, 1769}	
コスズガモ	5	b	115		Aythya	affinis		{Eytton, 1838}	
シノリガモ	4-2	a	121		Histrionicus	histrionicus		{Brooks, 1915}	
シマアジ	4-2	a	104		Anas	querquedula		{Linnaeus, 1758}	
スズガモ	4-1	a	114	01	Aythya	marila	mariloides	{Vigors, 1839}	
ツクシガモ	4-2	a	092		Tadorna	tadorna		{Linnaeus, 1758}	VU
トモエガモ	4-2	a	098		Anas	formosa		{Georgi, 1775}	VU

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
ハシビロガモ	4-1	a	105		<i>Anas</i>	<i>clypeata</i>		Linnaeus, 1758	
ヒドリガモ	4-1	a	101		<i>Anas</i>	<i>penelope</i>		Linnaeus, 1758	
ヒメハジロ	4-2	a	124		<i>Bucephala</i>	<i>albeola</i>		(Linnaeus, 1758)	
ビロードキンクロ	4-2	a	119	01	<i>Melanitta</i>	<i>fusca</i>	<i>stejnegeri</i>	(Ridgway, 1887)	
ホオジロガモ	4-2	a	123	01	<i>Bucephala</i>	<i>clangula</i>	<i>clangula</i>	(Linnaeus, 1758)	
ホシハジロ	4-1	a	107		<i>Aythya</i>	<i>ferina</i>		(Linnaeus, 1758)	
マガモ	4-1	a	095	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>platyrhynchos</i>	Linnaeus, 1758	
ミカヅキシマアジ	5	b	4128		<i>Anas</i>	<i>discors</i>		Linnaeus, 1766	
ミコアイサ	4-2	a	125		<i>Mergus</i>	<i>albellus</i>		Linnaeus, 1758	
メジロガモ	4-2	a	111		<i>Aythya</i>	<i>nyroca</i>		(Guldenstadt, 1770)	
ヨシガモ	4-1	a	099		<i>Anas</i>	<i>fulcata</i>		Georgi, 1775	
リュウキュウガモ	4-2	a	090		<i>Dendrocygna</i>	<i>javanica</i>		(Horsfield, 1821)	
飼養品種									
アイガモ	5	b	10128	02	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>			雑種
アヒル	5	b	10128	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
シナガチョウ	5	b	6128	01	<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
セイヨウガチョウ	5	b	7128	01	<i>Anser</i>	<i>anser</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
バリケン	5	b	9128	01	<i>Cairina</i>	<i>moschata</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養

※「生物多様性調査 日本産鳥類目録」(平成12年3月)の中でコードが振られていない種については仮コード(コードNo.1128～13128)を付しています。
 ※備考欄のレッドリストランクは、平成24年8月28日発表のリストに基づいています。

◆別紙１－３ 1989～2022 年ガンカモ調査地点リスト

1989～2022 年ガンカモ調査地点リスト項目を以下に示す。

項目名
最終調査実施年
都道府県
調査地点番号
市町村名
地況
調査地点名
調査地域番号
調査地域名称
1次メッシュコード
2次メッシュコード
3次メッシュコード
面積
緯度・度
緯度・分
緯度・秒
経度・度
経度・分
経度・秒
測地系

◆別紙 2 - 1 都道府県報告様式 a～c

都道府県報告様式 a 項目を以下に示す。

項目名	入力必須項目	コード入力項目	入力制限の有無	自動計算
変更の有無			○	
地点情報コード	○	○	○	
年	○			
都道府県	○			
調査地点番号	○			
調査地点名	○			
調査地域番号				
調査地域名称				
市町村名	○			
地況	○	○	○	
面積(ha)	○			
緯度度	○		○	
緯度分	○		○	
緯度秒	○		○	
経度度	○		○	
経度分	○		○	
経度秒	○		○	
鳥獣保護区等(1)	○	○	○	
鳥獣保護区等(2)		○	○	
鳥獣保護区等(3)		○	○	
調査人員	○ (調査実施時のみ)			
調査員代表者名	○ (調査実施時のみ)			
調査月	○ (調査実施時のみ)		○	
調査日	○ (調査実施時のみ)		○	
天候	○ (調査実施時のみ)	○	○	
給餌コード	○	○	○	
環境コード(1)		○	○	
環境コード(2)		○	○	
環境コード(3)		○	○	
環境コード(4)		○	○	
環境コード(5)		○	○	
備考				
オオハクチョウ				
コハクチョウ				
アメリカコハクチョウ				
コブハクチョウ				
ハクチョウ類種不明				
シジュウカラガン				
カナダガン				
コクガン				
ハイイロガン				
マガン				
カリガネ				
ヒシクイ				
ハクガン				
サカツラガン				
ガン類種不明				

項目名	入力必須項目	コード入力項目	入力制限の有無	自動計算
オシドリ				
マガモ				
カルガモ				
コガモ				
ヨシガモ				
オカヨシガモ				
ヒドリガモ				
オナガガモ				
ハシビロガモ				
ホシハジロ				
キンクロハジロ				
スズガモ				
クロガモ				
トモエガモ				
ビロードキンクロ				
シノリガモ				
コオリガモ				
ホオジロガモ				
ウミアイサ				
カワアイサ				
ミコアイサ				
ツクシガモ				
リュウキュウガモ				
アカツクシガモ				
アメリカヒドリ				
シマアジ				
アカハシハジロ				
オオホシハジロ				
メジロガモ				
アカハジロ				
ケワタガモ				
コケワタガモ				
アラナミキンクロ				
ヒメハジロ				
クビワキンクロ				
コウライアイサ				
カモ類種不明				
ハクチョウ類合計				○
ガン類合計				○
カモ類合計				○
総合計				○
カワウ個体数				

都道府県報告様式 b 項目を以下に示す。

項目名
年
都道府県
調査地点番号
種コード
亜種コード
種名
個体数 羽
備考

都道府県報告様式 c 項目を以下に示す。

項目
年
都道府県
都道府県職員
鳥獣保護管理員 保護団体関係者
鳥獣保護管理員 狩猟団体関係者
鳥獣保護管理員 保護・狩猟両団体関係者
鳥獣保護管理員 その他
鳥獣保護管理員以外 保護団体関係者
鳥獣保護管理員以外 狩猟団体関係者
鳥獣保護管理員以外 保護・狩猟両団体関係者
鳥獣保護管理員以外 その他

都道府県報告様式記入上の留意事項

1. 共通事項

各様式に共通する入力時の注意事項については、次のとおりです。

(1) 数字入力、漢字入力

各様式の 4～5 行目には、各列の調査項目が「数字」と「漢字」のどちらで入力すべきかが表示されています。数字入力の場合は半角数字で、漢字入力の場合は全角の漢字・ひらがな・カタカナで入力してください。

(2) 実施年

調査実施年の「2023」を入力します。年度（2022）ではありませんのでご注意ください。

(3) 調査地点番号

調査地点番号については、別紙 1 - 1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」 1 (2) をご確認ください、入力してください。

特に、都道府県報告様式 b（任意提出）においては、調査地点番号が地点を特定する唯一の情報となりますので、調査地点番号に間違いがないか御確認をお願いいたします。

2. 都道府県報告様式 a について【必須提出】

都道府県報告様式 a と現地調査員報告様式例 1～4 の対応は、以下のとおりです。

調査 地点	地点情報 (現地調査員報告様式例 1)			ハクチョウ類 (現地調査員報告様式例 2)			ガン類 (現地調査員報告様式例 3)			カモ類 (現地調査員報告様式例 4)			カワウ (現地調査員報告様式例 5)

入力必須項目

本様式 a に掲載されている種以外の種は
「都道府県報告様式 b」で報告

入力画面イメージ 都道府県報告様式 a

【必須提出】様式 a

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
変更の有無	地点情報コード	年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	地況	面積(ha)	緯度	緯度分	緯度秒	経度	経度分	経度秒	鳥獣保護区等(1)
数字	数字	数字	数字	数字	漢字	数字	漢字	漢字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字
20**		1		53	千歳川ー7	1	千歳川	千歳市	3	50	42	49	42	141	39	33	7
20**		1		55	千歳川ー9	1	千歳川	千歳市	3	50	42	50	41	141	40	10	7
20**		1		57	千歳川ー11	1	千歳川	千歳市	3	5	42	55	23	141	39	12	7
20**		1		61	千歳川ー11	1	千歳川	千歳市	3	0.5	42	52	58	141	40	50	4
20**		1						千歳市	2	30	42	16	25	140	16	41	7
20**		1						千歳市	1	30	42	6	42	140	35	47	7
20**		1						千歳市	1	200	42	2	22	140	49	6	7
20**		1						千歳市	1	50	41	54	27	140	58	34	3
20**		1						千歳市	1	50	41	53	38	141	1	0	7
20**		1						千歳市	1	40	41	45	31	141	5	6	7
20**		2		10				千歳市	2	10	41	45	40	141	4	40	3
20**		1		20				千歳市	1	20	41	44	43	141	4	37	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	44	4	141	3	9	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	43	38	141	2	28	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	43	17	141	0	47	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	42	55	141	0	24	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	43	2	140	59	38	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	42	41	140	57	25	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	44	0	140	56	4	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	44	41	140	54	28	7
20**		1		3				千歳市	1	3	41	45	38	140	51	21	7
20**		1		246	志海苔町			函館市	2	3	41	45	47	140	49	22	7
20**		1		247	松倉川			函館市	3	3	41	46	38	140	47		3
20**								七飯町	4	65	41	58	44	140			

「地点情報コード」をプルダウンより選択の上、御入力ください。

- ・0：継続地点（調査実施）
- ・1：復活地点（調査実施）
- ・2：新規地点（調査実施）
- ・3：休止地点（調査未実施）

様式 a にあらかじめ記載されている入力必須項目に変更がある場合は、プルダウンより「あり」を選択してください。変更がない場合は入力不要です。

「鳥獣保護区等(1)」～「備考」を御確認及び御入力ください。

(1) 様式 a 入力時の留意事項

お送りした今年度報告様式は、前年度の地点関連情報の一部があらかじめ記載されています。今後のエラー発生を最小限に抑えるため、必ずお送りした今年度報告様式をご利用ください。

また、次のようなファイルの体裁を改変する操作は避けていただきますようお願いいたします。

- ・行・列の追加・削除・並べ替え（行の追加は、復活・新規調査地について入力する時のみ可能）
- ・行・列の非表示化（入力作業に伴う非表示化は問題ありませんが、提出時には全ての行・列を表示した状態にしてください。）
- ・スペースキーによるセル内容の削除（スペースキーでは完全に削除されないため、セル内容を削除するにはデリート又はバックスペースを使用してください。）
- ・シート追加時のシートの移動（報告用シートは常に一番左にしてください。）

(2) エラーチェックについて

報告様式には、以下のエラーチェック機能を付しております。今後のエラー発生を最小限に抑えるに当たって、調査結果報告前に御確認をお願いいたします。

- ・地点関連情報の入力必須項目が空欄の場合、セルが黄色く着色されるよう設定しております。
 - ✓ 調査結果を御提出いただく前に、空欄がないか御確認ください。
- ・地点関連情報に入力範囲外の数値が入力された場合、セルが赤く着色されるよう設定しております。
 - ✓ 入力内容に誤りがないか御確認ください。
- ・地点情報コードが3(休止)となっているものの、観察個体数の合計が1羽以上だった場合、「地点情報コード」のセルが青色に着色されるよう設定しております。
 - ✓ 「地点情報コード」または「観察個体数」に、行ずれや、誤りがないか等、御確認ください。

・カモ類のうち、観察が稀である種の個体数記入欄は色づけしております。

✓ 調査結果を御提出いただく前に、列ずれや、結果に誤りがないか等、御確認ください。

(3) 変更の有無について

様式 a にあらかじめ記載されている入力必須項目（前年度の地点関連情報）に変更がありましたら、プルダウンより「あり」を選択してください。変更がない場合は空欄で構いません。また、変更箇所は赤字でご記入をお願いいたします。

特に調査地点番号及び調査地点名については、よく御確認いただいた上で、変更してください。
また新規調査地点や復活した調査地点がある場合には、別紙 1－3 「1989～2022 年ガンカモ調査地
点リスト」を参考に、過去に同一地点で調査が行われていないか確認したうえで、新たに行を追加
し、地点関連情報を赤字で御入力ください。

(4) 緯度・経度・測地系

緯度・経度とも“度”“分”“秒”ごとに入力欄が用意されています。分・秒は、必ず 00～59 の間の数値を（60 進法で）入力してください。

【緯度・経度入力例：東経 135 度 8 分 3 秒の場合】

度	分	秒
135	08	03

（上記例のように“08” “03”のような場合は、単に“8” “3”と入力しても構いません。）

また、緯度・経度計測の際に基準となるのが「測地系」ですが、新規調査地の緯度・経度計測に際して、原則として「世界測地系」を用いてください。なお、「日本測地系」を用いた場合は、その旨を備考欄に明記してください。

測地系の詳細については国土地理院の HP（下記 URL）を御参照ください。

■日本の測地系：<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/datum-main.html>

■世界測地系の導入に関して：<https://www.gsi.go.jp/LAW/jgd2000-AboutJGD2000.htm>

(5) コードを入力する項目について

下記 1)～6) は別紙 1－1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」に記載のコードを入力いただくにあたって、プルダウンを設定しております。該当するコードをプルダウンより選択いただき、御入力ください。該当するコード番号を直接御入力いただくことも可能です。

なお、プルダウンの設定用の「コードリスト（変更不可）」シートについては、内容の改変を避けるため編集制限をかけております。

1) 地点情報コード（調査継続状況の把握）

別紙 1－1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（1）を参照し、0～3 のいずれかを入力してください。

2) 地況コード

別紙 1－1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（6）を参照し、1～7 のいずれかを入力してください。

3) 鳥獣保護区等コード

別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(9)を参照し、1～7のいずれか、または空白が入ります。

なお、2種類以上の区分にかかる場合は最大3区分までとし、面積比率の高い順に左寄せで該当する数字を入力してください。

【鳥獣保護区等コード入力例】

鳥獣保護区等		
1	7	

該当区分が2つの場合

4) 天候コード

別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(13)を参照し、1～5のいずれかを入力してください。

5) 給餌コード

別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(14)を参照し、1～3のいずれかを入力してください。

6) 環境コード

環境コード入力欄は5列分あります。別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(15)を参照し、該当する環境コードを左詰で順に入力してください。それ以外の箇所は空白のままとしてください。

【環境コード入力例】

環境コード				
1	3	7		

環境コードの対象が“1” “3” “7” の場合

↓ ↓ ↓
残りの環境コード欄は空欄のままとして

(6) 観察個体数（ハクチョウ類、ガン類、カモ類、カワウ）

調査地点番号を基にして報告様式a中の当該箇所に入力していきます。

なお、ハクチョウ類、ガン類、カモ類のうち複数の亜種を含む種の個体数は、亜種別個体数（都道府県報告様式bに記録）の合計となりますので、適宜、都道府県報告様式b（任意提出）と照合しつつご確認ください。

3. 都道府県報告様式 b について【任意提出】

入力画面イメージ2 都道府県報告様式 b

【任意提出】都道府県報告様式 b

1	2	3	4	5	6	7	8
年	都道府県	調査地点番号	種コード	亜種コード	種名	個体数羽	備考
数字	数字	数字	数字	数字	漢字	数字	漢字
20**							

(1) データ報告

別紙1-2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に掲載されている種で複数の亜種を含むものを亜種まで同定した場合と、都道府県報告様式 a に記載されていない種が確認された場合に、調査地点別・種別に御報告ください（参考資料1「現地調査員報告様式例」5に対応）。

(2) 調査地点番号

必ず、都道府県報告様式 a に入力されている調査地点番号を入力してください。

(3) 種コード・亜種コード・種名

別紙1-2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に掲載されている『種コード』・『亜種コード』・『種名』を入力してください。なお、同じ種内で複数の亜種がいた場合、様式 b における亜種別個体数の合計が、様式 a における種の個体数に相当します。

【報告様式 b 入力例】

調査地点 A（調査地点番号 123）で観察されたヒシクイのうち、亜種オオヒシクイが 100 羽、亜種ヒシクイが 20 羽であった場合

・都道府県報告様式 b には、亜種別の個体数をそれぞれ入力する。

【任意提出】都道府県報告様式 b

1	2	3	4	5	6	7	8
年	都道府県	調査地点番号	種コード	亜種コード	種名	個体数羽	備考
数字	数字	数字	数字	数字	漢字	数字	漢字
20**	**	123	82	1	亜種オオヒシクイ	100	
20**	**	123	82	3	亜種ヒシクイ	20	

・都道府県報告様式 a におけるヒシクイの個体数は、亜種別個体数の合計（120 羽）となる。

4. 都道府県報告様式cについて【必須提出】

入力画面イメージ3 都道府県報告様式c

【必須提出】都道府県報告様式c

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
年	都道府県	都道府県職員	鳥獣保護管理員				鳥獣保護管理員以外			
			保護団体関係者	狩猟団体関係者	保護・狩猟両団体関係者	その他	保護団体関係者	狩猟団体関係者	保護・狩猟両団体関係者	その他
数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字
20**										

(1) データ報告

都道府県報告様式cについては、現地調査員に関するデータをまとめます（参考資料1「現地調査員報告様式例」6に対応）。1行分のみのデータ報告となります。本様式については、必ず御提出ください。

◆参考資料 1 現地調査員報告様式例 1～7

現地調査員報告様式例の構成は下記のとおり。

- 現地調査員報告様式例 1 調査地点調査票
- 現地調査員報告様式例 2 ハクチョウ類個体数調査票
- 現地調査員報告様式例 3 ガン類個体数調査票
- 現地調査員報告様式例 4－1 カモ類個体数調査票（1）
- 現地調査員報告様式例 4－2 カモ類個体数調査票（2）
- 現地調査員報告様式例 5 カワウ個体数調査票
- 現地調査員報告様式例 6 その他のガンカモ類個体数調査票
- 現地調査員報告様式例 7 調査員内訳調査票

様式例のイメージを次ページ以降に記載した。

調査実施年① (年) 都道府県名② ()

都道府県名②()

調査実施年①(年)

[illegible]

現地調査員報告様式例2 ハクチョウ類個体数調査票

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____)

(単位：羽)

調査地点番号	オオハクチョウ	コハクチョウ	アメリカ コハクチョウ	コブハクチョウ	ハクチョウ類 種不明	合計
計						

現地調査員報告様式例 3 ガン類個体数調査票

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____)

- * 1 シジュウカラガンには亜種シジュウカラガンと亜種ヒメシジュウカラガン、ヒシクイには亜種オオヒシクイと亜種ヒメヒシクイ及び亜種ヒシクイ、ハクガンには亜種ハクガンと亜種オオハクガンをそれぞれ含みます。
本票へは亜種を含めた個体数の合計を記載いただき、亜種別の個体数は、現地調査員報告様式例 5 へ記載してください。
- * 2 平成25年度までカナダガンはシジュウカラガン大型亜種としてシジュウカラガンの個体数に含めていましたが、分類の見直しにより単独の種として記載します。

(単位：羽)

調査地点番号	シジュウカラガン*1	カナダガン*2	コクガン	ハイイログガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ*1	ハクガン*1	サカツラガン	ガン類種不明	合計
計											

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____))

(單位：羽)

現地調査員報告様式例 4-2 力毛類個体数調査票 (2)

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____))

(單位：羽)	
一、	
二、	
三、	
四、	
五、	
六、	
七、	
八、	
九、	
十、	
十一、	
十二、	
十三、	
十四、	
十五、	
十六、	
十七、	
十八、	
十九、	
二十、	
二十一、	
二十二、	
二十三、	
二十四、	
二十五、	
二十六、	
二十七、	
二十八、	
二十九、	
三十、	
三十一、	
三十二、	
三十三、	
三十四、	
三十五、	
三十六、	
三十七、	
三十八、	
三十九、	
四十、	
四十一、	
四十二、	
四十三、	
四十四、	
四十五、	
四十六、	
四十七、	
四十八、	
四十九、	
五十、	
五十一、	
五十二、	
五十三、	
五十四、	
五十五、	
五十六、	
五十七、	
五十八、	
五十九、	
六十、	
六十一、	
六十二、	
六十三、	
六十四、	
六十五、	
六十六、	
六十七、	
六十八、	
六十九、	
七十、	
七十一、	
七十二、	
七十三、	
七十四、	
七十五、	
七十六、	
七十七、	
七十八、	
七十九、	
八十、	
八十一、	
八十二、	
八十三、	
八十四、	
八十五、	
八十六、	
八十七、	
八十八、	
八十九、	
九十、	
九十一、	
九十二、	
九十三、	
九十四、	
九十五、	
九十六、	
九十七、	
九十八、	
九十九、	
一百、	

114

現地調査員報告様式例 5 カワウ個体数調査票

調査実施年① _____ 年

(都道府県名②) _____ ページ数 - (_____)

(单位：羽)

[illegible]

現地調査員報告様式例 6 その他のガンカモ類個体数調査票

調査実施年① 年 (都道府県名②) ページ数 - ()

・種コード・亜種コード・種名は、別紙1-2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に記載されている種コード、亜種コード、種名（和名）をご記入ください。

・コハクチョウ、シジュウカラガン、ヒシクイ、ハクガン、コガモ、カワアイサについては複数の亜種が含まれますので、本票へは亜種別の個体数を記載し、現地調査員報告様式例2、3、4-1、4-2の各種の欄へは亜種を含む種の合計を記入してください。

・現地調査員報告様式例4-2右半分の*を付けた種について、その種と判断した理由・根拠（識別ポイント）がある場合は、本様式の「備考・識別ポイント」欄に記入してください。

[illegible]

現地調査員報告様式例 7 調査員内訳調査票

調査実施年① 年 (都道府県名②)

(单位：人)

[illegible]

現地調査員報告様式例記入上の留意事項等

第 1 章 現地調査員報告様式例・都道府県報告様式対応

現地調査員報告様式例と都道府県報告様式は、以下のとおり対応しています。

表 1 現地調査員報告様式例・都道府県報告様式対応表

都道府県 報告様式	現地調査員報告様式例	内容
a	1 調査地点調査票	調査地点の位置・環境等の基礎情報
	2 ハクチョウ類個体数調査票	地点別ハクチョウ類の個体数
	3 ガン類個体数調査票	地点別ガン類の個体数
	4 カモ類個体数調査票	地点別カモ類の個体数
	5 カワウ個体数調査票	地点別カワウの個体数
b	6 その他のガンカモ類個体数調査票	都道府県報告様式 a（現地調査員報告様式 2 ～ 4）に記載のないガンカモ類の個体数
c	7 調査員内訳調査票	調査員の所属内訳

第 2 章 各調査票作成に当たっての共通事項

調査票の整理・チェックのため、枠外所定の位置に

調査実施年①（2023年 【注】2022年ではありません）、都道府県名②を記入するとともに、ページ番号を記入してください。

※文中の①～⑱は現地調査員報告様式例中の①～⑱と対応

第3章 調査地点調査票（現地調査員報告様式例1）の作成

1. 継続調査地及び新規調査地

前年度からの継続調査地については、当該データを2段書きの上段に記入してありますので、変更箇所があれば赤線を引いて下段に赤字で記入してください。

また、新規調査地については、余部の調査票の上段に記入してください。

（記入例）

	③	④	⑤
	調査地点番号	調査地点名	市 町 村 名 (1ヶ所のみ記入)
変更がない場合は記入不要です。	1	霞ヶ関海岸	環境町
変更がある場合は下段に赤字で記入して下さい。	2	千代田ダム	環境町
			地球市
新規調査地は、余部の上段に新たに記入して下さい。	401	生物市水田	生物市

2. 地況コード⑥

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（6）を確認の上、該当するコード番号に丸印（○）を付けます。

3. 鳥獣保護区等⑪

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（9）を確認の上、該当するコード番号に丸印（○）を付けます。

4. 天候⑯

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（13）を確認の上、“1”～“5”のコード番号を記入します。

5. 給餌コード⑰

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（14）を確認の上、1（有）、2（無）、3（不明）のいずれかに丸印（○）を付けます。

6. 環境コード⑱、備考⑲

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（15）を確認の上、該当するコード番号に丸印（○）を付けます。

8（その他）に該当する場合、その具体的内容、特記事項等を備考欄に簡潔に記入してください。

第4章 個体数調査票（現地調査員報告様式例2～6）の作成

「別紙1－1 ガンカモ類の生息調査 調査項目」2（2）を確認の上、現地調査員報告様式例4－2右半分の、種名に＊を付けた希少なカモ類について、その種と判断した理由・根拠（識別ポイント）がある場合は、現地調査員報告様式例6にも記入し、「備考・識別ポイント」の欄にその種と判断した理由を記入してください。

1. 調査地点番号

調査地点番号については、調査地点調査票（現地調査員報告様式例1）の作成時に使用した番号③に合わせて、記入します。

2. 種別個体数（ハクチョウ類、ガン類、カモ類、カワウ）

調査地点ごとに、種別個体数を記入してください。

3. 亜種（ハクチョウ類、ガン類、カモ類）

ハクチョウ類、ガン類、カモ類のうち、同じ種内に複数の亜種を含む種について、亜種レベルまで個体数が把握できた場合は、現地調査員報告様式例2～4にその合計数を記入し、現地調査員報告様式例6ではその内訳を記入してください。

4. 種コード・亜種コード・種名

現地調査員報告様式例6の「種コード」・「亜種コード」・「種名」は、別紙1－2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に記載されているものを記入してください。

第 54 回ガンカモ類の生息調査報告書

令和 6 年(2024)年 3 月

環境省自然環境局

生物多様性センター

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1

電話：0555-72-6033

業務名 令和 5 年度ガンカモ類の生息調査報告書等作成業務

請負者 株式会社 数理計画

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2 丁目 5 番 4 号 (OGA ビル)